夕刊 滿洲日報 十二月二十日

慘たり、大掠奪の跡
札蘭屯以西は人影無く
掠奪品滿載の貨車百數十輛
貪慾飽なき支那兵

【ハルビン特電二十日發】國際列車の一行に先だちて滿鐵堀江、イタリーグレン、フランスブレンの三氏が十九日海拉爾に着したが堀江氏は語る

話としては支那兵の掠奪以外に何もないほどで、札蘭屯以西は普通人は居住せず

一物をも 殘さぬまで荒され布哈圖の寺院は僧侶の衣類、佛像の掛物まで取り外し白系ロシア人として夢想してゐる再興の露國のためお寺の財產として保管してゐたロマノフスキー、シビリスキー等の紙幣が發見され床一面に散ばつてゐた外掠奪をうけぬ家はないので道が[illegible]英米、佛の各國代表も食料品ならば知らず自國民の財產を掠奪し電氣メートルや手ミシンの壞れまで掻つ拂ひ全く住むことの出來ぬ程に破壞した事は

常識では 考へられぬ、歐洲大戰の際にも斯かる非人道的の行爲はしなかつたと憤いてゐた、當時避難者は海拉爾から札蘭屯間約三百キロの鐵道に沿ひて蟻の這ひ續くやう興安嶺を徒步で越え雪のみ宿の儘零の曠野を避難した光景は目もあてられぬ悲慘事でつた、それ等の者から掠奪した品物が札蘭屯で萬福麟氏の軍隊のため抑留されてゐるが

百數十車 に山積みとなつてゐるので萬氏も面喰つてゐた、道に黑火軍は掠奪にかけては吉黑軍よりも凄いと舌を卷いてゐる、萬司令は此狀況を張學良氏に報告し其指揮命を仰いでゐるが之がため胡毓坤氏と萬氏の仲は良くないらしい、この掠奪品のため特別な商人が倉庫を設け火事泥式の利益を目論んでゐるも面白い、札蘭屯以東は家のな[illegible]

呼倫貝爾首腦招待
勞農軍が保障占領の際

【ハルビン特電二十日發】海拉爾から廿日避難して來た一露人は ロシアの軍隊は去月三十一日六十臺の軍事用自動車に乘り到着し、ブリヤート、タタールの步騎兵約三千のロシア軍が海拉爾から牛露里の兵營に駐屯しウオストレツオフが指揮し八日呼倫貝爾の首腦者を招待し盛宴を張つた。その際二、三日のうちにロシア正規軍は東支鐵路から撤退すると言明し且つロシア軍は東支鐵路以外蒙古には何等手を出さないと語つた、海拉爾住民のうち家主や金持であるため拘禁された者約二十名あつたと

邦人の被害は 兩國に賠償要求
八木哈爾賓總領事談

【ハルビン特電二十日發】札免公司が支那敗殘兵のために掠奪を受け、滿洲里の日本人旅館が露支紛爭の際流彈に見舞はれた外各所に多數邦人の被害あり、此等は如何に解決されるであらうか、八木總領事は右に就き語る

滿洲里邦人の被害程度が如何なるものであるかは充分判明しないが、第三國として中立國である日本國民が若し不幸にして被害者を出した場合、國際公法上の慣例として當然加害國が損害賠償の責を負ふべきである、即ち其地域が戰鬪地帶の形式をとつてをらぬ場合は勿論のこと今回の露軍の攻擊は非戰鬪員の多い市街に發砲ししかも何等避難せしむべき二十四時間前に通告も發してをらぬと聞くから當然勞農政府は日本人の損害に對して責任を負ふべきである又札免公司の支那兵掠奪はその證左明瞭であれば支那政府は其損害に對し賠償すべきである、これは充分調査の上支那側に交涉すべきであらう

白系破血團
依然國境に出沒

【ハルビン特電二十日發】ハバロフスク市から當地支那側への入電によると露支交涉は圓滿に進行してゐるが、國境方面に支那軍が出動しをり白系パルチザンが盛動してゐるので勞農軍は之が一掃に努めてゐる

露領線を迂回して 滿洲里方面へ赴く
國際列車阻止の對策

【ハルビン特電二十日發】支那軍の國際列車阻止に、海拉爾、滿洲里との連絡杜絕となつたので八木總領事は本省に請訓を仰いだが多分田中駐露大使からカラハン氏に交涉し浦鹽からアムール線にてチタに出で、滿洲里に連絡し、滿洲里からは海拉爾に連絡を取るやうになるであらうと

青年黨飽迄 獨立期待
外蒙軍の應援で

【ハルビン特電二十日發】呼倫貝爾の獨立を擁護し外蒙と內蒙の一部を聯盟し反支那政權の擧に出たハイラル政權青年黨一派は外蒙軍の應援により目下同地方の守備に當つてゐるが、支那軍がもし武力を以つて呼倫貝爾獨立を阻止するならば我等は餘儀なく之に對抗せねばならぬといつてゐる

開會近き衆議院議場の内部

來るべき第五十七議會も愈目睫の間に迫り開會を待つばかりに 兩院議場の內外部は準備を整へられてゐる(寫眞は衆議院議場內部)

南京政府の危機(上)
反蔣雜軍 各地に蜂起
蔣氏の對策如何

石友三の部隊が、浦口で投じたそれこそほんとの一石が、意外に大きな波紋を畫き、すでに北支に在る殆どすべての軍隊等が反中央態度を明かにして、こんどこそ南京政府の危機目前に迫るの感を濃からしめるものがある。

▲▼

對西北戰爭に際しては、雜色軍を多く擁してゐた點に於て、また後方が攪亂される危險多き點に於て、中央軍に勝ち味が少ないとみたのが一般の觀測であつた、然るに雜色軍の出足が甚だ遲延され、後方では幾多の反蔣派が策動につとめたに拘らず、兎もあれ蔣氏はこの雜色軍を統御し而も後方の擾亂の具體化する前に西北軍を見事に擊破して意氣揚々南京に凱歌を奏し凱旋直後の政府の記念週には「修明政治」など稱する蔣氏の政治哲學をすら大衆に吹いて聞かせたものである。

▲▼

西北軍敗退の原因は、買收によつて退却したものであるといひ、その戰鬪に於て完全に敗退したものであるといひ、當地に在りては未だその眞相不明であるが、各種の事情を綜合してみると、援兵軍が中央軍側から如何かの金を得て[illegible]まで退却することを約[illegible]のが動機となつて、その全線に於て完全に敗退するに至つたものであらうとみられる。

▲▼

かくして蔣氏は奇蹟的に、この難局を解決することに成功したが、たまたまさきに湖北から湖南を經て廣西に移動してゐた張發奎氏の反蔣軍が、廣西に入ると共に廣西の土着軍悉くを糾合しそれに[illegible]派の名によつて蔣氏の爲めに叩きのめされ、[illegible]廣西の一部に小さくなつてゐた舊廣西系李宗仁一派の軍隊までが加擔して、一大廣西派を形勢し、蔣氏が西北戰爭に全力を擧げてゐる隙に乘じて、廣東を奪取せんと企てゝゐたのみならず、永らく國外にあつた汪兆銘氏が當時恰も香港に歸來して、これ等の反蔣軍を指導し更にも汪氏を擁立する全國各地方の[illegible]部の青年黨員等が起つて、[illegible]を一轉せしむるかの氣勢を示し、而も當時中央を擁護する廣東軍は總勢約三萬といはれてゐたに反し大廣西派の聯合に包まれた廣西軍は、總勢約六萬五千と數へられ、如何に守ると攻めるとの立場の相違を考へても、廣東軍の廣東固守は最早困難であらうと考へられてゐた、而も廣西軍は張發奎軍が北から李宗仁軍が西から迫り、廣西軍の全部は旣に廣東省境を深く侵入して、毎日を出でずして廣東を陷れんとするにまで形勢は切迫してゐたのである。

▲▼

蔣介石氏が、西北軍の兎も角も急には再び進出しない程度に解決をつけて南京に歸來したのは丁度この時であつた、驚くべき機敏さを以て南京に引揚げた蔣氏は、直ちに南京政府要人等を召集して其後の大計を決定すると同時に、未だ嘗てみざる大軍の輸送計畫を樹てゝ、西北戰爭の爲め前線に出動してゐた中央直系軍の引揚げを開始し、約十萬の軍隊を五十餘隻の運送船によつて、廣東に送り出さんとしたのである。

▲▼

さきには蔣介石氏が西北問題の解決に惱んでゐるときどうしても蔣氏に勝ち味が少ないとみた一般も、蔣氏のこのあざやかな機敏さには驚嘆の外なかつた、而してこの時こそは誰しもが蔣氏はさすがに戰爭にかけては強いとの感を深くすると共に、廣西軍の廣東奪取も汪兆銘氏の中央乘り出しも、また西北軍の再進出も最早到底望みなきのみならず、遠からず廣東問題が解決したらこんどは閻錫山氏もまた蔣氏の爲めに葬り去られる運命は免れぬだらうとまで考へしたものであつた(上海發)

選擧廓清調査會に
內閣は氣乘りせず
けふの閣議に不提出

【東京二十日發電】選擧廓清調査會設置の事は當初から內閣に反對があつたが安達內相の面目を立てると共に議會の楯本、政界廓清策につき政府も相當考慮しつゝあることを示すため一應內閣の下に設置することゝなつた、然るに實際に於ては內閣には依然として調査會が政界廓清の對策として選擧公營、黨財公開其他實現困難なる題目を取扱ふならば今直ちに着手せずとも今後愁り着手さるゝ事であり又應急諸對策を調査すると云ふならば議會解散に至らぬ以前に解散と極めてかゝるものであつて實際上は兎も角形式上不都合な事柄であるとの意見多く大調査會設置には氣乘りせぬ狀態であるので、內務省で立案中ではあるが二十日の閣議には提出されざるは勿論其實現までには今後尚相當の日子を要するであらうと見られてゐる

アグレマン 拒否訓電

【南京十八日發電】國民政府は國務會議の決定に基き駐日公使汪榮寶氏に對し小幡公使に對するアグレマン拒否の訓電を發した

樞府政府懇親會
十九日首相官邸にて

【東京二十日發電】濱口首相招待の樞府、政府懇親晩餐會は十九日午後六時首相官邸に催された、出席者は樞府側倉富、平沼正副議長富井、黑田、古市、江木、久保田石黑、櫻井、田、荒井、河合、鎌田、鈴木、岡田、水町各顧問(伊東、石井兩顧問官は拒絕、山川顧問官は差支へ缺席、九鬼、金子、松室、入代、石原各顧問病氣缺席)二上書記官長、村上、堀江、武藤各書記官、政府側は濱口總理以下軍部兩大臣を除く各閣僚、鈴木書記官長、丸山警視總監、黑崎法政局長官代理及び總理秘書官、內閣書記官、加藤內閣以來の難物たる樞府の御氣嫌を取結ぶため濱口總理は風邪を押して罷り出で鈴木長は病床から這ひだし肩で息をしながら御取持すると云ふ騷ぎ振りで濱口首相が政府側一同に代つて

現內閣成立當初皆樣を御招待して御高話拜聽旁々組閣の御挨拶を申上げる心組みでありましたが當時暑中で却つて御迷惑であらうと考へ差控へました、其後政務に追はれ今日まで遲延し眞に相濟みません、今夕は年末御多忙の折柄多數皆樣の御來でを戴き欣快に堪えません、本日御來でを願つたことは別段に何の[illegible]

製鋼所設置運動
具體的方法決定
けふ全委員會を開く

昭和製鋼所設置期成同盟會常任幹事會は十九日午後四時より市役所にて開かれ、具體的運動方法に就き種々協議を重ねたが時機を見て上京委員五名位を派遣して中央要路に對し運動を試みることゝし、運動資金に就ても各方面の寄附を得るやう諒解を求むることゝなつた、かくて二十日午後二時より全委員會を開いて右の經過を報告して意見を求め、二十一日には市內各方面の同業組合長の參集を求めて積極的運動に就き協議をなすこととなつた

日華人の社交機關
社團法人の倶樂部設置を計畫
大連有志協議の結果

國際都市大連市に日華親善の社交倶樂部がないのは遺憾とされ殊に支那人有力者間にかゝる

機關設置 を多年要望されてゐる此機運を察知した石本市長山口商議副會頭、村田慤麿(代理)神成季吉、谷信近、張璟坷、張麗堂公議會會頭、潘復(代理)李文權の諸氏は二十日會同し會員組織の社交法人日華會館の設立を協議した結果左案の腹案を具體的に實現することを申合せたので愈々日華社交機關の出現を見ることなるであらう、而してその趣意書建築個所、建築計畫等は旣に

基礎案が 成立してゐるが未だ發表の時機に至らない、因に右會合者は星ケ浦に仙石總裁を訪問して協議の趣旨並に計畫を開陳したところ總裁は大いに賛意を表した由

荻川放談 (134)
安協(其一)

東支鐵道を中心とする露支抗爭も、どうやら妥協の方に漕ぎつけるものゝ如し、そうなくちやならぬ、互に條約を尊重せば斯うしたことにはならないのである、なつてみると條約尊重の難有味が判るじやないか、實際に這次抗爭で露支兩國が如何なる利益を得たか、得る處なしで、而も互に犧牲を拂ひ、此安協に於て、若し相互條約に不滿もあらば、徐ろに改訂の方法を講ずるがよい、露支兩國は動もすると條約を無視せんとす。

◇

此兩國は條約を無視せんとする度毎に、それから這次の抗爭で露支兩國が、亦其條約無視の悪癖から覺醒して欲しいもんである、そうして日露支なんかは條約で締和し、滿洲の發展に盡さば、其處に樂土が顯れ、東洋の平和に貢獻することの顯るゝ大なるべきが信ぜられ、人は今度の露支抗爭で、日本側は非常な利益を得たと云ふ、それに相違ない、併し此利益は殊更に日本側が攫まうとしたのでない、露支抗爭がそれを攫ませたので況んや此時期に日本側をして此利益を攫ませなんだら、北滿の經濟界は滅茶苦茶に陷つたと思ふ、さすれば日本側の利益は之を救ひし代價に過ぎない。

◇

併し日本は斯んな一時的の利益を得て喜ぶものでない、それよりも露支兩國が、日本に對する滿洲での諸條約を尊重してくれるなら、日本側の利益は今度よりも一層に多かるべく、而も其利益は日本側の獨占に歸せない、恐らく三國均霑に之を享有し得らるゝ譯ともならん、條約尊重なるかな、安協なるかな、そうして今や兩國が此安協に入るとは喜ばしい、日本人側も一時の利益に迷はないで、何れ到達すべき其安協に向つて準備し更に露支兩國へは條約尊重を高唱して、滿洲の發展、東洋の平和に邁進しようじやないか。

◇

それにしても差當り御許無きは東支鐵道西部線地方の情況である、そこにある外人殊に數多き日本人はどんなにして居ることにや、亦支那人とて悲慘な境遇を續つて居ると傳へられては、人道上からも無視が出來ぬ、在哈市列國領事團が其擁護に、國際鐵道列車を進めたは寔に機宜に適した措置と云はなければならぬ、然るに該列車が支那軍に阻止されたこそ、奇怪千萬で、それが兩國の戰線を突破するは至難としても、支那側としては自己の戰線まで之を導きて、それからは該列車をして露國側に交涉せしめ、其戰線に入らしむる如くすべきが當然であるまいか。

兩民政署の異動
大連では二三名勇退

藤原署長の去る旅順民政署では主任級の二氏の異動が確定した、即ち現在九名の主任級の最高地位に在る會計主任荒井平馬氏は現在判任官二級俸で、次ぎの異動に際しては理事官昇進と看做されてゐたが今回の異動に依り理事官に昇進して勇退し後進に途を開く事となつた、次に現稅務係主任志村源藏氏は判任官三級であるが之は新陳代謝の意味で大連民政署稅務係に轉任することに內定してゐる、荒井會計主任の後任は同係次席で四級俸を食んでゐる牛田幾郎氏が昇ふことゝなるらしく、志村稅務主任の後任には金州民政支署稅務主任の泉柳治郎氏の轉任を見るらしく、泉氏の後へは大連民政署から補充される模樣であるが、今次の異動に依り大連民政署の高級判任官二、三氏は理事官昇進を以て勇退するものあるやに傳へられてゐる

年賀郵便成績

年賀郵便の特別取扱は本日から開始されたが午前十時迄に大連局では三、二二〇通沙河口局では一、〇五〇通の引受があつた

王外交部長 辭任許可

【南京十八日發電】外交部長王正廷氏の辭任申出では二十五日政治會議で許可するに決定した

藤原鐵太郎氏
水產界に活躍

決した藤原旅順民政署長は、來る高等官三等一級に昇進して勇退の筈で同氏の勇退辭令は同日迄には發令さるべく同氏は內地に歸還二十四日はるびん丸で內地に落ちつき父親の業にして且つ同氏は東京小石川の同氏夫人の假寓が最も興味を有する水產界方面に身を投ずる模樣で在滿十年間の經驗上專ら發動機船に依る漁業に從事すべく南北支那方面への進出を目論んでゐると傳へられてゐる

太田長官
社會事業視察

太田長官は二十日小林秘書官、水谷地方課長を帶同し大連市における左記社會事業施設を視察した

聖德會、傷仁會、宏濟善堂、智光院、慈惠病院本院及分院、大慈園、育兒婦人ホーム

サラリーマンの金融

【東京十九日發電】安田保善社では豫て小口信用貸附「サラリーマン金融」につき調査研究中の處十九日午後愈々來年一月より日本晝夜銀行をして左の要項により營ましむる事に決した

一、金額 五十圓以上一千圓迄
一、利率 年八分(利子前拂ひの事)
一、手數料 二百圓未滿一口一圓
一、期限 一ケ年
一、借主の資格義務、滿廿五歲以上の旣婚者にして官衙又は相當會社に二ケ年以上勤續しかつ倘ほ勤續の見込あるもの
一、保證人 二名以上連帶とす

[illegible]げます、總理大臣には政務御多端の際にも拘はらず我々を一堂に會せしめられの組閣御披露に與かり眞に感謝に堪えません今後は議會も開かれます\/御多忙のことゝ拜察するが、國家のため御自愛專一に良く御健康を保たれ一層の御奮鬪あるやう切望します

と謝辭を述べた、それから鼠ケ岡茶寮の日本料理で杯を擧げながら胸襟を開いて雜談を交はし一同歡を盡して八時半散會した

人事

▲日本赤十字社滿洲本部診療所長西岡新次郎、同社滿洲委員本部主事我孫喜太郎、同大連委員支部書記塚越那次郎三氏 診療所設置挨拶のため二十日市內各方面歷訪

▲佐藤榮志氏(大勢新聞副社長) 廿一日午後九時三十分大連驛發急行列車で陸路歸京

大觀小觀

今度は田中隆三氏に富士生命疑獄事件の疑惑かゝる、近頃文相の椅子は政界の鬼門。

◇

だが、文部大臣に不正事件が起きても世人は存外無關心、小學教師のわ中沙汰程も興味を持たぬ。

◇

小學教員は倫理的で正しいものと信頼されてゐるに反し、政治家の正直を信ずる者ない證據。

◇

選擧廓清調査會設置行惱み。廓清してもしきれぬやうな廓清など手をつけぬことだ。

◇

要は國民の自覺にあり、國民一般政治に目ざむれば、泥棒政治家の百鬼畫行は自然消滅疑ひなし。

◇

經濟國難、疑獄、緊縮節約、議會解散風等々、あはたゞしき歲末よ。多來りなば春遠からじ。

天氣豫報

廿一日(北西の風)曇り時々晴れ

各地の氣溫

	昨日最低	十一時
大連	零下一一、四	零下九、六
旅順	同 一〇、六	同 八、〇
營口	同 一八、〇	同 一二、五
奉天	同 二三、五	同 一三、九
長春	同 二五、〇	同 一七、二

押し迫る年の瀬に さまざまな世相

教室の慈善箱から 常盤小學生の暖い同情

本紙の記事から哀れな人々へ 阿部君は貯蓄から

常盤小學校五年生阿部繁雄君は十八日本紙夕刊所載「お正月もされぬ貧しき人々」の悲慘な生活を讀み子供心にもいたく同情し平素兩親より頂いたお小使を節約して貯蓄した中から前記貧困者十三家庭に對し一戸宛金三圓づゝ合計三十九圓を分贈すべく兩親の許しを得てその處置方を學校に申出で、又同校六年三組女子一同は同じく貧困者十三家庭に贈りたいと八圓十二錢に左記本社宛の手紙を添へ先生に差出したので同校より二十日本社に取次方を依頼して來た

依頼狀

一金八圓十二錢也

右は私達が教室の一隅に慈善箱と稱するものを作り置き平素小使錢を節約して餘つたものを入れて置いたものでありますが先般貴社新聞に掲載されました御氣の毒な家庭十三戸の人々に適當に御分配方を御依頼申上ます

瓦斯器具を一齊檢査 正月料理に備へ

南滿瓦斯會社では歳末を控へたので各家庭の瓦斯器具檢査を行ひ燃燒力の能率を向上せしむるため全市に亘つて十日から十四日まで家庭訪問をなしたが、沙河口、聖德街、臘前屯方面を除いた舊市內の訪問戸數は一萬三千五百四十一戸內修理を要したものが二千六百二十五個、七輪の取換が二百四十三個であつた、而して各家庭に於ける正月用料理の煮炊には最善の方法を以て瓦斯の供給を圖ることゝなつてゐるが若し器具の破損、火の回の惡いといつた故障を生じた場合は八一八一番に電話をかけて貰ひたいと

債權の取り立て 藝者の髪結ひ代まで

遥々と內地から願ひ出る

福岡市水茶屋町髪結業山田ハマは現在逢阪町の快樂に居る谷山トミが福岡水茶屋檢番に藝妓稼業中髪結代十六圓二十錢を未拂の儘渡連しましたから借金返濟方の說諭をまた越後町三二下宿業鈴木マサは現在逢阪町末廣ビル內の高木五一（假名）が下宿料殘金十四圓十二錢也を同じく現在關東館に止宿する鈴木某が本年十月十一日友人中松某內山某を伴ひ同人が責任者となつて止宿したが其の三人分の下宿料殘金三十六圓九十六錢を此の際返すやう說諭して下さいと何れも大連署の保安に願ひ出た

非常警戒 けふから第三期に入る

年の瀨も迫り愈々師走氣分に町の姿も人の心もせはしくなるにつれ火事、泥棒のシーズンとなつたので大連署では廿日より愈々非常警戒の第三期に移る事となり若干の警備員を殖し殆ど總員出の大警戒に移つた

歳の市の裝ひ

超特急 明春四月から運轉

【東京十九日發電】東京大阪間超特急列車は明年四月一日から運轉開始に決定したが東京發は午後一時三十分大阪着は午後九時五十分とすると

忽ち効果が違ふボーナス 矢張り暮れに欲しいのが人情の 二月渡しの大連汽船

何處の會社でも、お役所でもボーナス貰つて不景氣風もなんのそのとお正月を迎へる氣分であるが、これはまた「會社の方針です決算が二月だからそれが濟まねば會社の收支も解らない從つて今年からは十二月のボーナスは止めにして二月に差上げます」こんな事に端を發して大連汽船許りは飽迄のボーナス景氣も何處へやらしなびた樣な顏をして澤山の社員が浮ぬ有樣である

重役さんはそれで好いでせう、だが我々平社員はそれじや困りますよ勿論この話は六月から言渡されてゐる事ですが……さて打つかつて見ると矢張りお正月前に貰ふのと濟んでから貰ふのは同じ賞與でも效果が違いますからね

と若い人達はそう云つてゐる、某重役さんに聞いて見ると

それは社員の心中もよく解つてゐるが決算が濟まなければどれだけやつて好いかも判然としない道理じやなからうかとの仰せ

內地から着くお正月用品

內地から船が着く毎にドカ〳〵とお正月用品が陸揚げされてゐる、暖かい顏色をしたみかん、白い粉をふいた昆布の梱包黄金色した內地酒の菰被りそれ等がぎつしり甲板の上に並べ立てられてゐる、この次の船位では門松に若竹が運ばれて來る（寫眞は入港船の甲板の壯觀）

不正事件とは全く無關係 一笑に附し文相語る

富士生命の讓渡事件

【東京二十日發電】不正事件の疑ひをかけられてゐる田中文部大臣は十九日夜之を一笑に附して左の如く語つた

富士生命を今の經營者に讓つたことについては讓つた方も讓られた方も當事者は自分とは全く別人であつた、即ち讓つた方は社長が藤田平太郎男、專務は寺田氏、讓られた方は社長が中山侯爵、專務は岩田氏で自分は其の當事者ではない、只自分は曩に同社の重役として名を連ねただけの關係である、而かも其の契約を結んだ時も讓渡を實行した時も二度共郷里秋田に歸省中だつたものだから自分は何も知らない、單に自分が今文部大臣であるが故に殊更に傷つけんとしようとしたもので全然問題にはならない、こゝまで泥試合が行づては眞に憤慨に堪へない

重役を召喚取調べ 十五萬圓が行方不明

【大阪二十日發電】東京地方裁判所北條檢事は去る十六日密かに來阪、事か取調べを續けてゐたが、十九日突如富士生命保險の重役を取り調べ事件は漸く政治問題と合流するに至つた、事件の內容として傳へらるゝ處に依れば昨年富士生命の大株主藤田組が北海道の實業家岩田三平氏に讓り渡の際十五萬圓が行衛不明となり其の間藤田組の重役に背任嫌疑ありとして當時藤田組總務理事田中文相に對し元代議士益谷秀次氏から告訴が提起され東京檢事局では徹底的に眞相を窮むべく着手したらしい

荒天續きに 惱む圓島燈臺 無電故障で消息不明

黄白嘴の燈臺も消燈

打續く荒天のため圓島燈臺より兩三日前の情報によると波高く十六日交替に關連出來ずとあつたが、その後何等情報なく安否を氣遣はれたところばいかる丸が同地通過の際無電をもつて安否を問ふたがそれが無電に接せず恐らく無電に故障を起したものであらうと因に同船が通過の際は點燈してゐた由で黄白嘴燈臺も亦被害を受け十八日以來消燈の儘である

上海に積雪二尺餘 昨夜來交通機關杜絶す 五十年來の大雪

【上海電報二十日發】上海にては十二月に入ると共に連日降雨續きであつたが、十九日より氣溫俄に低下し夜に入つて雪となり今朝積雪二尺餘に達し昨夜來市內の交通機關は全部杜絶し一切の乘り物は姿を消し當地に珍しい寒氣のため貧民が續々と凍死し五十年振りの大雪だと稱せられ又もや大雪を材料に各種の流言蜚語が行はれ歡樂の都上海も雪に埋まつた

仲介業から施療患者 密輸で未決中に罹病し

昨日遼惠病院に施療患者として入院した原籍東京府無職村上篤二（四）は昭和二年來滿以來鐵材其他のブローカーを營業として相當の暮しをしてゐたがモヒ密輸事件で營口領事館警察にて懲役二ケ月執行猶豫に處せられ其の未決拘留中に病氣となり其後病の漸むと共に貯へもなく營口署員の同情を受けて旅費其他をめぐまれて來連し十八日夜は智光院に泊つたが何分無一物で遂に大連署の同情で施療患者となつたものである

白晝、西通で 六百拳御用 男女六名を珠數繫ぎ

十九日午後三時頃大連市西通一一五神田信一方に於て年増女を交えた五六名の者が六百拳賭博開帳中を聞き込んだ黒龍巡查は澤田、寺井、井手三巡查の應援を得て現場に踏み込み折柄厚紙を金の代用として開帳中の市內西通一一五吳服商神田信一（四七）同人妻イト（三二）市內西公園町一七八ノ六株式賣買業濱野鐵三郎（四三）市內西公園町一八七濱野方古物商仲久保クニヱ（三七）市內若狹町一四岩藏妻田崎テル（四七）市內伊勢町一〇一佐伯イワ（五五）の六名を取押へ證據物件として花札金錢代用の厚紙、現金二十錢を押收して引揚げた

奉仕の時代

奉仕的にやることが特に今は商賣の秘訣らしい。講談倶樂部は新年號から値下げ斷行の昂しい實行なさうだ。書店も驚いて居る。其他講談社の雜誌は凡て奉仕的、少しでも世間の爲になるやうにと損得離れての大勉強、どれもこれも寧ろ好景氣時代よりも賣行きが良いさうだ。

行商邦人を 支那人が袋叩き

惡店員揃ひの支那料理店 泰呂樓で中食して

市內沙河口仲町一四八服部辦次郎長男齋洋（一九）は十九日午後一時ごろ鮭行商の途中惠比須町九五細川泰次の經營する支那料理店泰呂樓にて中食をなし食後店においてあつた鮭一匹が不足せることより同家帳場唐日軒と口論の末唐はストーブ用の金具を以て齋洋を毆打し更に店員樂蓬吉（二七）外三名もこれに加勢して棍棒にて袋叩きとして居るのを附近の邦人が漸く仲裁したが小崗子署では唐外店員を傷害犯人として取調べ中である尚泰呂樓は曩にも逢坂町の料理店と女店員のことより睚み合を始め双方共二十名近くの人を集めてまさに大立廻りを始めんとしたのを小崗子署にて探知し事なきを得たこともあり始末に負へない惡店員揃ひであると

支那少年が 少女に暴行

母親から告訴

山東省生れ當時市內常陸町五一籠屋飲食店方隋學（一四）は十二月十一日午後七時頃常陸町大連湯橫手小路に其の附近で遊んでゐた常陸町五四張玉才方長女張代小（六）に豚饅頭をやるからと欺いて連れ込み矢庭に暴行せんとし張が母を呼ばんとするのを口を押へて脅迫暴行した事十九日張の母親の屆出に依り十九日犯人隋を逮捕した

奉天藝者が情夫と驅け落ち

奉天柳町料理店いろは樓抱へ藝妓小染こと中村タカエ（一九）は十九日夕情夫菊池某と共に姿を晦まし來連せる模樣があるので廿日いろは樓々主より大連署へ搜査取押へ方を願出でた

絶えぬ献金者

十七日以後の献金左の如し

▲二十二圓八十五錢大連商工學校職員生徒一同▲二十圓柳町七二門屋庫太郎▲三十圓愛宕町金光教々會▲二圓育成學校柳本孝明

大連署武道納め

大連署にては本年の武道納會として同署道場に於て二十日午後一時より柔劍道段外紅白試合有段者の個人試合を行つた

苦力を飛ばす

二十日午前八時頃若狹町電車道に於て大連タクシー運轉手山口梅雄（二四）が大三二四號自動車を運轉して春日町より埠頭に向ふ途中通行中の氏名不明の支那人苦力をはね倒し苦力は其場に顚倒して腦震盪を起したので直ちに滿鐵病院にかつぎ込んだが負傷の程度は今の處未定

台所メモ

品目	單位	上	下
ぶり	百匁	二五	—
いか	同	五〇	二五
たこ	同	三五	一五
かながしら	同	一〇	〇六
えび	同	七〇	三〇
ひらめ	同	一五	〇七
すゞき	同	二〇	一五
さはら	同	五〇	三五
ぼら	同	四〇	三〇
かれい	同	一五	一〇
あなご	同	四〇	二五
ちぬ	同	三五	二〇
せうが	〃	〇八	〇六

平安異香 (205)

葉多默太郎 作　中一彌 畫

奔流（三）

「おれの首を持つて行つて、商賣の資本など貰うては」

といふ怪しい僧――

鏡磨師はあくまでも笑止な顔をして、

「へゝゝゝ御冗談でせう。が、似てゐることア似てゐる。兄弟だといへば誰だつて本當にしませう」

「當の本人だといへば猶更よいだらう」

「通りますれ、それだけ似てゐりや」

「だから持つて行けといふのだ」

「へゝゝゝゝ」

笑つて、おつと笠の中の、僧の眼を覗きこんだ鏡磨師と、その鏡磨師の顔へ、かぶさるやうに饅頭笠が寄つて來て、あたりを憚る囁きだつた。

「源八郎、還々見破つたな」

鏡磨師は云つた。四日になる。四日前[illegible]毎日かさず、それへ[illegible]士装の男が追ひすがつて、

「主領――」

人目を憚りながら呼びとめた。

「木葉役人ががやく\騒いでやがる。辻札の見物人の中に混つてゐたらしいんで……いろく\な風體をしやがつて。それが寄り寄り相談を始めやがつた。何か始めるんぢやねエでせうかね」

「さうか。で、源八郎？　先刻はおれと物をいつてゐた鏡磨師が源八郎なんだが」

「おう、さうでござんしたか。あれが源八郎、さうでしたか、それならずんく\北へ行つてしまひました」

「さうだらう。ぢや捨てておけ、何ともありやしない。だが、お前達みんな、巣を衝かれないやうに用心して引上げろ」

「へえ――だが、彼奴等、あなたと感づいてやがるやうで……」

「よいわ、すてゝおけ。源八郎のこゝでかうして會つてゐたな」

「知つてゐたのか、さうか――」

「夢之助、最後の勝負の時が來たやうだ。覺悟はよいだらうな」

「いや、まだその時でない。わしにはいろく\仕事がある」

「顔づくで捕るなら文句は云へまい」

「こゝで捕るといふのか」

「捕つて捕れないことはない。見ろ、この人集りの中にわしの部下が潜んでゐる。分るか」

「あゝ、分らぬでもない。が、わしの方の者もゐる。この中に七、八人、酒をぶらく\歩いてゐるのが十人ばかり、近ごろわしは一人歩きをしたことがない。二、三十人は何時も身邊についてゐる。今捕らうとすれば徒らに世間を騒がすばかりだらう」

「うむ、さうか。では今日はこのまゝ別れる。だが、長くはおかぬぞ。隙のないやうに、日夜注意をしてゐることだぞ」

「心切な役人だ、有難う。精々用心をしよう」

「……………」

鏡磨師の黒住源八郎は、夢之助へ最後の一瞥をくれて、そのまゝ群衆を掻きわけて去つてしまつた。後目送つた夢之助、にんまり笑つて、ぐつと笠を傾けて、人垣から―て行つた。が、二、三間を歩

朱鷺なくて動ける奴等ではない」

笠の縁に手をかけて陽脚を眺め、ゆつたりと草鞋を踏みしめて行く夢之助――

その時分、幸は、朱雀院の築地に添つて、すたく\と歩いてゐた。たゞもう無闇に歩いてみるより外に仕方のない幸である。ふとして春光が見つかりはしまいか。こちらの姿が春光に見られはしまいか――

儚い望みを綱りに、あてもなく彷徨つてゐる幸だつた。

この都の幾萬の人間の中から、たゞ一人の男を探し出すといふのは、大海に放つた魚を求めるやうなものではあるが、人には時に、偶然を頼みにして動くより外に、仕方のない時がある。

左は築地、右は邸の門、大路には、朝勤めの牛車、輿、騎馬、そして人の流れだつた。

黒牛にひかせた黒塗りの轅の牛車が來る。

ふと、幸は立止つた。

映畫と演藝

首の座

この物語の筋はあまりに有りふれた物である。裏長屋に住んで居る兄弟と弟の戀人である貧しい娘、其の娘をねらふ金持の武士、兄に戀して居る鐵火な女……きまり切つた筋、此等の人物が織つて行くだけである。しかし此の映畫を見て少しも退屈を感じない。何故退屈を感じないか、そこに山上伊太郎とマキノ正博の本當に好きるコンビネーションの價値を見とめると同時に、獨立した山上伊太郎の筆と正博の腕の好さを認めねばなるまい。

◆此の物語りに出て來る人物は、傳兵衛も、巳之助も、お六も、おしゆんも皆立派に魂を持つて居る。そして其の魂が織つた物語「首の座」の底には「救を求める人々」の姿が描き出されて居る。山上伊太郎の頭のよさ、彼はたしかにプロレタリア的何物かを意識的に此の物語りにひそめて居るに違ひないと考へさせられる。マキノ正博は此の映畫に殆んどタイトルを用ひて居ない。しかし時々用ひる適切なタイトルは、効果的なオーバーラップと共にこの簡單な物語りに非常なスピードを掛けさせて居る。殊に最後の切り万等も一見馬鹿にした様ではあるが、巧みな餘情の持たせ方である。とにかく此の映畫は「浪人街」で賣り出した山上伊太郎、マキノ正博のコンビネーションに一層の榮譽を與ふるに足る物である。

噂話

英澄演藝館主がきのふの船で大阪から歸つて來たが▲正月興行は西洋物で押すのだと物凄い鼻息であるが▲「街の天使」をはじめ「ショーボート」や「無鐵砲ロイド」が豫定され▲帝キネ作品は「戀のジャズ」や「あすは決勝」の現代劇揃ひ▲常盤座の第二週は「西南戰爭」と「刀を拔いて一」だらうとのことである大日活は來週のプロを俄に變更して「維新の京洛」大會を催す▲演藝館の表飾りが舞臺を一新したが、浪速館の入口にも金模の額をヅラリと並べて選定に選定を重ねたプロでゆふべ久振りで社員倶樂部の映畫會が催されたが淋しかつたとのこと▲それから昭和會館は正月には館も増えた事だし來年は今年のやうな催しをせない▲現在の計畫で行くと明春解氷期には新映畫館が雨後の筍のやうに出來る▲氣の早い連中になるとチャンと館名まで映畫會社と特約して來たといふ

映畫案内

俄然……松竹映畫との提携なる
十九日封切
市川右太衛門主演映畫
三下野郎
中村吉松、高堂國典助演

マキノ時代劇部秋期超特作
名トリオ 原作脚色…山上伊太郎 監督…マキノ正博 キヤメラ…三木稔
首の座
谷崎十郎、河津清三郎、櫻木梅子助演

マキノ御室スタヂオ 小品時代映畫
怪談 **狐と狸**
桂武男、市川米十郎、泉清子共演

階下二十錢 この番組でこの料金！
浪速館

十七日封切
市川百々之助主演映畫
◆**黒駒の勝藏**◆
甲斐の黒駒鬼より怖い鬼の涙も持ちやせぬ……
百ちやん獨特の剣劇陣……大殺陣
帝王映畫我等の珍優モンテイバンクス氏大脱線演出
◆無理矢理**空の大統領**◆
ソラ、ソラ空の乱舞、空中ジャズ、大空征服の大レビュー、おとぼけモンテイ得意絶頂
◆**お母よ**（原名 母性愛）◆
藤間林太郎、高津愛子共演
階下三十錢 一切拔御持參下さい一枚で三名迄通用
演藝館

十六日より一週間 時代劇
江戸育
原作・脚色・監督…友成用三
林長二郎一人二役 若水絹子…助演

冷眼
原作・脚色…木村不二夫 監督…惡麗之助
市川右太衛門主演 鈴木澄子入社第一回出演

鳥邊山心中
原作・脚色…藤原忠 監督…多島泰三
林長二郎主演 若水絹子、若月雀助演
帝國館

十八日より大公開 階下席五十錢
日活特作時代映畫
大闘陣
清川牡司、常磐操主演

パラマウント映畫社特作大爆活劇
巨匠クラレンス・バッジャース監督
女シーク
お轉婆・ビーブダニエルス嬢主演
美優・リチヤード・アーレン氏
素晴しいギャグとイットユーモアーの解禁大脱線

日活特作現代映畫
原作 如月敏・監督 伊奈精一
百面相（三朝小唄・秋内閣蝶入）
名花名人 梅村蓉子 杉狂兒 主演

亡び行く寄席藝人の末路悲戀、戀悲の純日本趣味豊かなる藝術作品……朗かで樂に觀られる
大日活

十八日より公開
大東亜提供 吾妻三郎主演
長袖の剣士
監督 山口好幸
階下貳拾錢にて解放
現代劇 **嘆きの白百合**
齊木繁、川島奈美子主演
國德麿主演
首賣權三

満洲日報

第一線に立つ…婦人の座談会

今日第一線に立つてゐる方々の會合です。この方々の生ひ立や今日を築く迄の話を伺ふと、全く今日あるのも偶然ではないと考へさせられます。人はこの努力なくては成功出來ないとハッキリ分ります。ご婦人は勿論、殊に職業婦人として成功を望む方々は、一刻も早くこの大讀物をご精讀下さい!!

(出席者) 吉屋信子 市川房枝 金子しげり 平林たい子 竹内茂代 佐藤千夜子 栗島澄子 長谷川時雨 千葉益子 太田菊子

我が一門の誇り

數々の光榮に浴した長命者揃ひの目出度い家の話、三博士二學士をもつた母の話、又世の惡評に耳もかさず防波堤を築いて村の爲に盡した祖父の話など實話五篇。

漫畫の國

▼モダン新正月(漫畫) 北澤楽天 麻生豊
▼築く者の歡び(漫畫) 森久夫
▼緊縮の正月(漫畫) 宮尾しげを

親馬鹿物語 都河竜

今月号の「越えて來た道」は、本社々長の偽はらざる父性愛の物語です。八人の子の生ひ立、二人の娘の嫁ぐまでを發表!!

金解禁に際して主婦方へ希望

大藏大臣井上準之助氏のお話です。社會經濟の動搖がスグに一家の台所に影響する世の中となりました。一月十一日の金解禁を控へて今や、物價の低下と不景氣が豫想されてゐます。では、一家の主婦は如何にして昭和五年を安心して過ごすべきか。それを教へたのがこの記事です!!

新春に際して愛讀者へ (雜誌經營のムダを省く爲にお願ひしたいこと) 都河竜

巧みに機會を捕へた話 (この頃の不景氣にはこのコツをお忘れなき樣に) 實話四篇

愛讀者の新家庭初正月座談會

新婚初めてのお正月には、思ひ出しても噴き出す樣な失敗談や滑稽談があるものです。そうした思ひ出話を、人妻となられた愛讀者が、初正月の思ひ出、泣も聽しかつた話、冷汗の出る樣な失敗などに就て、偽らず語り合つたのがこの座談會です。先づ〱お臍の宙返りしないやうに。

一事千金の實際記事

▼スエーター三種 帽子三種
▼兒女用スエーター編み方
▼赤ちやんの編み物五種
▼男女兒用スエーター五種
▼赤ちやんの暖かい下着
▼時と場所に依つて違ふ化粧
▼流行を加味した和洋装
▼日本料理の秘訣十種 公開
▼煎茶番茶の入れかた
▼お酒向きのお肴色々
▼お正月の客膳料理 公開
▼數の子の美味な藏き方
▼家庭向きモダン重詰お料理
▼新年の盛花と投入花

築く者の歡び

新家庭を築く人々へ (住居費、貯金、夫婦愛、健康などに就て懇切に) 都河竜 太田菊子

行李一つでお嫁入した安達内相夫人の秘話 (現内閣の大立物が、今日への第一歩を築いた結婚當初の物語)

映畫王國を築き上げた城戸四郎氏 (一高野球の選手であつた城戸氏が、奮闘實話を初て世に公開)

金剛煙突を發明して巨万の富 (六十円の月給取りから、今日の巨万の富を築く迄の苦心談!!)

文無しで學校を建て九人の子を育てた河口愛子氏 (一女教員から廢物利用で有名な女學校長となつた出世物語!!)

カルカッタ總領事から精米機業を始めた朝岡健氏 (華かな外交官から何故商人になつたか? 其動機や現在の生活)

誌上大學病院の健康診斷

胃病の種類とその症狀、胃潰瘍と原因、胃潰瘍と腦溢血、盲腸炎、胃癌などに就て、その豫防及び手當を、細密圖解入りで、分りよく親切に説明してあります。

- 平野博士
- 歐羅巴の子供と日本の子供 太田博士
- 小兒の肺炎の手當 竹内茂代

- 生活線ABC (一家の沒落から上京する彼女達の運命は) 細田民樹
- 戀愛結婚制度 (長女の愛人が次々に妹達と結婚して行く) 菊池寛
- 女人哀詞 (唐人お吉物語四幕のうち二幕だけ發表!!) 山本有三
- 光の序曲 (音樂家夫婦が藝術と愛に惱む問題の小説) 畑耕一
- 松井須磨子 (彼女の生ひ立や戀愛秘話を赤裸々に公開) 古川實
- 自畫像 藤原義江 (現秋子夫人の生ひ立ちから最初の結婚に破綻する頃の物語)
- 松尾多勢子 大倉桃郎
- 淀君 三上於菟吉

新年号大附録…和洋裁縫手藝全集

四六判、約五百頁、雜誌出版界曾て見ざる大附録!!
最新流行應用、說明平易、圖解だけでも約四百個

和服は寸法や揚げの仕方、紐のつけ方など隅々まで實際役立つように一通り纏めました。洋服は素人に作り易い物を澤山集め、手藝は趣味的の物より實際向の物に力を入れた、スバラしい大附録です!!

和服篇 全十五章五十四項
大妻コタカ 堀内蘇舟 鄭田恵助 金田善亮 瑠璃子

洋服篇 全十九章八十二項
千葉智子 丹羽芳子 三浦せつ子 八木靜枝 中村サエ 小川靜子 山田松子 今泉靜江

手藝篇 全八章六十六項
山田松子 金子良子 高津鶴子 加藤常子 島阜月 奧村華子 小幡繁子 今泉靜江

本號特價八十錢(附録共送料十一錢)・半年分(送料共)三圓廿錢・一年分(送料共)六圓廿錢・東京市丸ビル三五五 振替東京二九三七番 **婦女界社**

學界未曾有の盛觀・空前の壯擧
專門大家三十氏の協力に成る

明治維新史研究

東京帝大文學部 史學會編
菊判美装 八五〇頁 定價三圓八十錢 送料二十七錢

最新刊 明治維新が、大化改新と相並んで日本歴史上に猶要なる劃期的のものであることは、今更云ふまでもないことであるが、ここにこの劃期的なる時代を捉へて、政治・外交・經濟・思想其他各方面から、我が史學界に於ける權威者の殆どすべての諸君が、各々その專攻の立場から研究せられた成果を發表して、そのたゞに國内だけの考究に止まらず、東洋史・西洋史等の立場から國際的にまでも之を觀察考究せられたことは、群芳妍を爭ふと云はんか百花爛漫と云はんか、明治維新を中心として、日本歴史の精華を一堂の下に集めたものであるはこれまで曾つて無いことである。この書の價値多く、その學界のみならず、社會各方面に寄與貢獻するもの大なるは誰人も肯定するところであらう。吾人は本書が明治維新史研究に於て恐らく最もよく集大成せられ著作界に於て最も貴い地位を占むるものたるを確信する。

改訂増補 書翰文講話及文範

芳賀文學博士 杉谷代水 著 前田晁 補
四六判 一、一三〇頁 定價三圓 送料二十七錢

正しい手紙を認め正しい文章を作る事は何人に取ても面倒な或は困難な仕事の一つである。芳賀杉谷兩氏の「書翰文講話及文範」「作文講話及文範」の兩書がこの方面の指南書として、明治大正を通じての名著の一つであつたことは世人の記憶に新なるところであるが、今や時代の進歩はこの兩書の改纂増補を促して止まない。我社はこれを前の「文章世界」の主筆として令名ありし前田晁氏に請うてここに數年、兩書共全篇に亘りて根本的に改訂をなし、講話に文例に徹きを求つて新しきを補ひ、清新そのもの、親切そのものとして、昭和新文章道の最も權威ある指南書たることを期した。組織の斬新で說話の親切なこと、引例の豊富で興味の多いこと、この兩書さへあれば何人でも即座に自由に新味ある正しい手紙や文章を認めることが出來る。これこそ眞に萬人必携各戶必備の日常用具、家庭要具と稱すべきものである。

最新刊

改訂増補 作文講話及文範

芳賀文學博士 杉谷代水 著 前田晁 補
定價三圓 送料廿七錢

◆富山房賞選 三大國民歴史◆

國民日本歴史

高橋俊乘 著
四六判 七八五頁 定價三圓二十錢 送料二十七錢

◇鑑選者 芳賀・上田・三上・幸田四博士◇

國民と國史とは相離るゝことの出來ない關係を有してゐる。國史があつて國民は成立ち、國民があつて國史が存續して行くので、國民の血の中には國史が流れて居り、國史の文の裏には國民が動いてゐる。この意味からして、國史と國民とは決して相離ることが出來ないものである。即ち國民教育上、國史教育の重要性が特に力說せられる所以で、わが社が敢て賞を懸けて萬人共通のやさしく面白き歴史物語を募集した理由もこゝに存する。本書は即ちその當選傑作。

國民西洋歴史

柴田親雄 著
四六判 七〇〇頁 定價三圓三十錢 送料二十七錢

◇鑑選者 村川・瀬川・浮田・箕作四博士◇

わが國民は國史の知識によつて國民的精神の根幹に培ふと共に、世界歴史殊に西洋歴史の一般的知識によつて、現今の西洋諸國家が進化發展し來つた由來をたづね各民族文化の長所と短所とを學ぶことは國民的修養の基礎であり、また世界的國民としての素養を全うする所以でもある。行文多趣平明、エジプト建國以來四千年の波瀾極りなき西洋史の全貌をあくまでも興味深く記述してゐる。

國民東洋歴史

村上秀一 著
四六判 六二三頁 定價三圓二十錢 送料二十七錢

◇鑑選者 箭内・羽田兩文學博士◇

わが國人の東洋歴史に對する知識は、當然歐米人の上にあるべきであるが、事實は却つて歐米人の下にあるのは、從來よき東洋史が刊行されず、殊に現代國民の容易に理解し得る文章で書かれた興味あるものが殆ど存在しなかつたのが、その重要なる原因の一つではあるまいか。本書は即ちその欠陥を補ふために公にせられたもので、東洋史獨得の複雜な事象を輕快な筆致で書きこなし、有名な史話を面白く其の間に點綴した、何人にも理解し得べき趣味の東洋史である。

東京九段坂下 合資會社 **冨山房**
振替東京五〇一番

軍備の積極的縮小には日米の意見著しく接近

米國は我七割要求緩和のため艦種の妥協を提議か

【東京二十日發電】我全權と米國務長官の會見に依り我根本要求の趣旨は相當理解され軍備の積極的縮小に就いては著しく意見接近した模樣であるが、補助艦比率七割要求と潜水艦全廢に就いては米國は頗る愼重な態度を採り容易に眞意を明示せず爲めに我全權は英米中諒解成立を期し難き時は渡英後三國豫備交渉にて充分主張、見解を徹底せしめ飽く迄要求貫徹を圖るべき方針であるが、華府に於ける交渉經過から推察するに米國は我七割要求に絶對反對するものでなく一萬噸級巡洋艦七割要求を緩和せしめ其の代り巡洋艦々種につき相當妥協を提議し來らんと觀測され、我が海軍、外務兩當局は連絡を保ちつゝあり、然る場合に處すべき周到なる用意を整へ居り、太平洋に於ける未來の海戰を想定し、防禦戰術上七割比率は斷じて放棄されぬが現在憂慮されて居る佛伊の兩國が會議を脱退する場合にも日英米三國は主力艦建造延期問題其他可能性ある問題の協定成立のため努力すべく決心を有してゐるから前記戰術上差支へなき範圍に於て何等かの提議ある時は我全權は請訓の上目的貫徹のために態度を決すべく英米の主張が我國防上絶對承認不可能の性質なる時は比率を後廻しとし他の可能性ある問題の討議を進め且つ之を纏むるの覺悟を有して居るものと見られる

問題の對照に關し日米の意見一致

商議に關し共同聲明

【ワシントン十九日發電】若槻全權一行到着以來アメリカ側と數次に亙り試みられた商議の內容につき本日若槻、スチムソン兩全權の名を以て日米共同ステートメントが發表された、本日國務省に於て行はれた日米兩國間の協議は海軍協定の基礎たるべき一般的概論に關するもので同時に來るべきロンドン海軍會議に於ける兩國の態度に就て意見を交換したのであつた、右協議に於ては先づ兩國が海軍會議に依り良好なる結果を得るため誠意ある良結果を持續し增進せんとする意見の一致が成立したのである、又日本は其の立場の一般輪郭を提示し合衆國も同樣に之が一般的輪郭を提示し合ひ、結局本會議の範圍に屬せしむべきものとし日米間今回の商議は之を本會議の交渉の參考たるべきものとして其の性質を保ち日米兩國の意見の一致を見たるに至つたことは疑を容れぬとされてゐる

第二次會見の顚末

アメリカ側の態度强硬

【ワシントン十九日發電】若槻、財部兩全權以下は午前十時二十分より十一時半まで國務省に於てスチムソン長官等アメリカ全權と第二回の會議を行ひ滯米中最後の努力を試みた、アメリカ側は軍縮を切實に主張する我態度には頗る滿足し同意を表してゐるが、具體的問題たる一萬噸巡洋艦七割保持及び潜水艦現有勢力維持の承認については、若槻全權より日本案は讓歩し得る限り讓歩し盡した全く赤裸々の防禦力である旨反復說明しロンドン會議開催前に日米の意見一致を得て置く必要ある所以を力說し諒解を求めたのに對し、アメリカ側はなほ日本が補助艦に於て主力艦に於ける六割を超える比率を要求する事は諒解し難きところであり、また潜水艦問題は後日の討議に俟つべきも今のところアメリカは潜水艦は商船を脅威する攻擊的武器であるとの見地を捨ることは出來ないと述べ、結局水掛論に終つて懸隔は遂に突破し得られず前途は些かも樂觀を許さぬこととなつた、若槻全權はアメリカの此の强硬なる態度を看取し前途の困難を豫想し更に一層努力の決心を固めてゐる

米紙は 日本は對米七割要求に讓歩の意ある事を暗示して居ると論じて居るが、右は全然無根にて若槻全權は依然七割要求を最後のものとして固執して居るものである

日米共同協定成る

倫敦會議の成功を期す

【ワシントン十九日發電】若槻全權スチムソン全權第二回會見は別電の如く我が主張の眼目たる補助艦總噸の七割、潜水艦現狀維持等具體的の問題については何等得る處なかつた模樣であるが、ロンドン會議の成功を期すべき共同目的については日米間に協定が出來るに至つた、右協定は根本的且つ原則的問題にして全權一行三日間の華府滯在中の收獲は以上の如く具體的結果を得るに至らなかつたが帝國の立場については遺憾なく諒解を得互に腹藏なき意見の交換を遂げ得た事は重大な成功である、米側も尠くとも我が態度には滿腔の敬意を示し居り全權一行の努力は此の點で酬いられた

若槻全權聲明

【フラデルヒヤ十九日發電】ワシントンを離れた若槻全權は車中國務長官スチムソン氏との會談の結果につき左の如きステートメントを發表した

一、今回日米兩國當局者が會談する機會を得て極めて打ち解けたる會合をなし互に率直に所信を披瀝した事はロンドン會議に資する上に頗る效果があつたと信ずる

二、ロンドン會議成立の必要を痛感し熱心に希望して居る點に兩國共に同じ考を懷いてゐる

三、日本全權は今次の會合で各國の安全感念を動搖せしめぬ事及び自他共に脅威を感ぜしむる樣な軍備を維持せぬ事、軍縮の實を擧げ度いとの希望を切實に披瀝し米國も全く同意を表した

四、日本全權は國家防衛の見地から日本の保有すべき補助艦につき防衛的最小勢力維持に關する意見を披瀝し日米兩國間に意見を交換した軍備縮限に關して日本全權は各國が相對的に出來得る限り其保有量を引き下げる必要ある事をも力說し米國は勿論首官に於て贊成した、潜水艦に關しては日本側は之を廢棄する案には同意を表し難く國情に基き防禦用の勢力として適當に之を保有する必要があると說き意見の交換を遂げた、補助艦問題の解決方法に就ては談合したが此等はロンドン本會議に持ち越す事となつた

若槻全權語る

國務長官との會見はこちらも腹藏なき意見を述べ又先方も我が率直な態度に對し夫れならばこちらでも總てに亙る意見を吐露されたので、アメリカ側の考へも遺憾なく聽取することが出來た、勿論始めから此の非公式會談で具體的結果を得やうとは期待してゐなかつた只ロンドンで突然初對面をするやうでは萬事に都合が惡からうと云ふのでアメリカを廻つたのであるが、此の點では

期待して ゐた丈けの收獲があつたと信ずる、日米間に意見一致を見たと云ふのは兩國共にロンドン會議を成功させやうと切望する共同目的の根本原則で一致したと云ふのであつて、會議で討議される問題に就て兩國間の一致點を見出したと云ふのではない、勿論文書などは交換しない、スチムソン氏と胸襟を開いて率直に充分會談した事は頗る愉快とする處であつた、余は此のワシントン訪問が無駄ではなかつたと信じてゐる

米國務長官談

【ワシントン十九日發電】アメリカ國務長官スチムソン氏は國務省に於て今朝更に若槻、財部兩全權等と會見の結果、ロンドン海軍會議に關する日米相互の目標については意見の一致を見た旨發表した右に關しスチムソン氏は左の如く語つた

余は若槻全權等との會見に於て日米兩國が一般的に同一の目的を抱き居ることを發見した、即ち海軍々備の競爭的增加を避けることにより恒久的親善を促進せんとすることである、若槻全權等とロンドン海軍會議に關する日米兩國の目標につき意見の一致を見たるも此の點に關し數字其他委細の事は協議しなかつた、之はロンドン會議を待つて決定すべきものである、日本全權一行との會談については予は大いに愉快を感じた

日米交渉の結果報告

山梨次官より

【東京二十日發電】山梨海軍次官は二十日午前十一時半濱口首相を官邸に訪ひワシントンに於ける日米軍縮豫備交渉の結果につき專門的根據に基き協議が行はれなかつたが交渉經過より見れば我が七割要求にアメリカ側は可なり頑强に反對してゐる模樣である、然し我全權が態々アメリカ經由のコースを採り大統領、國務長官と會見隔意なき意見を交換した事はアメリカ側に好感を與へ其結果は必然ロンドン會議に好影響を與ふるものと見られると報告する處あつた

我全權一行紐育へ

十九日午後華府を出發

【ワシントン十九日發電】本日は來米以來初めての好天氣である、若槻全權一行は會議の序幕たる日米意見交換と云ふ重大任務を終つて氣も心も晴々しく十九日午後四時二十五分アメリカ官民多數の見送りの裡にワシントンを出發しニューヨークに向つた

漢冶萍その他の不良貸付を整理

八幡製鐵所に肩替り

【東京特電二十日發】漢冶萍公司其他の貸付金の八幡製鐵所肩替り問題につき十九日午後三時から藏相官邸にて井上、俵兩相、小川次官、中井長官等參集最後の協議を行つた結果何れも井上藏相案に一致を見貸付總額四千二百五十萬圓全額及びこれが延滯利子八百萬圓全額を製鐵所特別會計に肩替りするに確定午後三時半散會大藏省預金部多年の懸案だつた不良貸付は整理を見るに至つた

貸付元金（漢冶萍公司）正金關係三千四百萬圓、興業銀行關係四百萬圓（裕繁公司）正金關係二百五十萬圓（南昌鐵業）正金關係二百萬圓合計四千二百五十萬圓、延滯利息八百萬圓

右につき井上藏相は語る

貸付の目的は我國製鐵事業の確立のためであつた、製鐵事業の今日ある所以は全くこの貸付に負ふものであるが故に現在收益者たる製鐵所に肩替りする事は當然である

解散は定石通り休會明け後斷行す

きのふ首相官邸の對議會策協議會で方針決定

【東京廿日發電】疑獄事件の進展に伴ふ政局の機微は頻りに議會の年內解散說を傳へらるゝに至つたが、疑獄事件は小橋前文相、降旗元政務次官の不起訴を以て略打ち切りとなる見込みがついたので、解散を明春にするも年內にするも政府の地位には差異を生ぜざるに至つたので、本日の首相官邸の對議會策協議會では議會の解散時機は定石通り明春休會明後に於て之れを行ひ、首相以下の政見發表演說を正々堂々と行ひ之れに對し質問をも若干許した上斷行する事に方針を決定した

政友議長候補

堀切、島田兩氏

【東京二十日發電】政友會の議長候補は目下堀切善兵衞、島田俊雄兩氏の競爭狀態にて結局犬養總裁に一任したる模樣であるが、目下の形勢では果して堀切、島田兩氏何れに決するか豫斷を許さぬ形勢に在る

民政黨院內總務

役員の顏觸れ內定す

【東京二十日發電】議會に於ける民政黨院內總務銓衡は二十日黨出身閣僚、富田幹事長等協議の結果濱口總裁に一任する事となり濱口總裁は安達內相富田幹事長と協議の上大體左の如く內定した

▲關東　賴母木桂吉、木檜三四郎
▲東北北海道　柵瀨軍之佐、小池仁郎
△北陸　添田敬一郎、或は櫻井兵五郎
△東海　小山松壽
△近畿　廣瀨德藏、或は田中萬逸
△中國　原夫次郎
△九州　一宮房次郎

而して總務の人選は頗る苦心を要する處で藤澤、小山、賴母木中村四氏中より物色したるも結局今回は之を置かず賴母木、小山、中村三氏を主として事實上小山氏が筆頭格となるに決し、議長候補は藤澤幾之輔氏を推すも政友會の候補者如何に依りては本田恒之氏を推すこと、富田幹事長は留任、議案委員長は森田茂氏或は武內作平氏、幹事部長は加藤鯛一氏、遊說部長は工藤鐵男氏に內定した

民政議長候補

藤澤氏を推薦

【東京二十日發電】二十日の閣議散會後出身閣僚及び藤澤、富田氏等の與黨代表の黨議會對策協議會にて民政黨の議長候補者は藤澤幾之輔氏を推薦するに決した

衆議院分野

【東京二十日發電】政友會は二十三日議會召集當日森田茂氏を失格せずして出席せしむることゝなつたが、此の場合衆議院として森田氏の身柄を如何に取扱ふか興味ある問題とされてゐる、尙本日の各派交渉會で消瀨氏の報告した各派議員現在數左の如し

政友會	二三九名
民政黨	一七一名
第一控室	三二名
無所屬	四名
缺員	一九名
無效	一名

政友政務調査役員幹部會合

【東京廿日發電】政友會は二十日午前十一時から芝三緣亭に政務調査會役員と幹部聯合會を開き犬養總裁以下床次、水野、元田、粕谷各顧問その他出席左の諸政策を特別委員長報告通り可決し一時半散會した

一、產業振興に關する國家施設
二、公私經濟の無駄排除
三、國際貸借改善及び金融政策
四、失業救濟對策
五、農村生活の安定

尙午後二時より引續き本部に於て納めの政務調査總會を開き異議なく承認可決…時散會した

議長選擧

廿三日行ふ

【東京廿日發電】本日の衆議院各派交渉會の結果、來る廿三日衆議院召集日には午前十時より開會し議長より川原議長逝去の報告後直ちに議長選擧をなす豫定である

各派交渉會

【東京二十日發電】衆議院各派交渉會は二十日午後二時から院內交渉室に開會

一、議員控室の件　大體從前通りとし政友會、新黨合同の結果喫茶室を政友會控室に增加すること
一、年末年始休會の件　全院委員長常任委員長選擧の翌日より明年一月二十日まで休會すること
一、勅語奉答文起草委員數は十八名とす
一、議長選擧は召集當日午前十時之を行ふ

等を決定した

豫算項要發表

二十三日に

【東京二十日發電】政府は二十日の閣議で昭和五年度豫算項要を二十日兩院議員全部に發送し二十三日發表する事に決定した

定例閣議

【東京廿日發電】廿日の定例閣議は午前十時三十分開會、劈頭井上藏相から昭和五年度各特別會計歲入歲出槪算に關して査定の經緯を詳細に報告する處あり、次いで近く貴衆兩院その他に配布すべき豫算項要の全文に關し井上藏相より草案を提示し意見交換の結果三日中に豫算項要を印刷配布するに決し、次いで幣原外相より支那公使に內定の小幡酉吉氏のアグレマンに對し支那政府が反對の意向を有せる結果、目下行惱みの狀態にあるも政府としては斯る支那の態度は國際信義の上にも面白からぬ事態であるから帝國政府としては支那の誠意ある態度に出づるまで暫く成行きを注視する事とし此儘にするつもりであると述べ、愈々來る廿三日を以て第五十七議會召集につき之が對策に關し種々懇談し午後一時散會した

滿洲の將來

太平洋調査會の反響

（6）……保々隆矣

ジョージ・ブロンソン・リー氏の正論

米國の代表委員は最大多數であつた。此等の人々が母國に於て銘々に口に論ずるのは今少しく後でなくては吾人に判らぬのである。今日迄の處では京都から電報したものを手輕に論じてゐるのみであるが、それを例外なく松岡氏の所論を是認して居る、兎に角此英米の影響は明年正月以後の有力雜誌に散見するであらうから其折改めて此稿は今少しく立派なものにしたい筆者の考へである兎に角今日迄筆者が讀んで非常に面白く感じたのは上海ファー・イースタン・レビュー十一月號のジョージ・ブロンソン・リー氏の二大論文である今その大要を紹介せうと思ふ。

リー氏の第一文は先づ本會議の非公開なるを非難し、これを國際問題の解決の實用に役立つ樣になすべきを述べたる後

米國の理想家連中によつて創設された國際機關が僅かに四ヶ年間に「滿洲は何國のものだ」と言ふことを論議し決定する程度迄發達し得るとすれば、向後數年にしてメキシコ市やパナマやリマ又はサンチャゴでパナマ運河は何の國のものであるかとか又はニカラガと我國（米國）との間の諸條約の效力如何？を決する樣になるのも考へられぬ話ではあるまい

太平洋調査會が滿洲問題を徹底的に調査するため米國の夫々の專門家を雇入れることが正當の事であると言ふなら、同一の筆法で此調査會が日本、英國、其他諸國の調査員から究局米國の爲めになるからとて其費用の支拂を要求されてもよい譯である又米國の議會が米國の事件を彼是と論議されることを好まぬなら他から種々研究されたり報告書を書かれたり、する回章をまはされたりすることを差止めぬ理由はなからう、如何に良く組織されて居る國際的機關であつても米國はパナマ運河やニカラガに關する自國の權利が合法か否かなどを公に論議するため會議が招集されるを好まぬのである。然らば日本が滿洲に關する諸種の難問題を白日の下に曝される樣な本會議に喜んで出席するのは如何と言ふにこれ實は日本人の傳統的謙遜心と並に滿洲に於ける自己の立場を正當なりと確信して居るからである

けれども若し日本がメキシコ問題について非常に興味を有ち日本の大學教授連や法制專門家をラテン、アメリカ諸國や南米諸國へ研究調査の爲め派遣し、北方の巨人（米國のこと）との相違を報告するとせば、吾人米人は到底此事に辛抱が出來まい、日本の京都に於ける態度を永久に續け、會議の有效なることを認めると考ふるのは極めて怪しい話である、京都會議は非常な過失の產物であるが、兎に角會議そのものは或見地からすれば成功であつた、自覺しては居ないが嘗ては同樣に、米國の重要なる諸政策に國際的差出口が容れられる樣になる端緒である。

筆者も極めて同感であつて滿洲問題が此上歐米人から彼是論議されるなら吾人も中米の問題を本會議で討論すべしと主張するものゝ一人である（つゞく）

依然、國際列車布哈圖で立往生

支那軍憲に阻止されて

【布哈圖廿日發電】勞農飛行機一臺廿日免渡河の上空に飛來し國際列車歡迎のビラを撒布したが海拉爾、滿洲里の三百名の外國人救濟の國際列車は支那軍憲に阻止され尙布哈圖に立往生、英米會社は海拉爾、滿洲里方面に約五百萬圓の投資をして居るが、ロシアは露支紛爭を機會に呼倫貝爾に勢力を扶植すべく全力を傾倒しつゝあり、露支紛爭解決の曉は日、英、米の對蒙古貿易は根柢より驅逐されロシアの獨占時代が到來するものと觀られ前途頗る憂慮されて居る

露支交渉の成行

支那側では樂觀す

【ハルビン特電二十日發】哈府の露支交渉停頓はロシアが紛爭の責任者たる張景惠、張國忱の罷免を强硬に要求したるによる、支那側が會議の纏るを待ち自發的に自決せしむと留保しその他の問題は圓滿進行し交渉は成立すると樂觀されてゐる

對露問題で各縣當局に通令

【奉天特電二十日發】翟主席は十九日各縣知事、各縣公安局長に對し對露問題は政府當局に於て萬全の策を以て善處するから省民は安んじて業に就くやう、又此機に乘じ共產黨員の擾亂計畫を爲すものあり嚴重警戒方通令した

東鐵支那側幹部の總辭職決意固し

新局長着任と同時に

【ハルビン特電二十日發】東鐵管理局の范其光氏以下はロシア側新任正副管理局長が赴任し來れば辭職すると非常な決意を示し依然支那側の態度强硬である

東鐵收入を軍費に流用

問題とならん

【ハルビン特電二十日發】露支紛爭の七月十日以後東支の收入中から護路軍經費として遼寧省政府は三百萬元の支出を求め呂榮寰氏は二百萬元を送付したが郭顯鐸督辦代理は今回百萬元を現送した右は交渉解決後露支折半に對し內部的の問題となるであらう

東鐵復舊期

年內に實現困難か

【ハルビン特電二十日發】露支基本豫備交渉が圓滿成立すれば五ヶ月に亙り閉鎖されてゐた東支の東西兩部線は當然開通し聯絡することになるであらうが、西部線はハイラル以西に蒙古、タタール混成軍が守備してゐるので正式會議が終了するまで其守備を解くまいと見られ從つて西部線の通絡は東部線よりは幾分遲れるであらうと、尙東部線の開通は現在のハバロフスク豫備會議の經過からすると本年度內にはどうかと杞憂されてゐる、又ハルビン浦鹽間の長距離電話の開通は未だ一般的には通じてをらぬ

檢査委員會と大連市當局

大連市當局は過日檢査委員會より請求された檢査立會人の指名を口頭で拒絕したが、二十日午後正式に文書を以て「市長不信任に基き選任せられたる委員の市事務其他に關する檢査請求は遺憾ながら應じ難い」旨通達した、之に對し委員會では二十一日午後二時より對策を協議打合せすることゝなつた

內蒙古青年黨が暴動を畫策

赤露に煽動されて

【奉天特電二十日發】露支紛糾を機として內蒙古青年黨約二千名は赤露の煽動を受け暴動を畫策しつゝあるため蒙古王は達爾漢王府に參集し之が對策を講じてゐることは既報の通りであるが、內蒙古に在つて暴動を畫策し其火の手を揚るやうになるとすれば、東北省としては重大事件で之がため豫て內蒙古の懷柔策を執つてゐるが、張學良氏は十九日目下奉天に滯在中の班禪活佛と會見し二時間に亙り對策を講究した結果內蒙古と提携して該暴動を阻止することゝなつた

昭和製鋼所設置に關し政府其他へ請願

大連附近設置の配慮を乞ふと

大連市會で成立した昭和製鋼所設置運動委員會は廿日午後二時から開會、種々協議を重ねた結果內閣各省大臣、內閣書記官長、內地各大新聞社長、製鐵所聯合會、滿洲會（在東京）、民政政友兩黨、樞密院、貴衆兩院議長あて大連市近接地に設置されたき旨

請願書 および請願電報を發することゝなり、電報は左記の如く二十日打電したが、請願書は二十一日發送の筈である

昭和製鋼所設置の位置如何は直に大連市の盛衰に絕大の關係を有し延いて將來滿蒙に於ける我國策遂行上に甚大の影響可有之に付、此點篤と御留意の上單に採算のみに偏せず國家的見地より此際是非該製鋼所を大連市近接地に設置せらるゝ樣深甚なる御賢慮を相煩度大連市會の決議により此段懇願す

大連市長　石本鏆太郎

仙石滿鐵總裁

いよ〱けふ上京す

仙石滿鐵總裁は滿鐵來年度豫算を初め昭和製鋼所各傍系會社その他の重要案件も一段落を告げ、滿鐵職制の內容についても相當深く研究を積んだので愈々二十一日午前十時出帆のばいかる丸で上京の途につくことゝなつたが、東京に於ける要務も多々あるので歸任期は二、三月頃にならうと見られてゐる、尙總裁隨行者としては鍋島秘書一人だと

水產會評議員會

關東州內水產業者金融機關は滿洲水產會社の解散に依り目下の處何等の機關もないので歲末に差迫り水產業者等は大恐慌を來してゐる、一方關東廳では豫て右金融問題に就いては最善の方法を講ずべく研究中であつたが、今般當業數人を連帶保證として之に貸付を行ふ輸入組合金融式の機關を設置するとに內定したので、廿二日午前十時から右に關する評議員會を開催決定することゝなつた

ハルビン丸船客

二十二日大連入港のハルビン丸主なる乘客は西宮房次郎（貿易商）瀨良正一（滿鐵中央試驗所長）

關東廳辭令（二十日）

依願免本官　關東廳屬　長島隆吉

辭令

【東京二十日發電】陸軍法務官　鈴木直太郎　兼任陸軍法務局長（二等）

「不平等の社會的地位に置かれいつも姑娘の相手役として禁斷のうちに閉ぢ込められてゐるのは嫌だ」と、哈爾濱國民黨部の應援に支那婦人連が平等の社會待遇を要求するため雄々しくも街頭に飛び出した▲其發會式が去る十六日縣立十三小學校で舉行された▲壇上何季秀女史が議長に推擧され不平等條件の撤廢を金切り聲を張り上げて絕叫した▲之で久しく傳統の暗黑世界に押こめられてゐた北滿の地にも男女同權論が芽生えて來た譯

大連廳報を添ふ

特產

定期後場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	六六六〇	六六八〇	六六六〇	六六八〇
一月末	六六三〇	六六五〇	六六三〇	六六五〇
二月末	六七一〇	六七一〇	六七〇〇	六七〇〇
三月末	六七三〇	六七五〇	六七三〇	六七四〇
四月末	六七九〇	六八一〇	六七九〇	六八一〇

出來高　百六十九車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（弱保合）

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一三〇五	一三〇五	一三〇〇	一三〇〇
二月限	一三一五	一三一五	一三一五	一三一五
四月限	一三四〇	一三四〇	一三四〇	一三四〇

出來高　四萬枚

▲豆油（弱保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一八一〇	一八一〇	一八〇五	一八〇五

出來高　一千箱

▲高粱（强含）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	四四三〇	四四五〇	四四〇〇	四四五〇
一月末	四三八〇	四四一〇	四三八〇	四四一〇
二月末	四三九〇	四四一〇	四三九〇	四四一〇
三月末	四四〇〇	四四一〇	四四〇〇	四四一〇
四月末	四四三〇	四四四〇	四四三〇	四四三〇

出來高　百十六車

▲包米　出來不申

現物後場（銀建）

	寄付	大引	出來高
馬保（袋物）	六五六〇	六六〇〇	
大豆（裸物）	—	—	三十車
普通大豆			出來不申
豆粕	二一九〇	二一九〇	六千枚
豆油	一八一〇	一八一〇	六百箱
高粱	四四七〇	四四七〇	二車
包米			出來不申

錢鈔

定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（近期）二百卅四萬五千圓（遠期）百七十七萬五千圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金）六百四十四千圓（銀對洋）一萬四千圓

商品

後場

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋（低落）	延二月末	二九九	一〇

出來高　一萬枚

綿糸布、麥粉（出來不申）

神戶特產（二十日）

大豆現物	不	不
先物	一八	一八
豆粕現物	四〇	四〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	七〇九〇	七〇九〇
大新	五八三〇	五八三〇
鐘紡	二三四四〇	二三四五〇
鐘新	一〇〇六〇	一〇〇六〇
日糖	不	不
郵船	五七二〇	不
東新	一一〇三〇	一一〇三〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一二二九〇	一二三二〇
東新	一〇〇一〇	一〇三二〇
五品	一〇八〇	不

東京株式（短期）

	後場寄	後場引
中當	不	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
豆信	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]

東京期米

限月	後場寄	後場引
一月	二七九七	二七九六
二月	二八一一	二八一七

	五品	東新
寄値	不申	一〇九六〇
引値	不申	一〇八〇〇
高値	不申	一〇九三〇
安値	不申	一〇九六〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十二月	一九一〇〇	一九〇九〇
一月	一九一三〇	一九一二〇
二月	一九二六〇	一九二二〇
三月	一九二〇〇	一九三九〇
四月	一九四六〇	一九四五〇
五月	一九五一〇	一九五〇〇
六月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

市長と市會の爭ひの骨子
所謂有給市長案

市長と市會との啀み合ひの連鎖劇、それは大連市といふ大きな映畫幕に映つた悲喜劇で、これを見せ付けられてゐる市民こそいゝ面の皮である。理窟はどつちにもあらうが、不適任と知りながら現市長を推選した市會も不眞面目であれば、それを認めながら、之れに善處すべくその措置を誤まつた市長も市長である。監督官廳たる關東廳がこの取組みにどんな裁きをなすかは、大連市民の目を刮つて注視してゐる所であらうが、この見苦しい啀み合ひに對しては、餘ほど愼重な態度を以て臨まねばなるまい。それは兎に角、大連市紛擾の骨子となつた有給市長案については、一通りこれを檢討しておく必要があらうと思ふ。」

◇

有給市長案が何ゆえ爭ひの骨子になつたかと云へば、それは大連市會が市長の第一候補として推選した貝瀨謹吾氏の公民權資格について問題を生じ、關東廳がその資格なしとして市長の再選を餘儀なくせしめた時、已にその端を發したものと考へられる。關東州市制に據れば、市長は名譽職となつて居り、名譽職たる以上、二年以來市民たるもので市の直接市税を納めたもので莫ければならず、第一市長に選ばれた貝瀨氏はその資格を缺くといふ事になつて、市長再選の結果、第二候補者たる石本鏆太郎氏が市長に選ばれたのであるが、その折、市會の内にも、市民の内にも、名譽職たる公民權の資格に對する解釋がさやうに狹義では困るとあつて、有給市長の必要が唱へられたのである。

◇

名譽市長がいゝ乎、有給市長がいゝ乎、人各々見るところがあらうと思はれるが、右のやうな經緯で、大連市會に有給市長の問題が發生したのである。有給市長とすれば、大連市において公民權の資格なき者でも市長に推選することが出來、適任者を廣く物色することも出來るわけで、内地の東京その他には、元と滿洲に在りて滿洲の事情に通じた人々が相當にゐるから、それらの内より市長を推選することも出來る、財政の貧弱なる大連市が有給市長でもあるまいといふ說もあるが、有給市長にしても、現在の名譽市長に報ゆるところと大差あるわけではなく、市財政のうへに困難を來たすやうな事はない筈だ。大體斯やうな經緯によつて有給市長案が市會の問題となつたのであつて、それは決して不自然なことで無いのみか、大連市の自治市政の實績を擧げる上からいつても、大連市以外よりも廣く市長の適任者を物色し得る方が好いやうに思はれる。

◇

この有給市長案なるものが、市長と市會との間に公約か將た私約かについては、茲にその論評を避けるが、この問題が骨子となつて、市長と市會との暗闘劇が繰返され、市民の眉を顰めしむる事になつたのは、何としても遺憾な次第である。この點に關しては、名譽市長の資格に形式的理論に偏した解釋を下した關東廳にも責任がある。大連市を現在の如く紛擾の巷としたのは、それが出發點であるから、市長と市會との啀み合ひが絶頂に上つた今日、これを既往に鑑み、監督官廳たる關東廳はこの裁きを愼重にせねばならぬ、といふ輿論もある。市民の聲がどの邊にある乎、健全なる市民の輿論はどんなものである乎、市長や市會の意見を虚心に聽くと同時に、關東廳は大連市民の全體に亘つてその市民の意の動きを能く注意し、いよいよ監督官廳としての發動權を要する場合は、重ねて大連市に現在のやうな見苦しい爭ひの發生しないやう、周到なる用意を拂つて、その善後策を講じてもらひ度いものである。

◇

市制第十六條によりて市長はこれを有給とすることが出來るのであるが、市會はその發案權を有せざるため、公約か、私約か、いづれにしても之を市長に求めたのであらう。然るにそれが問題となつて遂に今日のやうな醜惡な場面が展開されたのである。斯うして市長と市會の啀み合ひが絶頂に達した以上、非常の手段でこの縺れを解くことは不可能であり、甚だ不名譽な事ではあるが、關東廳によつて手際好く裁いてもらふの外あるまい。現在のまゝでは、市長は市の執行事務を圓滑に運ぶことが出來ず、市の事務は澁滯し、折角勅令によつて成立した市制に傷をつけ、不名譽の上に不名譽を重ぬるになるであらう。」

米大統領夫人へ日本人形

フーバー大統領の就任當時お祝ひとして日本少年赤十字團からコロムビア州少年赤十字團を通じて大統領夫人へ送つた可愛らしい日本人形の贈呈式は過般白堊館内に於いて行はれた、寫眞は向つて右よりコロムビア州少年赤十字團員アルバート、トムソン氏、秘書マーガレット孃、捧呈者コロムビア大學生土屋孃

蓮江口の現狀
日支關係は極めて圓滿
笹本氏歸哈して語る

【ハルビン發】松花江下流―觀立埠頭蓮江口から三日間を要し自動車で漸く十八日午前八時歸哈して笹本氏は、同方面の狀況に就き語る

振昌製粉工場の機械据付のため三ヶ月前工場主と契約し蓮江口に向つたが、ラハスス、富錦方面に

赤衞軍が 襲來した時、蓮江口の支那人等は一樣に脅威を受け三姓方面に避難するもの多く、振昌洋行の支那人も身邊の危險を感じ自分を捨て置いて三姓に逃げたと云ふ工合で非常な恐慌を來し人心に動搖を與へた自分は日本人であるから別に露軍が攻撃して來ても恐れることはないので工場の機械据付を繼續し萬一の場合には日丸の旗を立てゝ最後の防禦とする覺悟であることを支那人らに說明してやつたが、日章旗を期待することは自國の軍隊よりも力強く感じてゐた、それ程支那軍隊に對する露軍の襲來に信頼をしてをらぬとが窺はれた、蓮江口には

約四千の 支那人が居住してゐるが、日本人は一名も居らない、機械は無事据付を終つたので自動車で三姓から方正縣に出で山間僻陬の地を迂廻して東支東部線烏吉密に出で漸く歸哈したのである、三姓には東北軍約一萬が到著し一時は日本人料理店は彼等のために荒され全部日本醫院に避難したが司令部から嚴重な命令が出て一日で止んだ、今は平常の通りに開業してゐる、本月十五日には支那側司令部から在住日本人の主なるものを招待し一夕の懇親宴を催した程で、日支關係は非常に圓滿で支那軍隊も秩序を保ち精兵だけに守備も嚴重であつた、この分からみると假令露支和平交渉が

圓滿成立 しても果して同地の軍隊を撤退するかどうか疑問である、なほ松黑沿岸は年々開拓され製粉工場も今後各所に創立されるであらう、蓮江口の如きは附近一帶小麥の產額多く製粉業は將來有望である

同地、富錦の露軍襲擊は支那側に對して十二分の威力を示したことは[illegible]であつた

拘禁露人の釋放
支那側では準備を終る

【ハルビン發】露支原狀恢復の曉は當然双務的に拘禁者の釋放を行ふ筈で、支那側は張行政長官の命により傅家甸監獄に收容中であつた八十九名のソウエート國籍人を全部松浦鎭に十六日一括して收容したが、褚康廳長は至急拘禁露人の

犯跡を調査 せしめ哈府に於ける蔡運升、メリニコフ交渉の解決を俟つて直に釋放のできるやう準備を了へた、尚五月ソウエート總領事館檢擧の際逮捕した共產黨員三十六名の問題については ロシヤ側は政治犯人と稱するもので無いと強硬に主張し松浦鎭の拘禁者と同樣に無條件釋放を要求してゐるが、支那側は赤化宣傳の運動を工作せる秘密會議に參加したものなれば支那司法權に服すべき性質のもので既に公判に附したものは釋放することは支那政府の司法權の威信に關する問題なれば認容し難いと反駁してゐると云はれ結局何等かの

交換條件に より國境外に追放され解決するのではないかと見られてゐる、又松浦鎭の拘禁者を釋放した後七月十日前の東支原狀恢復の原則により彼等を再び東支從業員として復任せしめることに支那側が同意するかどうかも問題視されてゐる、支那側としては明瞭で政治犯人であるものは國境外に押送することを希望してゐる

何成濬氏代理

【奉天發】何成濬氏代理熊士九氏はこの程來奉し城内の中央ホテルに投宿してゐるが、その間北陵の別邸に

呼倫貝爾獨立を勞農援助か
西部線占領の眞目的

【ハルビン二十日發電】最近某所に達したる情報によれば、勞農側の這回の積極行動はその目的が露支抗爭の解決促進たるは勿論なるも勞農側は之により更に多年の計畫たる呼倫貝爾及び内蒙古一部の獨立を援助し外蒙古同樣之を勞農の手中におさめんとしたものであつて現在勞農軍と内蒙古革命黨とは完全に連絡し何時たりともハイラル一帶を革命黨に占領せしむべく手筈が整つてゐることを支那側は前線よりの情報により之を知悉し居り目下極秘裡にその對策につき協議中にして國際列車の運行を停止したのも擾亂其他支那軍の暴狀を隱蔽せんとするばかりで無く蒙古の獨立運動が列國側に知れ表されることを恐れてゐるであるといはれてゐる

日本へ經濟視察

【奉天發】城内總工商會では各商業者卅餘名を選拔し舊正の閑を利用して日本における經濟視察に赴かしめる筈である

元氣づいた東支從業員

【ハルビン發】紛爭のため一齊總罷業したソウエート側の東支從業員及管理局、理事會其他の職員は松浦鎭に拘禁され又は本國に歸還したものを除き大部分は―下級社員―哈爾濱に踏み止まり馬家溝附近に住んでゐるが、近く新任正副管理局長が着任すれば當然復活するので最近彼等は元氣づいて來た、其等一時失職したものでハルビンに殘留してゐるものは約三、四百名に達するであらうと云はれてゐる、待てば海路の日和で彼等は首を伸ばして正副管理局長の着任を待つてゐる

張學良氏を訪問し時局問題に關する東北省の防禦その他外交等につき打合せをなしてゐる、猶一兩日の中歸哈する筈であると

投書歡迎

中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以內のこと

三越店員に告ぐ
H M 生

三越從業員に一言苦言を贈ります、今回大連署に擧げられた大萬引の一團は確實に貴方等從業員を盲目に等しいと嘲罵しました、大世帶の三越ですから年に二萬や三萬位の不明品豫算はしてある事でしやう、しかし日頃私等が買物に行きまして觀ましても從業員の一私語や持場〳〵に一人も居ない事、傳票とか品物を包藁に持つて行つた留守等十二分に注意して持場の品物は從業員の品物と思つて細心し眞劍に勉強して御覽なさい、たしかに賣藥の效能書以上によく治りますから、今回の萬引の一味にて市中の質屋では御宅の萬引以上に可哀相な店があるとの事、君等從業員の不注意、業務怠惰が引いては罪人を增す事にもなり、細かく云ふと刑事さん達に此の寒空を走り廻らす事にもなる、三越が配人に御一考を乞ふ次第です

市議總辭職大贊成
栗 金 生

十七日の茂里端氏の所說「市會議員總辭職」勸說には双手を擧げて贊成する、現在の市議諸君にして多少の良心の持主であるとしたら自ら進んで市長に殉ずべきである。不良無能の市長を選出した當面の責任者は市議諸君ではないかその市長の運命現在の如しとして之が選出責任者たる市議諸君が猶ほ恬然として職に止るに到つてはその公人としての責任感を疑ふ以上に市議諸君の個人としての道德感の有無をすら危惧せざるを得ない。我等は善良なる市民の一人として市議總辭職を絕叫する之れなくして市政の革新を說くは百年河淸を俟つものである

南征雜錄 (6.4)
難波勝治

植民地建設（下）

併し斯して建設された豐田村の前途も、決して平坦な者ではなかつた、鬼茅の一面に叢生した土地を開墾して、僅に植付けた甘蔗、陸稻、甘藷、粟は、鳥獸害の爲に幾んど收穫なく、鐵網を張り渡して防禦に力めた場所だけが被害を免れた位である、殊に大正三年七八兩月の暴風雨や、八、九兩月の洪水の爲に

倒潰家屋 百四十戸に及んだが、總督府が九萬餘圓を投じて築造した水源石堤は、大正六年七八月二回の暴風雨の爲に、三百三十六間中の二百四十六間を決潰され、耕地三十三甲步を流失したなど、累次の災害と負債の增加とに人心恟々として停止する所を知らなかつた、併し工費五萬七千圓の復舊工事成り、更に熟田畑を開墾して水利を便ずるに及んで、漸く一般に安定士氣の擡頭を困むるに至り、大正八年より十三年までの數年間に、豐田神社の基本財產設定、煙草耕作組合の創設、農事組合及

信用組合 の組織など完成されたが、用水涸渴して水田の灌漑に適せぬ結果、未だ食糧を自給し得る程の產米なき狀態にある、唯同地は鹽水港製糖會社壽分工場に近接し、甘蔗の耕作販賣に便宜あるが爲めに、近年專つてこの方面に努力を傾注し、品種の改良、農耕の進步と共に曾て甲當り三四萬斤に過ぎなかつた收穫率は、今や十二萬斤を超過する好成績を示して居る、試みに昭和二年度末に於ける諸統計を見れば、戸數百七十九、人口九百六十二、其諸作物收穫狀況

左の通り である（面積は甲步、價額は圓）

種別	作付面積	價額
水稻	三二七	五二、九二〇
甘蔗	三〇四	七六、一五七
煙草	一六	一四、二六七
甘藷	二八	四、六二〇
蔬菜	三三	一三、六〇五
豆類	[illegible]	一、四〇〇
果樹	[illegible]	七、七二五
其他	[illegible]	八九二
計	[illegible]	一七一、五八六

此外勞役、職業、雜收入として八萬七千八百二十圓あり、合計二十五萬九千四百六圓のうち、支出合計二十四萬三千六百九圓を控除すれば差引一萬五千七百九十七圓の純益だが、之を

一戸當り に分割すると

收入	一、四四九、一九
支出	一、三六〇、九四
純益	八八、二五

であつて、吉野村の現狀に比して耕地面積三分、純益百五十七圓六十五錢少ない勘定だ、林田村の創設は大正三年二月、恰も花蓮港廳米崙間の鐵道開通と相前後し、元鹽水港製糖會社の豫約拂下地を返還せしめて充當したのであるが、之が設備に就いては略ぼ豐田村と同樣の計畫が實行された、所が着手以後の事故も亦相酷似し、野獸の防禦、三年七月より數回に亘る風水害、四五兩年度の

大旱魃等 苦い經驗を繰返したが、最も悲慘な歷史は大正四年度の赤痢病發生と、マラリヤ、消化器病及び恙蟲病の流行とであつた、前者は男六十三人、女五十四人の罹病中死亡者十三名あり、後者は人口約六百三十人のうち、日々患者三四十名乃至百名、之が爲に死亡する者五十四名に達し、恐懼と恐怖とに襲はれた移民中除籍申請者、無斷歸省者を續出せしめたが、その後開墾の進捗、衞生設備の改善によつて、漸次發展向上の曙光を認めつゝある、試みに昭和二年度の

經濟狀態 を瞥見すれば

農產收入	一七四、七五九
勞役收入	一七、二〇〇
職業收入	三、四〇〇
雜收入	一三、八〇〇
計	二〇九、一五九

之より支出十九萬六千六百四十圓を差引き、純益一萬二千五百十九圓、一戸當り平均七十五圓四十一錢を收得して居る【寫眞は豐田村に於ける煙草整理】

二百五十餘名の醫學博士御推奬

補血滋養强壯劑

ポリタミン

ボリタミンは單なる鐵劑又は蛋白製劑でなく近代醫化學に基くアミノ酸製劑でその効果の傑出せるは左の報文にみて明かであります。

××××

ボリタミンの最も優秀な特徴として認めらるゝものは動物性蛋白質の消化分解產物であつて且つ生体に必要缺くべからざる各種のアミノ酸を豐富に含有して居る点である。加之、神經强壯補血劑グリセロ燐酸鐵を配したるは極めて親切であると謂はねばならぬ一般に消化機能の減退せる者に於ては蛋白質は充分消化吸收されずその利用率は極めて少ない。斯る場合に少量のボリタミンは良く蛋白榮養の効果を奏する。

……日本醫科大學教授 大倉醫學博士述

ボリタミンは貧血並に消化力の衰へたる諸病者に用ひて著効あるべきを信ず。

……小田醫學博士（大阪）

諸種の衰弱性疾患及び慢性病の恢復期患者に處方せるに効果見るべきものあり。

……大野醫學博士（大阪）

榮養不良、体質薄弱、病後の恢復期等に試みその經過の可良なるを認めて居る。

……鶴巻醫學博士（福井）

肋膜炎、肺結核で色々の程度の榮養障害を起して居る者に投與したのに、何れも比較的速かに榮養を增進せしめ得た。

……須藤醫學博士（京都）

腺病質、病後恢復期其他一般虛弱兒に對し、ボリタミンを用ひしむることによりて、療養の目的を達せしめ得たること少からず。

……田川醫學博士（堺）

產後の貧血特に分娩後永らく貧血し身神薄弱な方に用ひてよい成績をあげて居る。

……北井醫學博士（東京）

私は胃腸病患者の榮養補給の目的に極めて合理的製劑としてボリタミンを愛用して居る。患者から滋養劑を望まれると之を推奬して居る。

……小川醫學博士（津）

貧血　衰弱　榮養不良　肺結核　虛弱兒童　產後貧血　胃腸病者

全國知名の藥店にあり。

醫家實驗報告書　御申越次第進呈

發賣元　大阪市道修町　株式會社 武田長兵衛商店

製造元　大阪市城上町　大五製藥株式會社

家には國旗と國產品

優良國產推奬 レート化粧料デー

全國販賣店協力參加

良い品質を皆様に御販次する全國レートデー

レートデーの幟旗やポスターの掲げてある最寄の販賣店で御買上げ下さい親切第一に奉仕致します

優良國產品に對する、需要家の御援助は國內產業を振興せしめ良品廉給を促進し、各家庭經濟の上に繁榮を齎すのであります

弊舖は化粧品業者として常に、美容と健康との爲め、日本の自然と邦人の體質並に生活に立脚して外來品の眞似能はざる研究の達成と、その効果に於て舶來品に優る實用本位の化粧品を最廉の價格を以て供給することに、全力を擧げて居ります。どうぞ弊舖製品に御信頼と御引立を願ひ上げます。

優良國產賞受領　產業功勞賞受領

品名	説明	價格
レートクレーム	若返り美肌料	一四〇・七〇・四五・三〇
レートメリト	一分間化粧料	六〇・三五
レートフード	一瓶一家の美容料	五〇・三〇
レート固煉白粉	專賣特許純無鉛	六〇・四〇
レート煉白粉	同	三五・三〇
レート水白粉	お徳用な水白粉	三五
レート粉白粉	一番徳用な粉白粉	三五・二五
レート紙白粉	お化粧直しに	二五
レート棒白粉	舶來コンパクト以上	一、〇〇
レート五色白粉	桃、黄、空、藤、白	(粉)五〇 (水)六〇
レートドリン	新式の白粉下	一五・二五
レートほゝ紅	豐麗な健康色	三〇
レートロ・ベニ	洋式のベニ	三〇
レートマユズミ	地毛の黒さ	三〇
レートポマード	良質煉香油	六〇・四五・三〇
同五十番ポマード	純植物質煉香油	五〇
同美髪クリーム	純植物質ポマード	六〇
レートローション	フケ取り香水	一、四〇
レート清涼香油	フケ取と養毛	一、〇〇
レートソプラ	肌を養ふ美の水	三〇
レート乳白化粧水	脂肪性と男子向	五〇
レート美容水	白粉のトキ水	四〇
レートアプラトリ	爽快の感を殘す	一〇
レート香水	百花の精	五〇
レート石鹸	廉價な高級石鹸	二〇
レート歯磨	効力五倍の歯磨	一〇

東京 平尾贊平商店 大阪

乳兒・幼兒・專門

幡井醫院

大連市信濃町電車停留中程
電話四八五九番

內科 小兒科 (應需入院)

桐原医院

大連市吉野町三越裏
電話四二九一

耳鼻咽喉科

澤田醫院

大連市西廣場三河町角
電話五四一〇

大連市信濃町岩代町角

三根眼科醫院

電話六四一〇番

●今が一番 頭痛のする時……ノーシン さゑありや大丈夫●

三本入り御贈答用化粧函 各販賣店にあり！

コドモページ

童話 なみだ(下)

瀬野皓太

その紙の中には、今朝方の美しい珠は一つだつても入つてはゐなかつたのです。そしてほんの少しばかり紙は濡れてゐたのでした。溶けたのだなと思ひました。溶けたにしては餘りに少ないぬれ様です。けれども、見えなくなつてゐるからには、とけて了つたのでありませう。

私はそれから、いろ〳〵と考へたのです。一體あれは何であつたのだらうと。」

私は實に、その時思ひ出したのですが、一つだけ思ひ當る事があるのです。

それは昨夜の事ですが、私は少し夜がおそくなつて、淋しい池のふちを通つて家に戻つて來たのです。その時、丁度、あのベンチに腰を下してうつむいてゐる少なお孃さんがあるじやありませんか。こんなにおそい頃、何をしてるんだらうと思つて近づいて見たのです。

「何をしてるんです?」

そのお孃さんは一寸私を見上げましたが、すぐに又もとの樣にうつむいて了ふのです。ほんとうに美しいお孃さんでしたが、少しばかり涙に頬をぬらしてゐるのが月明りにも見えました。

「何を泣いてるんです?」」

やつぱりお孃さんは答へません

「ね、こんな所におそくまで居らず早くお歸りなさいね」

私が斯う言ひますと、お孃さんは、素直にうなづいて立ち上りました。

お孃さんとは道が違ふので、そのまゝ別れましたが、私は昨夜は何故あの綺麗なお孃さんが、一人で、あのベンチの所で泣いてゐたのか心配でなりませんでした。

ところが、今朝は同じベンチであの美しい十粒ばかりの珠を拾つたのです。

ひよつとしたら。そんなことを言つても皆さんはほんとうにはならないかもしれませんが、ひよつとしたら、あの美しい珠はあのお孃さんのものかも知れません。

若しさうだとすれば、一體あれは何の珠だつたかを思ふのです。皆さん。これは私のほんの、考へだけですが、あれはあのお孃さんの涙ではありますまいか。

でなければ、人の手で作られた何物でも、あんなに美しくはないと思ふのです。

乾度、あれは涙だつたんですよだから私が大切に藏つておいたのに溶けて了つたのですよ。

あのお孃さんは、ちつともそんな事を知らないで、汚い地面の上に、それを捨て行つたんですほんの暫くの間だけでも、涙はあんなに美しい、比べるものもない位ゐ立派な珠の姿で轉つてゐたのですね、皆さんだつて乾度、さう思ふでせう。だから、もう決して無暗に、涙をこぼすもんじやありませんよ。

なんて、今日は冷る晩でせう。もつとストーブに近づきなさい。

鳥のやうに空をとぶ 飛行機の模型

このおぢいさんは勇名なドイツの飛行機設計者ガスタブ氏です。ガスタブ氏は本年六十回目の誕生日を迎へました。手に持つてゐるのは鳥のやうに空を飛ぶ飛行機の模型です。

ニドメノ 大チヤンノタンケン (165)

ハルミチ作 ジラウ畫

クワイブツ ハ イマニモ ツカミカカリソウナ イキホヒデ 大チヤンノ ハウニ ジリジリ ト セマツテキマス。ブル ハ ワン ワン ト ハゲシク ホエタテマシタ。

ウシロノ イワカゲニ カクレテヰル ダラスヤ オヒメサマ ハ ドウナルコトカト イキヲ コロシテヰマス。大チヤント クワイブツノ アヒダハ ダン ダン チカクナリマス。」

ソノトキ 大チヤンハ「イマダ」ト バカリニ バクダンヲ ナゲツケマシタ。シカシ ドウシタ ワケカ バクダンハ ハレツシナイデ ウミノナカニ コロゲオチテシマヒマシタ。

上り目下り目

中溝新一 (二)

◇

まいばんお話をして居るうちに、お話のたねがなくなつて困つてしまふことがあります。わたくしは、勝手に、とてもおもしろいお話をこしらへながら、してやります。でたらめのお話を一つ二つやつてみませう。

◇

赤ン坊(滿一年)に。

パパ ニ オイデ ウマウマ チヤイシテ、ワンワ、ワンワン ニヤーニヤ ニヤーオ、オンモ サムイ、オツパイママチヤイ シテネ、チコンキチヤンチヤン アンヨシテネ、ハイチヤイ キナイナイバア

◇

その上の男の子(三歳)「ムカシムカシネ、オヂイチヤントオバアチヤンガアツタトサ、オヂイチヤンハ、ヤマニ キヲ コツツン コツツン オバアチヤン カハ ニ ヂヤブヂヤブ オセンタクシテルトネ、カハノ ズーツト ムカウカラ ドンブリコドンブリコト ネ チイサナ クリ

ここまで話してくると、男の子はあはてて「チワウチワウ」といふ「チワウカネ、ナンダツケ」ときくと、得意さうに「オホキナ モモヨ」

ソウソウ、オホキナモモガナガレテキタカラ、ヨイシヨヨイシヨト オバアサンハオテテニモツテ オウチニカヘツタ、オウチデ オヂイチヤントフタリデ ホウテウ デチヤイシタラ、ナカカラ オホキナ ブタチヤンガブウブウナキナガラ、トビダシタ。

また「チワウチワウ カワイイアカチヤンガアワアワ」といふ

モモノナカカラ ウマレタカラ モモタロチヤン ト ナマエツケタ モモタロチヤンモ オホキクナツタカラ 日本一ノ キヤラメルヲ——

「パパ オダンゴヨ」といふ

ソウダツケネ、オダンゴヲ モラツテ オニガシマニ ヨイヨイスルト ムカウカラ「ウマウマチヨウダイチヨウダイト ナニガキタツケ

「ワンワ」

ソレカラ

「オサルサン」

ソレカラ

「キヂサン」

こゝからわたくしは桃太郎のうたをうたつてやりますと、ひきこまれて外の子もうたひ始めます。

「犬猿雉の三疋で、お供のほうびになにあげやう、日本一のきびだんご」

兒童の作品

年の暮

松林小學校四年 桂 武

月日の立つのは早いもので、もう十二月の中ばを過ぎました。どこの店でも、大てい景品附大賣出し聯合大賣出しなどと書いた看板が出してあります。又浪速町には歳の市歳暮大賣出しなどと書いた看板が並木のやうにずらりとならんでゐて、夜などは前より一そうにぎやかになりました。

又連鎖商店がついこの間から店を開きました。マネキンガールなどをやつて一そう年の暮をにぎやかにしてゐます。

そうなるとほんとうに年の暮のやうな氣がします。

ほんとうに年の暮の町は大へんにぎやかです。

もうすぐ僕たち一番たのしいお正月がやつて來ます。

新刊兒童讀物批評

…大連讀物研究會發表…

旭はのぼる

安倍季雄著

今春滿鐵社會課の招聘で在滿の子供達に面白いお話を聞かせて行つたおとぎ話のおぢさん安倍季雄氏の童話集である。同氏は童話界のリアリストで話すのも書くのも常に好んで現實的な材料を選んでゐるが本篇も多分にさうした色彩を持つた材料が載せられてゐる。行文には同氏の話をきいて感ずると同じやうな冗漫さはあるが子供の讀み物としては上の部である。旭はのぼる、もぐらもちの先生、大空高く、松葉杖の飛行兵、飛出したライオン、喧嘩をしない小狐の話、幽靈退治、フランスだましひ、いなりや騷動などの話が載せられてゐる、程度四、五年以上菊版二百十七頁、定價一圓三十錢、寶文館發行

歐米 ところどころ……(十) 古都ローマをさまよひて

阿左見嗣馬

アペニン山脈の木の葉を潜つて流れ出たテヴェレ川、狼に育てられつゝこゝに辿り着いた二人の孤兒が造り出したローマの都。こうした傳説は遙かに見ゆる聖ペトロ寺や・近くの水面に影をうつせる寺廟など古き物語をのせて永遠に流れてゐる。さあれ橋上に立ちて行き交ふ人々の姿を見出す時、それは又何と凄じい現實のうごめきであらう。

名古屋から貨物船利用 拳銃、彈丸を密輸す
大連水上署からの手配により 遼陽で片割二名捕ふ

大連水上署においては原籍三重縣桑名郡貫金圖商佐藤志郎（三）が當時遼陽居住の京都生れ金貸業和田治哉（三）等と連絡をとり拳銃密輸數回にわたつて行つてゐたことを探知し、佐藤、和田を遼陽署に手配のうへ逮捕した、彼等の自白するところによると名古屋市中區堀熊太郎、栗原新三郎等と諜し合はせ、昭和三年三月より四年十二月末まで

犯行を

續けたもので、昭和三年三月十日名古屋出帆相模丸にてローヤル拳銃三十挺、實包一千發を密輸、大連經田牛莊に送つたのを手初めに玄武丸淡路丸等の名古屋よりの貨物船を利用し前後七回に亙つて二百十六挺、二萬一千六百發を鞍山、本溪湖遼陽等に送つてゐたものである、因に佐藤和田の兩名は遼陽署の手により法院送りとなると

小笠原丸が活動開始
海底線を修理

佐世保、青島間海底電信線は今朝七時障碍のため不通となつたので當地遞信局では大連、芝罘間海底線を青島に延長し内地、青島間發着電報を大連局で臨時中繼することゝなつた。

又佐世保、大連間海底線改修のため派遣されたケーブル船小笠原丸は十三日以來天候不良のため港外に避難中のところ昨日入港新炭補充の上今朝現場に向つたが今日中には工事を終了する豫定である

ダグラス夫妻愈よ歸米の途へ
『左樣なら』を連發しながら きのふ横濱を船出

【横濱廿日發電】ダグラス夫妻は一旦淺間丸船室に收まつたのち松竹の自動車にて横濱市内と蒲田撮影所を見物に向ひ解纜十五分前に歸船した、午後三時愈々巨船滑るが如く岸壁を離れるや夫妻はデッキに現はれ最後の「左樣なら」を連發し五色のテープと共にファンのダグラス萬歲の聲が亂れ飛んだ、斯くて午後三時二十分船は霧靄る港外に姿を沒し十九日神戸上陸以來暴風のやうな歡迎の中を過ぎて來たダグラス、メリー夫妻は再びアメリカに向け去つて行つた

退京のその日

【東京廿日發電】熱狂的歡迎裡に昨日入京したダグ夫妻は昨夜早速東京會館の歡迎會、帝劇、歌舞伎座等を大急ぎで一巡し十二時頃ホテルに歸へり第三百二號、四號室に入りグツスリ寢込み長途の疲れを休め、今朝は八時起床、朝食には食堂に出ず室内でトウスパンとコーヒーを攝り映畫關係者の訪問に接した、此時既にホテルの前には雨を冒してファンが續々と詰めかけた夫妻は十時三十分ファンに挨拶すべく愛宕山の放送局に向つたがホテルを出ると數千のファンは歡聲をあげて迎へた、其の中を自動車で放送局に急ぎ同十時四十分から三分間の挨拶を濟ませホテルに引返したが、同午後三時出帆の淺間丸に便乘すべく準備を急いで居る

内地各地間は無線電話で通話
來春遞信省て試驗

【東京廿日發電】遞信省では曩に岩槻無線電信所で試驗交信中の英國ラグビー局と滿洲局間の無線電話を完全に傍受し得たのにヒントを得て我國でも長距離無線電話試驗をなす事に決定し來春早々目下遞信省で設計中の送信機受信機の出來上るを待ち岩槻に受信機を東北局に發信機を取りつけ交信試驗を開始し愈々之が成功すれば我國の全局に無線電話機を取りつけ有線電話と同樣に通話料金を取つて一般に通話させる計畫で愈々之が實現すれば樺太の果から臺灣の奧まで自由に通話が出來る譯である

梅蘭芳の來演日取り決る
來る廿九日から協和會館で 永善舞臺にも出演

豫て中日文化協會主催で大連で公演すべく交渉中であつた梅蘭芳一行卅名は愈々廿八日北京より陸路來連し翌廿九日より明春元旦まで四日間滿鐵協和會館（特等七圓、一等五圓）次いで三日間奧町永善大舞臺にて都合一週間の興行を行ふことゝなつた

杜錫珪氏に勳章
加藤軍令部長より傳達

【東京二十日發電】來朝中の支那海軍大將杜錫珪氏に對し畏き邊りより勳一等旭日大綬章を授けられ十九日帝國ホテルにて加藤軍令部長より傳達された

杜大將渡米

【東京二十日發電】來朝中の支那海軍大將杜錫珪氏一行は關西地方の視察を終へ二十日午後零時四十分東京驛發午後三時横濱出帆淺間丸で桑港へ向つた、大將一行は歐米各國海軍を視察した後來春四月歸國の豫定である

不起訴に決定す
小橋、降旗、金森の三氏

【東京二十日發電】越鐵事件の小橋前文相、越鐵並びに大宮電鐵事件の降旗元政務次官は何れも二十日正式不起訴の決定を見た、尚十四日保釋出所起訴不起訴の決定を保留されてゐた金森碧宮急行社長も同時に不起訴と決定した

政界著名の士の策動さへありと云はれ其の成行次第では非常な問題となるであらうと見られてゐる

上山草人あす朝入京

【横濱二十日發電】映畫俳優上山草人等を乘せた天津丸は濃霧の爲め本日午後五時岸壁着することゝなつた、草人は同夜は當地に一泊二十一日朝十時五十五分晴れの入京を爲すと

運轉手試驗合格者

過般沙河口署にて行つた自動車運轉手試驗合格者は十八日附を以て發表されたが、乙種合格者廿八名（内日本人十一名）甲種一名で、小崗子署にて受驗した者は甲種一名乙種九名（内日本人二名）であつた

東京市疑獄關係者が獄中で看守を買收
小川平吉氏らの間も疑はる 大々的に證據湮滅

【東京二十日發電】東京市大疑獄は今や決算期に近附いたが、突如奇怪なる看守買收と大規模の證據湮滅が發覺し疑獄の

大立物の

三木武吉の愛妾でかつて待合松ケ枝料亭ぽんたの經營者加藤タケは十九日檢事局に召喚、枇杷田檢事の取調を受けた上十夜證據湮滅罪として起訴大塚豫審判事の訊問を受け市ケ谷刑務所に收容された、これがため益に同刑務所看手たりし市外板橋町金森久助（四）も既に十七日夜瀆職罪で起訴前の强制處分に依り收容されたが、今後も續々關係者の召喚を見る形勢で右事件は市疑獄に

連坐した

市會議員連が收容當時看手たりし前記金森が關係者から買收され刑務所と外部との聯絡を圖り證據湮滅のため働いた事實の發覺と云はれ其の發覺は十七日金森の自白に依るもので其の供述に依れば驚くべき大規模の證據湮滅事件で相當知名の士も關係ある模樣で意外の方面に展開すべく金森は私鐵疑獄の小川平吉氏と其の取り卷き連とも關係ありと云はれ當時收容中の春日俊文氏とも聯絡を執つたが、其の背後には前警視廳警官及び

女將、仲居、帳場總出で「忘年會」の爭奪戰
儲けた「飮み放題、喰ひ放題」や 師走を行く（20）

料理店の書入れ時、歲末の各方面の忘年會も、今年は例の鬱陶しいことと此上なしの緊縮節約が祟つて先づ滿鐵王國が忘年會をやらぬことになつたので、大正九年以來不景氣を例年の口癖にしてゐたその不景氣の上を行つてゐるのは、全體から云つて先づ間違ひないらしい

◇

この形勢を逸早く覺てとつた市中各料理では、師走の月に入ると直ぐから、銀行、會社、各官廳、市役所は云ふも更なり、曩て御引立ての御贔負筋へ「今年は特別勉强致しますから忘年會は是非私共で」といつた手紙や、女將、仲居帳場まで動員し、大車輪で哀願的勸誘に努めたものである。

◇

中旬に入ると新聞紙上に忘年會勸誘の宣傳戰が開始され「飮み放題食ひ放題」と牛飮馬食黨に巧に迎合したのも一、二にとゞまらず、中には「一圓以上」など廣告した家も現はれるといつた勉强ぶり。

◇

ところで、案外なもので十日を越すと、緊縮風をこつそり避けての安上り節約忘年會の申込み續々とあつて、謂ふところの「飮み放題食ひ放題」式を歡迎する家など一夜に五、六組多きは七、八組もかち合ひ板場と女中を面喰はせてゐる有樣である。

◇

それらは緊縮忘年會にふさはしく何れも藝妓ぬきのよせ鍋や、鋤燒ぐらゐで濟ますので置屋營業の大料理店は自然閑却され勝ちで、つまり中流以下の料理店、飮食店は案外の好景氣にほく〳〵ものらしいが、中流以上の料理店は全く文字通りの冬枯に喘いでゐるらしい

◇

事實は何もサラリーマン全體が不景氣なのではなく、ボーナスも頂つたし、諸物價は低落したし、二十日過ぎには月給も入るのだから懷中は大ぬく〳〵なのだ、濱口さんには誠にヘヤ申譯ないことだが緊縮や節約は先づ上表だけのこと年に一度の忘年會ぐらゐ何らかの方法でやらずには濟かぬのが彼等年若いサラリーマンの氣持といふもの。

◇

で、表面藝妓ぬきの極めて質素な且つ勇壯活潑に牛飮馬食で課長どのや主任どのゝ前に健全ぶりを示して、さて散會した後はどんなものか、淨瑠などに聞くと一般遊客の少ない割に、今年は忘年會崩れの人々と、ボーナス日の夜丈けは例年に比して決して遜色ない賑やかさ、だといふ。

◇

料理屋で賑やかな忘年會を憚るやうな地位ある紳士方の間に、緊縮の主旨を帶して實質的經濟的な支那料理や、簡單で、社交的で、砕りのつきやすいホテルあたりで、外國人まじりに洋式忘年親會が數多く行はれるのも、今年の緊縮忘年會にふさはしい現はれの一つであらう（寫眞は洋式忘年會）

貧しい人々へ あたゝかい同情

市内美濃町鶴田號武田正吉氏は市内貧しい人々にどうぞ分けて下さいとそば券五百枚を、同じく金二十圓を大慈園（七圓）婦人ホーム（十圓）滿洲託兒所（三圓）の氣の毒な人々にと、また市内春日町三十番地熊井ツノ子さん（三）は大連の貧しい人々に白米一斗、現金五圓の寄贈方を二十日大連署あて申し込んで來た

滿鐵特別賞與

滿鐵の本年下半期特別賞與は既報の如く廿日それ〴〵各關係箇所庶務係から封筒に入れ職員及び一部囑託等に渡されたが、給額は例年の通り本俸八十圓未滿は十割八十圓以上十五割見當であつた

自動車衝突

十九日午後十時十分ごろ大連タクシー運轉手劉好鄉（二七）の運轉する自動車が西公園町より春　町に進行中日本橋タクシー運轉手山瀨仙太郎（三六）の運轉する自動車が春日町より若狹町に曲る際劉は衝突を避けんとして急ブレーキをかけたが相手方の左側ドアに衝突したが双方示談で事濟み

田中元七氏保釋

【東京二十日發電】市ケ谷刑務所に收容中の城東土地專務田中元七氏は本日午後六時保釋出所した

岸田劉生氏 德山で客死す

岸田劉生畫伯は過般滿鐵の招待により來滿各地を行脚し去月廿七日大連發歸京の途に就いたが途中にて發病德山に下車して靜養中のところ十九日遂に逝去した旨滿鐵に通知があつた

小崗子署武道納

小崗子署では廿日午後一時より同署振武館において本年度武道納會を開き柔劍道の紅白試合を行つた

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿一日（土曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、ハーモニカ

三、義太夫（合邦）　太夫山口勇、三味線柴部近松、鶴澤叶次郎

四、八雲琴合奏（黑髮をりて行く〳〵唄、三味線田中しげ、八雲琴港コマ

五、箏曲（紅葉）　箏地渡邊評溪、尺八名和榮次郎、箏本手伊集院夫人、同渡邊夫人

六、支那唱（折西廂）　唱王桂寶、師付徐月亭

七、料理獻立

八、天氣豫報

次の長篇小說豫告

目下本紙に連載中の小說「愛慾の窓」は好評の裡に近く終結を告げますので、我社は愛讀者各位の御期待に副ふべく現代文壇の寵兒三上於菟吉氏に交涉しました處長篇小說『戀と地獄』の執筆の快諾を得挿畫は肖像畫家中の新進鶴田五郎畫伯の彩管に俟つ事としました、必らずや大方の好評を博する事と信じます

長篇小說 戀と地獄
作者　三上於菟吉
挿畫　鶴田五郎畫伯

作者の言葉

僕の曝露文學はこの「戀と地獄」で自分としては一局尖端を示したものと言へると思ふ。僕はこの一局に現代東京が含む一切の惡しき美と力との渦卷、それに捲き込まれて押し揉まれる小さき渦き幾つかの生命に就いて、出來るだけの描寫を試みる決心だ。僕は讀者の後援が、あくまで素志を貫徹せしめられんことを望む。

愛慾の窓 (194)

戸川貞雄作　淺枝次朗畫

審判 (四)

神戸行急行列車の二等車輛の坐席の一隅に、髮をくる〳〵と束ね髮にした、白粉氣の全くない、にもかゝはらずくつきりと透きとほるやうに色の青白い、一見病み上りかと見える婦人が、ぢつと坐つてゐた。黑い天鵞絨のコートを着てゐる。そしてその傍らには、まるで生物でゞもあるかのやうに、黑貂の毛皮のショールがうずくまつてゐるのである。――いふまでもなく、倭文子であつた。

彼女はぢつと淋しうつむいたまゝ、折々ほつと吐息を洩らすより他には、長いこと身動ぎもしなかつた。長旅の汽車で、その車輛もさうすいてはゐなかつたので、却つて彼女の屈託ありげな樣子も、人々の怪訝の視線を惹かないやうであつた。

箱根へ汽車がかゝつた頃、車内の誰からともなく、雪になつたといふ聲が傳はつて來た。そつと覗くと、雪子のやうに凍つてゐる窓硝子を透してみると、夜目にも白く雪に埋れてゐる山の谿のたゝずまゐである。なほその上に風も加はつてさつ〳〵と刷毛でこするやうな音を立てゝ、雪は車窓を掠めてゐる氣配。

「有難いもんでごはすな、こんな吹雪の夜にあんた、箱根の險を暖くて越せるのでごはすからな……」

「さやうで……ほう、大分ひどいやうですが、かうしてをりますとまるでわかりませんな、スティームは通つてをりまするし」

そんな會話に半ぼんやり耳を藉してゐると、倭文子にはふと初めて久彌と會つたのが、この箱根の大涌谷を湖尻へ拔ける道だつたことが想ひ出されてきた。

――夢のやうだ、何もかも夢のやうだわ！　人の運命ほどわからないものはない、誰らずお會ひしたあの方が、兄さんを殺した犯人の嫌疑で苦んでゐらッしやる、さうしてわたしはわたしで、心ならずも結婚した伉儷に、譏りとほしてきた罪を拭かれて潰された果てが、かうした兄の後を追ふために箱根へ戻る……。また魔の嶮しいところから、苦い嘆息が洩れてくる。たゞせめてもの慰めは、久彌の嫌疑もやがて晴れるであらうといふ見透しのついたことだ。さうして美知子さんはあの方と一緒になつて、これから後の人生を明るく樂しく送つてゆくにちがひない……さう倭文子は祈るやうな氣持で考へる。

――美知子さんは、確に草野さんを戀してゐらつしやるんだわ！　さう、いつかお互にそんなことを訊ね合つてお互に否定し合つたことがある……しかし美知子さんはほんとうは草野さんを想つてゐるにちがひないんだわ……さうしてわたしは？

倭文子はそこまで考へてくると底知れぬ穴の底へ、すーつと引込まれてゆくやうな寂しさを感じてぞつとした。今更のやうに、彼女は孤獨の悲しみにひし〳〵と胸を打たれた。

――兄さん！　あなたは何故死んでしまつたの！　可哀さうな兄さん！　でも可哀さうなのは兄さんよりむしろわたしよ！

何處かでそれに和へてくれる兄の聲が聞えたやうな氣がした。

――待つてゐる、早くおいで！

俯首いてぢつと伏せてゐる倭文子の眼に、涙が湧いた。泣いても〳〵涙は涸れないものと見える。

その時、荒々しく車輛の扉を引明けて、赤い羅紗の腕章を腕に巻いた專務車掌を先頭に、三四人の移動警察官らしい連中がはひつて來たが、物々しい空氣を殘すと、足早に次の車輛へと急いで移つていつた。

「……何かあつたのでせうか？」

「……さあ、誰か飛降り自殺でもやつたのかな」

そんな囁きが隨所に交されたが、やがて判明したところによると、車内に盜賊があつたのだといふ。

「……物騷ですな、全く！」

「さやうですな……まさかこの列車は魔の列車と云はれてる奴ぢやありますまいね、どうも氣味が惡い……」

「お互に用心いたしませう……」

列車はやがて靜かに國府津の近くを走つてゐた。箱根を越えると吹雪はおさまつた樣子であるが、しかし雪は珍しくも降り積つて、車窓の外は白皚々たる夜景を展してゐた。

滿日俳壇募集規定

次回課題「多の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八六　島田寄緑宛

滿日文藝

滿日柳壇

『落』　高橋月南選

落付かぬお阪風校誘はれる　遼陽　登美坊
落涙を拭くは拳の型になり　春川　鶯樓
落着をさせて仲裁酒にする
落札へ妙な噂がつき纏ひ
落魄の身にしみ〴〵と知る情　旅順　柳月
鼻紙も落してある尋常科
飛行士は落て我名を世にひろげ　大連　入道庵
博士の子矢張り今年も落第し
落選の事務所に暗ひ灯がともり　大連　木の葉
俄雨竿竹落したまゝ抱へ
ガーテンの風夏帽落ちた昔　ヒシカ　松風
就職が出來ず國への初便り
落胤の秀才閣にほうむられ

佳吟

落葉して小鳥ねぐらの定らず　旅順　柳月
拾得の白銅巡査ほめて晃れ　昌圖　斗牛
落膽へ母は氣強い笑を見せ　朝陽鎮　李堂
小春日の雀もつれて屋根を落ち　撫順　阿喜良
はたの目も憐れ落目のあせり氣味　萬家嶺　一柳坊
羽織ごろ髭はやして見落して見　旅順　辰雄
凋落の秋へ小鳥の派手な聲　奈川　鶯樓

自句

ポツタリと落たインキへ行を明け

新刊紹介

▲雄辯(新年號)新年男女當面の問題座談會、安部磯雄傳、誌上雄辯選手權大會、清瀬一郎氏の政談演說の仕方、オ田博士の普選成功の代表人、新年模範挨拶演說例、其他小說戯曲多數ある外昭和名演說集と云ふ三百頁に近き附錄があり附錄共に定價八十錢(東京市本郷區駒込坂下町四八　大日本雄辯會講談社發行)

押し迫る年の瀬に さまざまな世相

教室の慈善箱から 常盤小學生の暖い同情
本紙の記事から哀れな人々へ 阿部君は貯蓄から

常盤小學校五年生阿部繁雄君は十八日本紙夕刊所報「お正月もされぬ貧しき人々」の悲慘な生活を讀み子供心にもいたく同情し平素兩親より頂いたお小使を節約して貯蓄した中から前記貧困者十三家庭に對し一戸宛金三圓づゝ合計三十九圓を分贈すべく兩親の許しを得てその處置方を學校に申出で、又同校六年三組女子一同は同じく貧困者十三家庭に贈りたいと八圓十二錢に左記本社宛の手紙を添へ先生に差出したので同校より二十日本社に取次方を依賴して來た

依賴狀

一金八圓十二錢也

右は私達が教室の一隅に慈善箱と稱するものを作り置き平素小使錢を節約して餘つたものを入れて置いたものであります先般貴社新聞に掲載されました御氣の毒な家庭十三戸の人々に適當に御分配方を御依賴申上ます

債權の取り立て
藝者の髮結ひ代まで 遙々と內地から願ひ出る

福岡市水茶屋町髮結業山田ハマは現在逢阪町の快樂に居る谷山トミが福岡水茶屋檢番に藝妓稼業中の髮結代十六圓二十錢を未拂の儘渡連しましたから借金返濟方の說諭をまた越後町三二下宿業鈴木マサは現在逢阪町末廣ビル內の高木五一(假名)が下宿料殘金十四圓十二錢也を同じく現在關東館に止宿する鈴木某が本年十月十一月友人中村某內山某を伴ひ同人が責任者となつて止宿したが其の三人分の下宿料殘金三十六圓九十六錢を此の際返すやう說諭して下さいと何れも大連署の保安に願ひ出た

非常警戒
けふから 第三期に入る

火事、泥棒のシーズンとなつたので大連署では廿日より愈々非常警戒の第三期に移る事となり若干の準備員を殘し殆ど總員出動の大警戒に移つた

年の瀬も迫り愈々師走氣分に町の姿も人の心もせはしくなるにつれ

歲の市の裝ひ

瓦斯器具を一齊檢査
正月料理に備へ

南滿瓦斯會社では歲末を控へたので各家庭の瓦斯器具檢査を行ひ燃燒力の能率を向上せしむるため全市に亙つて十日から十四日まで家庭訪問をなしたが、沙河口、驛前、電氣遊園前方面を除いた全市內の訪問戸數は一萬三千五百四十一戸內修理を要したものが二千六百二十五個、七輪の取換が二百四十三個であつた、而して各家庭に於ける正月用料理の煮炊には最善の方法を以て瓦斯の供給を圖ることゝなつてゐるが若し器具の破損、火の川の悪いといつた故障を生じた場合は八一八一番に電話をかけて貰ひたいと

超特急 明春四月から運轉

【東京十九日發電】東京大阪間超特急列車は明年四月一日から運轉開始に決定したが東京發は午後一時三十分大阪着は午後九時五十分とする

忽ち効果が違ふボーナス
矢張り暮れに欲しいのが人情の 二月渡しの大連汽船

何處の會社でも、お役所でもボーナス貰つて不景氣風もなんのそのとお正月を迎へる氣分であるが、これはまた「會社の方針です決算が二月だからそれが濟まねば會社の收入も解らない從つて今年からは十二月のボーナスは止めにして二月に差上げます」こんな事に蹴を發して大連汽船許りは他處のボーナス景氣も何處へやらしなびた樣な顏をして澤山の社員が浮ぬ有樣である

重役さんはそれで好いでせう、だが我々平社員はそれじや困りますよ勿論この話は六月から言渡されてゐる事ですが……さて打つかつて見ると矢張りお正月前に貰ふのと濟んでから貰ふものは同じ賞與でも効果が違いますからね

と若い人達はそう云つてゐる、某重役さんに聞いて見るとそれは社員の心中もよく解つてゐるが決算が濟まなければどれ丈けやつて好いかも判然としない道理じやなからうかとの仰せ

內地から着くお正月用品

內地から船が着く每にドカ〳〵とお正月用品が陸揚げされてゐる、暖かい顏色をしたみかん、白い粉をふいた昆布の擴黃金色した內地酒の薦被りそれ等がぎつしり甲板の上に並び立てられてゐる、この次の船位では門松に若竹が運ばれて來る(寫眞は入港船の甲板の壯觀)

行商邦人を支那人が袋叩き
悪店員揃ひの支那料理店 泰呂樓で中食して

市內沙河口仲町一四八服部勇次郎長男齊洋(二〇)は十九日午後一時ごろ鮭行商の途中惠比須町九五細川泰次の經營する支那料理店泰呂樓にて中食をなし食後店においてあつた鮭一匹が不足せることより同家帳場唐日軒と口論の末唐はストーブ用の金具を以て齊洋を毆打し更に店員逢吉(二〇)外三名もこれに加勢して棍棒にて袋叩きとして居るのを附近の邦人が漸く仲裁したが小崗子署では唐外店員を傷害犯人として取調べ中である尚泰呂樓は曩にも逢坂町の料理店と女店員のことより喧み合を始め双方共二十名近くの人を集めてまさに大立廻りを始めんとしたのを小崗子署にて探知し事なきを得たことあり始末に負へない悪店員揃ひであると

仲介業から施療患者
密輸で未決中に罹病し

昨日慈惠病院に施療患者として入院した原籍東京府無職村上驚二(〇〇)は昭和二年來滿以來鐵材其他のブローカーを營業として相當の暮しをしてゐたがモヒ密輸事件で營口領事館警察にて懲役二ケ月執行猶豫に處せられ其の未決拘禁中に病氣となり其後病の進むと共に貯へもなく營口署員の同情を受けて旅費其他をめぐまれて來連し十八日夜は智光院に泊つたが何分無一物で遂に大連署の同情で施療患者となつたものである

不正事件とは全く無關係
一笑に附し文相語る 富士生命の讓渡事件

【東京二十日發電】不正事件の嫌疑をかけられてゐる田中文部大臣は十九日夜之を一笑に附して左の如く語つた

富士生命を今の經營者に讓つたことについては讓つた方も讓られた方も當事者は自分とは全く別人であつた、即ち讓つた方は社長が藤田平太郎男、事務は寺田市、讓られた方は社長が中山說郎、事務は岩出氏で自分は其の當事者ではない、只自分は曩に同社の重役として名を連ねただけの關係である、而かも其の契約を結んだ時も讓渡を實行した時も二度共郷里秋田に歸省中だつたものだから自分は何も知らない、單に自分が今文部大臣であるが故に殊更に傷つけんと重役中から自分を引出して物にしようとしたもので全然問題にはならない、こゝまで泥試合が行つては眞に憤慨に堪へない

萬圓が行衛不明となり其の間藤田組の重役に背任橫領ありとして當時藤田組總務理事田中文相に對し元代議士登谷秀次氏から告訴が提起され京檢事局では徹底的に眞相を糺むべく着手したらしい

重役を召喚取調べ
十五萬圓が行方不明

【大阪二十日發電】東京地方裁判所北條檢事は去る十六日密かに來阪、事か取調べを續けてゐたが、十九日突如富士生命保險の重役を取り調べ事件は漸く政治問題と合流するに至つた、事件の內容として傳へらるゝ處に依れば昨年富士生命の大株主藤田組が北海道の實業家岩田三平氏に讓り渡の際十五

白晝、西通で六百拳御用
男女六名を珠數繫ぎ

十九日午後三時頃大連市西通一一五神田信一方に於て年增女を交へた五六名の者が六百拳賭博開帳中を聞き込んだ黑瀨巡査は澤田、寺井、井手三巡査の應援を得て現場

荒天續きに惱む圓島燈臺
無電故障で消息不明

打續く荒天のため圓島燈臺より牌三日前の情報によると波高く十六日交替に歸連出來ずとあつたが、その後何等情報なく安否を氣遣はれたところばいかる丸が同地通過

黃白嘴の燈臺も消燈

の際無電をもつて安否を問ふたがそれが無電に接せず恐らく無電に故障を起したものであらうと因に同船が通過の際は點燈してゐた由で黃白嘴燈臺も亦被害を受け十八日以來消燈の儘でゐる

上海に積雪二尺餘
昨夜來交通機關杜絕す 五十年來の大雪

【上海二十日發電】上海にては十二月に入ると共に連日降雨續きであつたが、十九日より氣溫俄に低下し夜に入つて雪となり今朝積雪二尺餘に達し昨夜來市內の交通機關は全部杜絕し一切の乘り物は姿を消し當地に珍しい寒氣のため貧民が續々と凍死し五十年振りの大雪だと騷がせられ又もや大雪を報ぜられ各種の酒宴が行はれ觀菊の都上海も雪に埋まつた

奉仕の時代

奉仕的にやることが特に今は商賣の秘訣らしい。講談倶樂部は新年號から値下げ斷行の仰ぎなさうだ。書店も驚いて居る。其他講談社の雜誌は凡て奉仕的、少しでも世間の爲になるやうにと損得離れての大勉强、どれもこれも寧ろ好景氣時代よりも賣行きが良いさうだ。

支那少年が少女に暴行
母親から告訴

山東省生れ當時市內常陸町五一番地飲食店方隋學年(一〇)は十二月十一日午後七時頃常陸町大連湯横手小路に其の附近で遊んでゐた常陸町五四張玉才方長女張代小(八)に豚饅頭をやるからと欺いて連れ込み矢庭に暴行せんとし張が母を呼ばんとするのを口を押へて脅迫暴行した事十九日張の母親の届出に依り十九日犯人隋を逮捕した

に踏み込み折柄賭博厚紙を金の代用として開帳中の市內西通一一五吳服商神田信一(〇〇)同人妻イト(〇〇)市內西公園町一七八ノ六株式賣買濱野繁三郎(〇〇)市內西公園町一八七濱野方古物商仲久保クニエ(〇〇)市內若狹町一四岩藏越田鶴テル(〇〇)市內伊勢町一〇一佐伯イワ(〇〇)の六名を取押へ證據物件として花札金錢代用の厚紙、現金二十錢を押收して引揚げた

奉天藝者が情夫と駈け落ち

奉天彌生町料理店いろは樓抱へ藝妓小染こと中村タカ子(一〇)は十九日夕情夫菊池某と共に姿を晦まし來連せる形跡があるので廿日いろは樓々主より大連各署へ搜査取押へ方を願出でた

絕えぬ獻金者

十七日以後の獻金左の如し ▲二十二圓八十五錢大連商工學校職員生徒一同▲二十圓柳町七二門屋康太郎▲三十圓愛宕町金光教々會▲二圓育成學校柳本孝明

大連署武道納め

大連署にては本年の武道納會として同署道場に於て二十日午後一時より柔劍道殿外紅白試合有段者の個人試合を行つた

苦力を飛す

二十日午前八時頃若狹町鴻車消に於て大連タクシー運轉手山口梅雄(二四)が大三二四號自動車を運轉して春日町より埠頭に向ふ途中通行中の氏名不明の支那人苦力をはね倒し苦力は其場に顚倒して腦震盪を起したので直ちに滿鐵病院にかつぎ込んだが負傷の程度は今の處未定

台所メモ

	百匁	
ぶり	二五	二五
いか	五〇	一五
たこ	三五	一五
かながしら	一〇	〇六
えび	七〇	三〇
ひめ	一五	〇七
すき	二〇	一五
さら	五〇	三五
ほら	四〇	三五
かれい	一五	〇〇
あなご	四〇	〇〇
ちぬ	三五	二五
せいか	〇八	〇六

平安異香（205）

葉多默太郎作　中一彌畫

奔流（三）

「おれの首を持つて行つて、商賣の資本なと貰うては」

といふ怪しい僧――

鏡磨師はあくまでも笑止な顔をして、

「へゝゝゝ御冗談でせう。が、似てゐるこたア似てゐる。兄弟だといへば誰だつて本當にしませう」

「當の本人だといへば猶更よいだらう」

「通りますね、それだけ似てゐりや」

「だから持つて行けといふのだ」

「へゝゝゝゝ」

笑つて、おつと笠の中の、僧の眼を覗きこんだ鏡磨師と、その鏡磨師の顔へ、かぶさるやうに饅頭笠が寄つて來て、あたりを憚る囁きだつた。

「源八郎、遂々見破つたな」

鏡磨師は云つた。

「四日になる。四日前■■、毎日――

かさず、それへ紫士裝の男が追ひすがつて、

「主領――」

人目を憚りながら呼びとめた。

「木葉役人ががやがやと騒いでやがる。辻札の見物人の中に混つてゐたらしいんで……いろいろな風體をしやがつて。それが寄り寄り相談を始めやがつた。何か始めるんぢやねエでせうかね」

「さうか。で、源八郎？今刻はおれと物をいつてゐた鏡磨師が源八郎なんだが」

「おう、さうでござんしたか。あれが源八郎、さうでしたか、それならずんずん北へ行つてしまひました」

「さうだらう。ぢや捨てておけ、何ともありやしない。だが、お前達みんな、巣を覗かれないやうに用心して引上げろ」

「へえ――だが、彼奴等、あなたと感づいてやがるやうで……」

「よいわ、すてゝおけ。源八郎の

こゝでかうして會つてゐたな」

「知つてゐたのか、さうか――」

「夢之助、最後の勝負の時が來たやうだ。覺悟はよいだらうな」

「いや、まだその時でない。わしにはいろいろ仕事がある」

「腕づくで捕るなら文句は云へまい」

「こゝで捕るといふのか」

「捕つて捕れないことはない。見ろ、この人集りの中にわしの配下がひそんでゐる。分るか」

「あゝ、分らぬでもない。が、わしの方の者もゐる。この中に七、八人、滔をぶらぶら歩いてゐるのが十人ばかり、近ごろわしは一人歩きをしたことがない。二、三十人は何時も身邊についてゐる。今捕らうとすれば彼らに世間を騒がすばかりだらう」

「うむ、さうか。では今日はこのまゝ別れる。だが、長くはおかぬぞ。隙のないやうに、日夜注意をしてゐることだぞ」

「心切な役人だ、有難う。精々用心をしよう」

「………」

鏡磨師の黒住源八郎は、夢之助へ最後の一瞥をくれて、そのまゝ群衆を掻きわけて去つてしまつた。

後に殘つた夢之助、にんまり笑つて、ぐつと笠を傾けて、人垣から■て行つた。が、二、三間を離

「采配なくて動ける奴等ではない」

笠の縁に手をかけて四邊を眺め、ゆつたりと草鞋を踏みしめて行く夢之助――

その時分、幸は、朱雀院の築地に添つて、すたすたと歩いてゐた。たゞもう無闇に歩いてみるより外に仕方のない幸である。ふとして春光が見つかりはしまいか。こちらの姿が春光に見られはしまいか

儚い望みを頼りに、あてもなく彷徨つてゐる幸だつた。

この都の幾萬の人間の中から、たゞ一人の男を探し出すといふのは、大海に放つた魚を求めるやうなものではあるが、人には時に、偶然を頼みにして動くより外に、仕方のない時がある。

左は築地、右は邸の門、大路には、朝詣めの牛車、輿、騎馬、そして人の流れだつた。

黒牛にひかせた黒塗りの轅の牛車が來る。

ふと、幸は立止つた。

映畫と演藝

首の座

この物語の筋はあまりに有りふれた物である。裏長屋に住んで居る兄と弟の職人である貧しい娘、其の娘をねらふ金持の武士、兄に戀して居る鐵火な女……きまり切つた筋、此等の人物が織つて行くだけである。しかし此の映畫を見て少しも退屈を感じない。何故退屈を感じないか、そこに山上伊太郎とマキノ正博の本當に好きコンビネーションの價値を見とめると同時に、獨立した山上伊太郎の筆と正博の腕の好さを認めねばなるまい。

◆此の物語りに出て來る人物は、傳兵衛も、巳之助も、お六も、おしゆんも皆立派に魂を持つて居る。そして其の魂が織つた物語「首の座」の底には「救を求める人々」の姿が描き出されて居る。山上伊太郎の頭のよさ、彼はたしかにプロレタリア的何物かを意識的に此の物語りにひそめて居るに違ひないと考へさせられる。マキノ正博は此の映畫に殆んどタイトルを用ひて居ない。しかし時々用ひる適切なタイトルは、効果的なオーバーラップと共にこの簡單な物語りに非常なスピードを損けさせて居る。殊に最後の切り方等も一見馬鹿にした様ではあるが、巧みな餘情の持たせ方である。とにかく此の映畫は「浪人街」で賣り出した山上伊太郎、マキノ正博のコンビネーションに一層の榮譽を與ふるに足る物である。

噂話

英蝶演藝館主がきのふの船で大阪から歸つて來たが▲正月興行は西洋物で押すのだと物凄い鼻息であるが▲「街の天使」や「無鐵砲ロイド」をはじめ「ショーボート」が豫定され▲帝キネ作品は「戀のジャズ」や「あすは決勝」の現代劇揃ひ▲常盤座の第二週は「西南戰爭」と「刀を抜いて」ださうとのことである大日活は來週のプロを僅に變更して「維新の京洛」大會を催す▲演藝館の表飾りが御態を一新したが、浪速館の入口にも金縁の額をヅラリと並べて松竹の俳優を宣傳はどうですか▲選定に選定を重ねたプロでゆふべ久振りで社員倶樂部の映畫會が催されたが淋しかつたとのこと▲それから昭和會館は正月には館も増えた事だし來春は今年のやうな催しをせない▲現在の計畫で行くと明春解氷期には新映畫館が雨後の筍のやうに出來る▲氣の早い連中にⅠるとチヤンと館名まで映畫會社と相談して來たといふ

映畫案内

俄然……松竹映畫との提携なる
十九日封切
市川右太衛門主演映畫
三下野郎
中村吉松、高堂國典助演
マキノ時代劇部秋期超特作
名トリオ原作脚色…山上伊太郎
監督…マキノ正博
キヤメラ…三木稔
首の座
谷崎十郎、河津清三郎
櫻木梅子力演
マキノ御室スタヂオ小品時代映畫
怪談 **狐と狸**
桂武男、市川米十郎
泉清子共演
階下二十錢 この番組でこの料金！
浪速館

十七日封切
市川百々之助主演映畫
◆**黒駒の勝藏**◆
甲斐の黒駒鬼より怖い鬼の涙も持ちやせぬ……
百ちやん獨特の劍劇陣…大殺陣帝王映畫我等の珍優モンテイバンクス氏大脱線演出
◆無理矢理 **空の大統領**◆
ソラ、ソラ空の亂舞空中ジャズ、大空征服の大レビユー
おとぼけモンテイ得意絶頂
◆**おゝ母よ**（原名 母性愛）◆
麻間林太郎、高律愛子共演
階下三十錢
◆◆切抜御持参下さい一枚で三名迄適用
演藝館

十六日より時代劇週間
原作・脚色・監督…友成用三
江戸育
林長二郎一人二役
若水絹子…助演
原作・脚色…木村不二夫
監督…犬塚■之助
冷眼
市川右太衛門主演
鈴木澄子入社第一回出演
原作・脚色…藤原忠
監督…多島泰三
鳥邊山心中
林長二郎主演
若水絹子、若月弘雀助演
帝國館

十八日より大公開
階下席五十錢
日活特作時代映畫
大闘陣
清川牡司、常磐操主演
パラマウント映畫社特作大爆笑劇
巨匠クラレンス・バッジャース監督
女シーク
お馴染ビーブダニエルス嬢主演
美男リチヤード・アーレン氏
素晴しいギャグとイツトユーモアーの爆笑大脱線
日活特作現代映畫
原作 如月敏・監督 伊奈精一
百面相（三朝小唄・秋内蘭蝶入）
名人 名花 梅杉 男子 蓉 主演
亡び行く寄席藝人の末路悲戀、戀愛の純日本趣味豐かなる藝術作品……駿かで樂に觀られる

大日活

十八日より公開
大東亞提供
吾妻三郎主演
長袖の劍士
監督 山口好幸
階下 貳拾錢にて解放
現代劇
嘆きの白百合
宵木繁、川島奈美子主演
國徳■主演
首賣權三
■■館

滿洲日報

婦女界

新春特別号　築く者の歡び

第一線に立つ……婦人の座談会

今日第一線に立つてゐる方々の會合です。この方々の生ひ立ちや今日を築く迄の話を伺ふと、全く今日あるのも偶然ではないと考へさせられます。人はこの努力なくては成功出來ないとハッキリ分ります。ご婦人は勿論、殊に職業婦人として成功を望む方々は、一刻も早くこの大讀物をご精讀下さい!!

（出席者）吉屋信子　市川房枝　金子しげり　平林たい子　竹内茂代　佐藤千夜子　栗島澄子　長谷川時雨　千葉益子　太田菊子

誌上大學病院の健康診斷

胃病の種類とその症狀、胃潰瘍と原因、胃潰瘍と腦溢血、盲腸炎、胃癌などに就て、その豫防及び手當を、細密圖解入りで、分りよく親切に説明してあります。　平野博士

歐羅巴の子供と日本の子供　太田博士

小兒の肺炎の手當　竹内茂代

我が一門の誇り

歎々の光榮に浴した長命者揃ひの目出度い家の話、三博士二學士をもつた母の話、又世の惡評に耳もかさず防波堤を築いて村の爲に盡した祖父の話など實話五篇。

（漫畫の國）
▼モダン新正月（漫畫）　岩天千夫
▼築く者の歡び（漫談）　松久夫
▼緊縮の正月（漫畫）　宮尾しげを

親馬鹿物語　都河竜

今月号の「越えて來た道」は、本社々長の僞はらざる父性愛の物語です。八人の子の生ひ立、二人の娘の嫁ぐまでを發表!!

築く者の歡び

新家庭を築く人々へ（住居費、貯金、夫婦愛、健康などに就て懇切に）　都河竜　太田菊子

行李一つでお嫁入した安達内相夫人の祕話（現内閣の大立物が、今日への第一歩を築いた結婚當初の物語）

映畫王國を築き上げた城戸四郎氏（一高野球の選手であつた城戸氏が、奮鬪の實話を初て世に公開）

金剛煙突を發明して巨万の富（六十円の月給取りから、今日の巨万の富を築く迄の苦心談!!）

文無しで學校を建て九人の子を育てた河口愛子氏（一女教員から廢物利用で有名な女學校長となつた出世物語!!）

カルカッタ總領事から精米機業を始めた朝岡健氏（華かな外交官から何故商人になつたか？其動機や現在の生活）

金解禁に際して主婦方へ希望

大藏大臣井上準之助氏のお話です。社會經濟の動搖がスグに一家の台所に影響する世の中となりました。一月十一日の金解禁を控へて今や、物價の低下と不景氣が豫想されてゐます。では、一家の主婦は如何にして昭和五年を安心して過ごすべきか。それを教へたのがこの記事です!!

新春に際して愛讀者へ

（雜誌經營のムダを省く爲にお願ひしたいことを）　都河竜

巧みに機會を捕へた話

（この頃の不景氣にはこのコツをお忘れなき樣に）實話四篇

愛讀者の新家庭初正月座談會

新婚初めてのお正月には、思ひ出しても噴き出す樣な失敗談や滑稽談があるものです。そうした思ひ出話を、人妻となられた愛讀者が、初正月の思ひ出、逆も嬉しかつた話、冷汗の出る樣な失敗などに就て、僞らず語り合つたのがこの座談會です。先づ〳〵お隣の宙返りしないやうに。

生活線ABC（一家の没落から上京する彼女達の運命は）　細田民樹

戀愛結婚制度（長女の愛人が次々に妹達と結婚して行く）　菊池寛

女人哀詞（唐人お吉物語四幕のうち二幕だけ發表!!）　山本有三

光の序曲（音樂家夫婦が藝術と愛に惱む問題の小説）　畑耕一

松井須磨子（彼女の生ひ立や戀愛祕話を赤裸々に公開）　古川實

自畫像　藤原義江（現秋子夫人の生ひ立ちから最初の結婚に破綻する頃の物語）　松尾多勢子　大倉桃郎

淀君　三上於菟吉

一事千金の實際記事

▼スエーター帽子三種（三種）
▼（女兒用）スエーター編み方
▼赤ちやんの編み物五種
▼（男女兒用）スエーター五種
▼赤ちやんの暖かい下着
▼時と場所に依つて違ふ化粧
▼流行を加味した和洋裝
▼日本料理の祕訣十種（公開）
▼煎茶番茶の入れかた
▼お酒向きのお肴色々
▼お正月の客膳料理（祕訣公開）
▼數の子の美味な戴き方
▼（家庭向き）モダン重詰お料理
▼新年の盛花と投入花

新年号大附録……和洋裁縫手藝全集

四六判、約五百頁、雜誌出版界曾て見ざる大附録!!
最新流行應用、説明平易、圖解だけでも約四百個

和服は寸法や揚げの仕方、紐のつけ方など隅々まで實際役立つように一通り纏めました。洋服は素人に作り易い物を澤山集め、手藝は趣味的の物より實際向の物に力を入れた、スバラしい大附錄です!!

和服篇　全十五章（五十餘項）　大妻コタカ　堀内紫舟　原田惠助　金田善兗　瑠璃子

洋服篇　全十九章（八十一項）　千葉智子　丹羽芳子　三浦せつ子　八木靜枝　中村サエ　小川靜子　山田松子　今泉靜江

手藝篇　全八章（六十六項）　山田松子　金子良子　高津鶴子　加藤常子　島皐月　奥村華子　小幡繁子　今泉靜江

本號特價八十錢（附錄共送料十一錢）・半年分（送料共）三圓廿錢・一年分（送料共）六圓廿錢・東京市丸ビル三五五・振替東京二九三七番　婦女界社

軍備の積極的縮小には日米の意見著しく接近

米國は我七割要求緩和のため艦種の妥協を提議か

【東京二十日發電】我全權と米國全權との會見に依り我海軍の主張は相當理解され軍備の積極的縮小に就いては著しく意見の接近を見た［illegible］補助艦比率七割要求と潛水艦［illegible］我全權は日米中諒解成立を［illegible］要求貫徹を圖るべき方針で［illegible］するものでなく一萬噸級［illegible］相當妥協を提議し來ら［illegible］比率は斷じて放棄さ［illegible］三國は主力艦［illegible］期戦術上差支へなき［illegible］べく英米の主張が我國防上［illegible］他の可能性ある問題［illegible］

問題の對照に關し日米の意見一致

商議に關し共同聲明

【ワシントン十九日發電】［illegible］ステートメントが發表された［illegible］一致が成立したのであ［illegible］の一般輪廓を提示し合［illegible］範圍に屬せしむべきものとし日米間今回の商議に於ては其處迄立入ることは爲さなかつた

我全權一行紐育へ

十九日午後華府を出發

【ワシントン十九日發電】本日着米以來初めての好天氣である、若槻全權一行は會議の序幕對米意見交換と云ふ重大任務を終つて氣も晴々しく十九日午後四時二十五分アメリカ官民多數の見送りの裡にワシントンを出發しニューヨークに向つた

專門的根據に基き協議が行はれなかつたが交渉經過より見れば我が七割要求にアメリカ側は可なり頑強に反對してゐる模樣である、然し我全權が態々アメリカ經由のコースを採り大統領、國務長官と會見隔意なき意見を交換した事はアメリカ側に好感を與へ其結果は必然ロンドン會議に好影響を與ふるものと見られる

のち婦人國際平和自由聯盟の代表者を引見し日米親善につき意見を交換、それより更に右聯盟よりアメリカ全權に送つた

アメリカは出來る限り多大の軍備縮小に貢獻すべし

との決議文を聯盟より若槻全權に提示するところあり、午後若槻全權一行はスチムソン國務長官私邸の御茶の會に出席その後財部、出淵兩夫人はフーヴァー大統領夫人を訪問した、なほ本日は午後四時からメイフラーホテルで出淵大使主催の歡迎會、八時よりフーヴァー大統領の歡迎晩餐會があり之で今日のプログラムは終るはずである

日米交渉の結果報告

山梨次官より

【東京二十日發電】山梨海軍次官は二十日午前十一時半濱口首相を官邸に訪ひワシントンに於ける日米軍縮豫備交渉の結果につき報告する處あつた

若槻全權ら多忙を極む

訪問や歡迎會で

【ワシントン十八日發電】若槻全權は無名戰士の墓に花輪を捧げたる

議會解散の時期國務大臣演說後か

一切は濱口首相の方寸に一任 正々堂々斷行されん

【東京十九日發電】第五十七議會も來る二十三日召集され愈々朝野兩黨が議場に相見ゆることゝなるので、政府は二十日の定例閣議で對議會策に關し首相以下各閣僚間に協議を見る筈である、而して政府は最近疑獄事件の進展に伴ひ政略上より

年內に解散を斷行すべしとの説擡頭し來れるに鑑み、首相は黨出身閣僚に對し隔意なき意見を求むるものと見られるが、既に必然の勢となつた議會解散時期に關して一昨今傳へらるゝ俵商相の召喚說が一片の風說に過ぎざること判明した以上、定石を尊ぶ首相としては矢張り首相の施政方針、藏相の財政方針、外相の外交方針演說を終り國務大臣の演說に對する質疑も一應許したるのち正々堂々解散を斷行すべしとの說が多い

政友の對議會策

議會前の諸會合を決定

然し解散時期は政局の機微を捉へてなすものであるから素より豫斷を許さず一切は濱口首相の動靜を洞察しその

【東京十九日發電】政友會は十九日午後一時から本部に幹部會を開き森幹事長より政府は自己擁護策から年內解散を行はぬとも限らぬ情勢にあるが、我黨は絕對過半數を制し今日解散を歡迎する理由は毫もないが、立憲政治の根本義を蹂躙せる現內閣の言動にかへりみ寧ろ議會を解散に導く事が憲政の常道なりと信ずと述べ、議會前の諸會合を左の如く決定して同二時三十分散會した

十二月二十日午後一時政務調査總會▲同二十二日午前十時幹部會合▲同零時三十分黨務員會合▲同二時議員總會▲同引續き代議會院內役員選擧、下院議長候補者推薦、常任委員及び委員長候補者選擧

八千代生命

日華萬歲生命へ包括移轉

【東京十九日發電】八千代生命保險は十九日午前九時より工業クラブに臨時總會を開き保險契約全部を日華萬歲生命保險に包括移轉の契約に關する件を附議原案可決、一方日華萬歲でも午後三時より本社に臨時總會を開き同樣の決議をなした、斯くて八千代は同日より向ふ二ケ月間の解約手續その他一切の停止を行ひ直に商工省に契約移轉の認可申請のはずで移轉實施は明年三月頃ともなる

相の方寸に一任される筈である

わが小幡公使の着任を拒絕

國務會議で正式決定

【南京十九日發電】本日の中央政府國務會議は日本政府の申出たる新駐支公使小幡酉吉氏は不適任者なりとして日本政府に向つて正式に拒絕するに決定した

小幡氏反對運動

王正廷氏反對の反射的行動

【上海特電十九日發】新駐支公使小幡氏に對し支那側各團體は最近猛烈なる反對運動を行つてゐるが小幡氏に對する支那側のアグレマンは其後も發せられず、我が當局では上村南京領事をしてこれが督促をなさしめた結果、支那側でも最後の肚を決したもの如く外交部消息によれば國民政府では小幡氏の公使任命に同意を與へざる事に決定し此旨回答せしむべく外交部に命じたと、支那側ではこれに關し小幡氏に對する民衆團體の反對に鑑み我當局が自發的にアグレマン要求を撤回せん事を期待してゐたものであるが、我當局がその擧にも出でないので右の態度をとるに至つたものであると云つてゐるが、一般有識者方面にありては小幡氏に對する民衆の反對運動は王正廷反對の反射的行動であると觀てゐる

愈よ王正廷氏辭意を固めたか

小幡公使問題で更に苦境に 十九日、突然上海に現る

【上海十九日發電】小幡公使のアグレマン臨時法院問題等で近來頗る苦境に陷つた王正廷氏は愈々辭意を固めたもの如く、今朝突如南京から上海に來た王正廷氏は、露支交涉失敗以來再三辭意を洩らしその都度慰留され今日に至つたが、小幡公使に對するアグレマンにつき輿論に鑑み、之れを拒絕すべしとする政府側の意見と又合はず愈々最後の決心をしたらしく今朝上海驛に迎へた記者に對しても頗る不機嫌で知らぬ會はぬの一點張りで自邸に姿を消した

分東京驛發午後三時横濱出帆淺間丸で桑港へ向つた、大將一行は歐米各國海軍を觀察した後來春四月歸國の豫定である

東鐵支那側幹部の總辭職決意固し

新局長着任と同時に

【ハルビン特電二十日發】東鐵管理局の范其光氏以下はロシア側新任正副管理局長が赴任し來れば辭職すると非常な決意を示し依然支那側の態度強硬である

東鐵復舊期

年內に實現困難か

【ハルビン特電二十日發】露支基本豫備交涉が圓滿成立すれば五ケ月に亙り閉塞されてゐた東支の東西兩部線は當然開通し聯絡することになるであらうが、西部線はハイラル以西に蒙古、タタール混成軍が守備してゐるので正式會議が終了するまで其守備を解くまいと見られ從つて西部線の連絡は東部線よりは幾分遲れるであらうと、尙東部線の開通は現在のハバロフスク豫備會議の經過からすると本年度內にはどうかと杞憂されてゐる、又ハルビン浦鹽間の長距離電話の開通は未だ一般的には通じてをらぬ

東鐵收入を軍費に流用

問題とならん

【ハルビン特電二十日發】露支紛爭の七月十日以後東支の收入中から護路軍經費として遼寧省政府は三百萬元の支出を求め呂榮寰氏は二百萬元を委付したが郭福綿督辦代理は今回百萬元を現送した右は交涉解決後露支折半に對し內部的

對露問題で各縣當局に通令

【奉天特電二十日發】翟主席は十九日各縣知事、各縣公安局長に對し對露問題は政府當局に於て萬全の策を以て善處するから省民は安んじて業に就くやう、又此機に乘じ共產黨員の擾亂計畫を爲すものの問題となるであらう

杜大將渡米

【東京二十日發電】來朝中の支那海軍大將杜錫珪氏一行は西地方の觀察を終へ二十日午後零時四十

露支交涉又も停頓か

双方の意見一致せず

【ハルビン特電十九日發】ハバロフスクの露支交涉は軍備縮小問題拘禁者の釋放等に意見相違して停頓の樣子である、莫德惠氏は交涉全權を辭し前途險惡の模樣である

滿洲の將來

太平洋調査會の反響

(6)……保々隆矣

ジョージ・ブロンソン・リー氏の正論

米國の代表委員は最大多數であつた。此等の人々が母國に於て筆に口に論ずるのは今少しく後でなくては吾人に判らぬのである。今日迄の處では京都から歸還したものを手輕に論じてゐるのみであるが、それを例外なく松岡氏の所論を是認して居る、兎に角此英米の影響は明年正月以後の有力雜誌に散見するであらうから其折改めて此稿は今少しく立派なものにしたい筆者の考へである兎に角今日迄に筆者が讀んで非常に面白く感じたのは上海ファー・イースタン・レビュー十一月號のジョージ・ブロンソン・リー氏の二大論文である今その大要を紹介せうと思ふ。

リー氏の第一文は先づ本會議の非公開なるを非難し、これを國際問題の解決の實用に役立つ樣になすべきを述べたる後米國の理想家連中によつて創設された國際機關が僅かに四ケ年間に「滿洲は何國のものだ」と言ふことを論議し決定する程度迄發達し得るとすれば、向後數年にしてメキシコ市やパナマやリマ又はサンチヤゴでパナマ運河は何の國のものであるかとか又はニカラガと我國(米國)との間の諸條約の效力如何?を決する樣になるのも考へられぬ話ではあるまい

太平洋調査會が滿洲問題を徹底的に調査するため米國の夫々專門家を雇入れることが正當の事であると言ふなら、同一の筆法で此調査會が日本、英國、其他諸國の調査員から究局米國の爲めになるからとて其費用の支拂を要求されてもよい譯である又米國の議會が米國の事件を彼是と論議されることを好まぬなら他から種々研究されたり報告書を書かれたり、する回章をまわされたりすることを差止めぬ理由はなからう、如何に良く組織されて居る國際的機關であつても米國はパナマ運河やニカラガなどを今に論議するため會議が招集されることを好まぬのである。然らば日本が滿洲に關する諸種の紛糾問題を白日の下に曝される樣な本會議に喜んで出席するのは如何と言ふにこれ實は日本人の傳統的謙遜むと並に滿洲に於ける自己の立場を正當なりと確信して居るからであるけれども若し日本がメキシコ問題について非常に興味を有ち日本の大學教授連や法制專門家をラテン、アメリカ諸國や宗教諸國へ研究調查の爲め派遣し、北方の巨人(米國のコト)との相違を報告するとせば、吾人米人は到底此事に辛抱が出來まい、日本の京都に於ける態度を永久に續け、會議の有效なることを認めると考ふるのは極めて怪しい話である、京都會議は非常な過失の產物であるが、兎に角會議そのものは或見地からすれば成功であつた、自覺しては居ないが米國では同樣に、米國の重要なる諸政策に國際的差出口が容れられる樣になる端緒である。筆者も極めて同感であつて滿洲問題が此上歐米人から彼是論議されるなら吾人も中米の問題を本會議で討論すべしと主張するものゝ一人である(つゞく)

頭から反對されて稅務委員會お流れ

近く招集の諸委員會の運命如何 市當局はドウ出る

大連市稅務常設委員會は十九日午後市役所にて開かれ定員十一名中有馬、野本、大西、佐多、高橋の諸議員、森田武雄、田中喜介の七氏出席した、然るに諸議員は石本市長を信任せざるが故に市長提出の議案を審議する要なしと主張し且つ招集後一日間とは困難であることを指摘した、これに對し細谷助役は一日の審議では結了困難と信じたので第一日は議案の說明を專らにする豫定であつたと述べたが、議員の主張強硬で十數分間にして流會した、なほこの狀勢より推せば近く開會の豫定であつた學務、社會、衛生の諸委員會も流會に陷るものと思はれるそれで市當局が果して豫定通り招集するやは疑問とされてゐる

決議意見書と石本老市長

理由を示して再議に附すか監督官廳の指揮を仰ぐか

既報の如く石本大連市長は市會決議の意見書を違法のものとなし直に市長自らの意見に依り理由を示して之を再議に附することになつたと傳へられてゐるが、當の市長に目下のところ右の

意思なし

といつてゐる、然し市制第二十一條には

市會又は市參事會の議決又は選擧其の權限を超え又は法令若くは會議規則に違反と認むるときは市長は其意見に依り又は監督官廳の指揮に依り理由を示して之を再議に付し又は再選擧を行はしむべし、其の執行を要するものに在りては之を停止すべし市會又は市參事會の議決公益を害し又は市の收支に關し不適當なりと認むるとき亦前項に同じ監督官廳は前二項の議決又は第一次の選擧を取消すことを得

とあるので意見書を承認せざる以上、市長自ら其の意見により再議に附するか又は監督官廳の指揮に依り再議に附すること、なるであらうが

市當局で

は何れの方法を採るかは愼重考慮を要するものとして決定までには數日の日子を要するであらうと見られてゐる、これに就て意見書を承認せざる以上直に再議に付すべしと說くものもあるが、規則には期日を定めてゐないので市當局では多少の日子が經過するも差支へなしと解釋してゐる

布哈圖以西は全滅の慘狀

支那兵の掠奪に遭ひ

【ハルビン十九日發電】免渡河より來哈した邦人の談によると布哈圖以西の鐵道沿線の被害は全部支那兵に掠奪され教會、病院、小學校その他掘立小屋に至るまで燒き拂はれ全滅の態である、荒狂ふ支那兵を恐れて住民は百二十三キロに亙り長蛇の列を爲し徒步で避難した始末で酸鼻を極め、支那兵の掠奪品は百八輛に滿載されてゐるハイラルの住民內外人一萬の消息は依然不明であるが、同地も支那兵の爲めに滅茶々々に荒されてゐるであらう

支那側は武力で驅逐の方針

呼倫貝爾の蒙古軍

【ハルビン特電二十日發】海拉爾以西滿洲里に至る地帶を蒙古軍が守備してゐることは事實で之が呼倫貝爾の獨立に對して如何なる役割を勤めるかは今後に殘された問題であるが、ハバロフスクの露支豫備交涉に於て支那側は右に對して勞農側の責任ある回答を求め其結果如何により解決すべきであるとの輿論が支那官憲側に起つて來た、若し勞農政府が全然關知する處でないと聲明するならば支那は蒙匪を掃蕩せねばならぬと言ふのである、從つて問題は露支兩軍の軍事的解決に俟つより方法がないのである、東北第二軍胡毓坤氏の部隊が興安嶺に據り撤退せぬのは哈府に於ける本問題交涉の結果により直に軍事行動に出んとする準備行爲であると見られてゐる

內蒙古青年黨が暴動を畫策

赤露に煽動されて

【奉天特電二十日發】露支紛糾を機として內蒙古青年黨約二千名は赤露の煽動を受け暴動を畫策しつゝあるため蒙古生は達爾漢王府に參集し之が對策を講じてゐることは既報の通りであるが、內蒙古に在つて暴動を畫策し其火の手を揚るやうになるとすれば、東北省としては重大事件で之がため曩に內蒙古の懷柔策を執つてゐるが、張學良氏は十九日目下奉天に滯在中の班禪活佛と會見し二時間に亙り對策を講究した結果內蒙古と提携して該暴動を阻止することとなつた

關東廳辭令(十八日附)

從七位勳六等 加藤知正
從七位勳七等 中村廣喜
從七位勳六等 細萱庫三
從七位勳六等 青木對一

任關東州小學校訓導

敍正七位(各通)

高尾賴信

敍從七位 正八位勳八等 伊佐逸
田村稻美
矢口清藏

關東廳翻譯生 小柳仁
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず

敍正七位 從七位勳八等 長谷川鐵郎

關東廳遞信書記 從七位勳八等 長谷川鐵郎
任關東廳遞信副事務官
敍高等官六等七級俸下賜
遞信局勤務を命ず

陸軍三等軍醫 正八位 玉置周介
任關東廳醫院醫官
敍高等官七等八級俸下賜
旅順醫院勤務を命ず

任關東廳屬 長島喜吉

通信書記 木邑荒雄
大津チエ

內地各地間は無線電話で通話

來春遞信省で試驗

【東京廿日發電】遞信省では豫て岩槻無線電信所で試驗交信中の英國ラグビー局と滿洲局間の無線電話を完全に傍受し得たのにヒントを得て我國でも長距離無線電話試驗をなす事に決定し來春早々目下遞信省で設計中の送信機受信機の出來上るを待ち岩槻に受信機を北局に發信機を取りつけ交信試驗を開始し愈々之が成功すれば我國の全局に無線電話機を取りつけ有線電話と同樣に通話料金を取つて一般に通話させる計畫で愈々之が實現すれば樺太の果から臺灣の隅まで自由に通話が出來る譯である

明年度各植民地特別會計豫算

關東廳二千二百餘萬圓

【東京十九日發電】各植民地特別會計昭和五年度豫算は愈々二十日の閣議に上程のうへ決定されるが各植民地豫算總計は經常部三億一千三百五十九萬四千圓、臨時部一億十六萬六千圓、計四億千三百六十六萬圓で、これを本年度實行豫算に比し經常部にて千九百三十九萬七千圓を增し、臨時部にて二千十七萬一千圓を激減し差引七十七萬四千圓を減じてゐる、各植民地別豫算を示せば(單位千圓)

朝鮮總督府	經常部	一八六、五六七
	臨時部	五二、一八五
	計	二三八、七五二
臺灣總督府	經常部	八六、一一五
	臨時部	三〇、四四七
	計	一一六、五六二
關東廳	經常部	一七、六九五
	臨時部	五、二一七
	計	二三、九一四
南洋廳	經常部	二、六八七
	臨時部	一、一六七
	計	四、八五五

補充金と公債發行計畫

【東京十九日發電】各植民地特別會計明年度豫算に於ける補充金、公債發行計畫は左の如く決定し借入金は全部中止された

補充金

朝鮮	一五、四七四、
關東州	四、〇〇〇、〇〇〇
樺太	一、六〇〇、〇〇〇
南洋	一、〇〇〇、〇〇〇
合計	二二、〇七四、〇〇〇

公債發行計畫

鐵道	四一、〇〇〇、〇〇〇
朝鮮	一二、五〇〇、〇〇〇
臺灣	一、五〇〇、〇〇〇
關東州	五〇〇、〇〇〇

大連處女會報を添ふ

人連が不平等の社會待遇を要求するため雄々しくも街頭に飛び出した▲其發會式が去る十六日聯立十三小學校で舉行された▲席上何季秀女史が議長に推戴され不平等條件の撤廢を金切り聲を張り上げて絕叫した▲之で久しく傳統の暗黑世界に押こめられてゐた北滿の地にも男女同權の萌芽が生えて來た譯だ」と、哈爾賓國民黨部の聲援に支那婦位に置かれいつも奴隷の相手役として禁閉のうちに閉ぢ込められてゐるのは「不平等の社會的地

時事 定期後場(銀建)

▲大豆(混保)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
一月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
二月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
三月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
四月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

出來高 百六十九車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(混保合)

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
二月限	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
四月限	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

出來高 四萬枚

▲豆油(混保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

出來高 一千箱

▲高粱(混合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
一月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
二月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
三月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
四月末	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

出來高 百十六車

▲包米 出來不申

現物後場(銀建)

	寄付	大引
大豆(混保)(撥物)	六五六〇	六六〇〇
出來高	三十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二一九〇	二二九〇
出來高	六千枚	
豆油	一八一〇	一八一〇
出來高	六百箱	
高粱	四四七〇	四四七〇
出來高	二車	
包米	出來不申	

錢鈔 定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
遠期	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

出來高(遠期) 百七十七萬五千圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	［illegible］	［illegible］	［illegible］
二時半	［illegible］	［illegible］	［illegible］
三時半	［illegible］	［illegible］	［illegible］

出來高(銀對金) 六十四千圓 (銀對洋) 一萬四千圓

商品 後場

麻袋(低落) 銘柄 約定期 値段 枚數
鐵筋 延二月末 二九九 一〇
出來高 一萬枚
棉糸布、麥粉(出來不申)

滿洲日報

市長と市會の爭ひの骨子
所謂有給市長案

市長と市會との啀み合ひの連鎖劇、それは大連市といふ大きな映寫幕に映つた悲喜劇で、これを見せ付けられてゐる市民こそいゝ面の皮である。理窟はどつちにもあらうが、不適任と知りながら現市長を推選した市會も不眞面目であれば、それを認めながら、之れに處すべくその措置を誤まつた市長も市長である。監督官廳たる關東廳がこの取組みにどんな裁きをなすかは、大連市民の目を刮つて注視してゐる所であらうが、この見苦しい啀み合ひに對しては、餘ほど愼重な態度を以て臨まねばなるまい。そは兎に角、大連市紛擾の骨子となつた有給市長案については、一通りこれを檢討しておく必要があらうと思ふ。

◇

有給市長案が何ゆえ爭ひの骨子になつたかと云へば、それは大連市會が市長の第一候補として推選した貝瀬謹吾氏の公民權資格について問題を生じ、關東廳がその資格なしとして市長の再選を餘儀なくせしめた時、已にその端を發したものと考へられる。關東州市制に據れば、市長は名譽職となつて居り、名譽職たる以上、二年以來市民たるもので市の直接市税を納めたもので莫ければならず、第一市長に選ばれた貝瀬氏はその資格を缺くといふ事になつて、市長再選の結果、第二候補者たる石本鏆太郎氏が市長に選ばれたのであるが、その折、市會の內にも、市民內にも、名譽職たる公民權の資格に對する解釋がさやうに狹義では困るとあつて、有給市長の必要が唱へられたのである。

◇

名譽市長がいゝ乎、有給市長がいゝ乎、人各々見るところがあらうと思はれるが、右のやうな經緯で、大連市會に有給市長の問題が生じたのである。有給市長とすれば、大連市において公民權の資格なき者でも市長に推選することが出來、適任者を廣く物色することも出來るわけで、內地の東京その他には、元と滿洲に在りて滿洲の事情に通じた人々が相當にゐるから、それらの內より市長を推選することも出來る。財政の貧弱な大連市が有給市長でもあるまいといふ說もあるが、有給市長にしても、現在の名譽市長に報ゆるところと大差あるわけではなく、市財政のうへに困難を來たすやうなはない筈だ。大體斯やうな經緯によつて有給市長案が市會の問題となつたのであつて、それは決して不自然なことで無いのみか、大連市の自治市政の實績を擧げる上からいつても、大連市以外よりも廣く市長の適任者を物色し得る方が好いやうに思はれる。

◇

この有給市長案なるものが、市長と市會との間に公約か將た私約かについては、玆にその論評を避けるゝにするが、この問題が骨子となつて、市長と市會との暗鬪劇が繰返され、市民の眉を顰めしむる事になつたのは、何としても遺憾な次第である。この點に關しては、名譽市長の資格に形式的理論に偏した解釋を下した關東廳にも責任がある。大連市を現在の如く紛擾の巷としたのは、それが發端であるから、市長と市會との啀み合ひが絕頂に上つた今日、これを既往に鑑み、監督官廳たる關東廳はこの裁きを愼重にせねばならぬ、といふ輿論もある。市民の聲がどの邊にある乎、健全なる市民の輿論はどんなものである乎、市長や市會の意見を虛心に聽くと同時に、關東廳は大連市民の全體に亘つてその市民の意の動きを能く注意し、いよ／＼監督官廳として發動權を要する場合は、重ねて大連市に現在のやうな見苦しい爭ひの發生しないやう、周到なる用意を拂つて、その善後策を講じてもらひ度いものである。

◇

市制第六十六條によりて市長はこれを有給とすることが出來るのであるが、市會はその發案權を有せざるため、公約か、私約か、いづれにしても之を市長に求めたのであらう。然るにそれが問題となつて遂に今日のやうな醜惡な場面が展開されたのである。斯うして市長と市會の啀み合ひが絕頂に達した以上、尋常の手段でこの縺れを解くことは不可能であり、甚だ不名譽な事ではあるが、關東廳によつて手際好く裁いてもらふの外あるまい。現在のまゝでは、市長は市の執行事務を圓滑に運ぶことが出來ず、市の事務は澁滯し、折角勅令によつて成立した市制に傷をつけ、不名譽の上に不名譽を重ぬるゝになるであらう。

米大統領夫人へ日本人形

フーバー大統領の就任當時お祝ひとして日本少年赤十字團からコロムビア州少年赤十字團を通じて大統領夫人へ送つた可愛らしい日本人形の贈呈式は過般白堊館內に於いて行はれた、寫眞は向つて右よりコロムビア州少年赤十字團長アルバート、トムソン氏、秘書マーガレット孃、捧呈者コロムビア大學生土屋孃

蓮江口の現狀
日支關係は極めて圓滿
笹本氏歸哈して語る

【ハルビン發】松花江下流——鶴立崗炭礦經營に蓮江口から三日間を要し自動車で漸く十八日午前八時歸哈して笹本氏は、同方面の狀況に就き語る。

振昌製粉工場の機械据付のため三ケ月前工場主と契約し蓮江口に向つたが、ラハスス、富錦方面に**赤衞軍が**襲來した時、蓮江口の支那人等は一樣に脅威を受け三姓方面に避難するもの多く、振昌洋行の支那人も身邊の危險を感じ日分を捨て驚いて三姓に逃げたとかいふ工合で非常な恐慌を來し人心に動搖を與へた自分は日本人であるから別に露軍が攻擊して來ても恐れることはないので工場の機械据付を繼續し萬一の場合には日丸の旗を立てゝ最後の防禦とする覺悟であることを支那人らに說明してやつたが、日章旗を期待することは自國の軍隊よりも力強く感じてゐた、それ程支那軍隊に對する露軍の襲來に信頼をしてをらぬことが窺はれた、蓮江口には**約四千の**支那人が居住してゐるが、日本人は一名も居らない、機械は無事据付を終つたので自動車で三姓から方正縣に出で山間僻陬の地を迂廻して東支東部線烏吉密に出で漸く歸哈したのである、三姓には由北軍約一[illegible]が到著し一時は日本人料理店は彼等のために荒され全部日本醫院に避難したが司令部から嚴重な命令が出て一日で止んだ、今は平常の通りに開業してゐる、本月十五日には支那側司令部から在住日本人の主なるものを招待し一夕の懇親宴を催した程で、日支關係は非常に圓滿で支那軍隊も秩序を保ち補兵だけに守備も嚴重であつた、この分からみると假令露支和平交涉が**圓滿成立**しても果して同地の軍隊を撤退するかどうか疑問である、なほ松黑沿岸は年々開拓され製粉工場も今後各所に創立されるであらう、黑龍江省蓮江口の如きは附近一帶小麥の產額多く製粉業は將來有望である、同地、富錦の露軍襲擊は支那側に對して十二分の威力を示したことは勿論であつた

拘禁露人の釋放
支那側では準備を終る

【ハルビン發】露支原狀恢復の曉は當然双務的に拘禁者の釋放を行ふ筈で、支那側は張行政長官の命により傳家甸監獄に收容中であつた八十九名のソウエート國籍人を全部松浦鎭に十六日一括して收容したが、蔡康廳長は至急拘禁露人の**犯跡を調査**せしめ哈府に於ける蔡運升、メリニコフ交涉の解決を俟つて直に釋放のできるやう準備を了へた、尙五月ソウエート總領事館襲擊の際逮捕した共產黨員三十六名の問題については、ロシヤ側は政治犯人と稱するもので無いと强硬に主張し松浦鎭の拘禁者と同樣に無條件釋放を要求してゐるが、支那側は赤化宣傳の運動を工作せる秘密會議に參加したものなれば支那司法權に服すべき性質のもので既に公判に附したものは釋放することは支那政府の司法權の威信に關する問題なれば讓歩し難いと反駁してゐると云はれ結局何等かの**交換條件に**より國境外に追放され解決するのではないかと見られてゐる、又松浦鎭の拘禁者を釋放した後七月十日前の東支原狀恢復の原則により彼等を再び東支從業員として復任せしめることに支那側が同意するかどうかも問題視されてゐる、支那側として明瞭で政治犯人であるものは國境外に押送することを希望してゐる

何成濬の代理

【奉天發】何成濬氏代理鄭士九氏はこの程來奉し城內の中央ホテルに投宿してゐるが、その間北滿の別府に張學良氏を訪問し時局問題に關する東北省の財政その他外交等につき打合せをなしてゐる、猶一兩日の中歸哈する筈である

元氣づいた東支從業員

【ハルビン發】紛爭のため一應犧牲主義で連袂辭職したソウエート側の東支從業員及管理局、理事會其他の職員等は松浦鎭に拘禁され又は本國に歸還したものを除き大部分は——下級社員——哈爾賓に踏み止まり馬家溝附近に住んでゐるが、近く新任正副管理局長が着任すれば當然復活するので最近彼等は元氣づいて來た、其等一時失職したものでハルビンに殘留してゐるものは約三、四百名に達するであらうと云はれてゐる、待てば海路の日和で彼等は首を伸ばして正副管理局長の着任を待つてゐる

呼倫貝爾獨立を勞農援助か
西部線占領の眞目的

【ハルビン二十日發電】最近某所に達したる情報によれば、勞農軍の西部線の積極行動はその目的が露支紛爭の解決促進たるは勿論なるも勞農側は之により更に多年の計劃たる呼倫貝爾及び內蒙古一部の獨立を援助し外蒙古同樣之を勞農側の手中におさめんとしたものであつて現在勞農軍と內蒙古革命黨とは完全に連絡し何時たりともハイラル一帶を革命黨に占領せしむべく手筈が整つてゐることを支那側は前線よりの情報により之を知悉し居り目下極秘裡にその對策につき腐心中にして國際列車の運行を阻止したのも掠奪其他支那軍の暴虐の跡を隱蔽せんとするばかりでなく內蒙の獨立運動が列國側に知れ之を公表されることを恐れてゐる爲めであるといはれてゐる

日本へ經濟視察

【奉天發】城內總工商會では各商店の代表者卅餘名を選拔し舊正の休暇を利用して日本における經濟視察に赴かしめる筈である

八相

投書歡迎 新聞行數五十行以內のこと 中傷を目的とするものは採らず

三越店員に告ぐ
HM生

三越從業員に一言苦言を贈ります、今回大連署に擧げられた大萬引の一團は賠償に貴方等從業員を盲目に等しいと侮辱しました、大世帶の三越ですから年に二萬や三萬位の不明品豫算はしてある事でしやう、しかし日頃私等が買物に行きまして觀ましても從業員の私語や持場／＼に一人も居ない傳票とか品物を旬案に持つて行つた留守等十二分に注意して持場の品物は從業員の品物と思つて細心に眞劍に勉強して御覽なさい、たしかに賣藥の効能書以上によく治りますから、今回の萬引の蔭に於て市中の質屋では御宅の萬引以上に可哀相な店があるとの事、君等從業員の不注意、業務怠惰が引いては罪人を增す事にもなり、細かく云ふと刑事さん達に此の寒空を走り廻らす事にもなる、三越の人に御一考を乞ふ次第です

市議總辭職大贊成
栗金生

十七日の茂里端氏の所說「市會議員總辭職」勸說には双手を擧げて贊成する、現在の市議諸君にして多少の良心の持主であるとしたら自ら進んで市長に殉ずべきである。不良無能の市長を選出した當面の責任者は市議諸君ではないか、その市の運命現在の如しとして之が選出責任者たる市議諸君が爾ほ恬然として職に止るに到つては、その公人としての責任感を疑ふ以上に市議諸君の個人としての道德感の有無をすら危惧せざるを得ない。我等は善良なる市民の一人として市議總辭職を絕叫する之れなくして市政の革新を說くは百年河淸を俟つものである

南征雜錄 (64)
難波勝治

植民地建設 (下)

併し斯して建設された豐田村の前途も、決して平坦な者ではなかつた、鬼茅の一面に叢生した土地を開墾して、僅に植付けた甘蔗、陸稻、甘藷、粟は、鳥獸害の爲に殆んど收穫なく、鐵線を張り渡して防禦に力めた場所だけが被害を免れた位である、殊に大正三年七、八兩月の暴風雨や、八、九兩月の洪水の爲に

倒潰家屋 百四十戶に及んだが、總督府が九萬餘圓を投じて築造した水加石堤は、大正六年七八月二回の暴風雨の爲に、三百三十六間中の二百四十六間を流失し、耕地三十三甲歩を流れ、畢次の災害と負債の增加とに、人心悄々として停止する所を知らなかつた、併し工費五萬七千圓の防備工事成り、更に豐田圳を開鑿して水利を便するに及んで、漸く一般に安定土着の傾向を見るに至り、大正八年より十三年までの數年間に、豐田神社の基本財產設定、煙草耕作組合の創設、農事組合及

信用組合 の組織など完成されたが、用水涸渇して水田の灌漑に適せぬ結果、未だ食糧を自給し得る迄の農業なき狀態にある、同地は鹽水製糖會社の壽分工場に近接し、甘蔗の耕作販賣に便宜あるが爲めに、近年競つてこの方面に努力を傾注し、品種の改良、農業の進步と共に嘗て甲當り三四萬斤に過ぎなかつた收穫率は、今や十二萬斤を超過する好成績を示して居る、試みに昭和二年度末に於ける諸統計を見れば、戶數百七十九、人口九百六十二、其農作物收穫狀況

左の通り である（面積は甲步、價額は圓）

種別	作付面積	價額
水稻	三二七	五二、九二〇
甘蔗	三〇四	七六、一五七
煙草	一六	一四、二六七
甘藷	一八	四、六二〇
蔴	[illegible]	一三、六〇五
豆類	三三	一、四〇〇
果樹	二	七、七二〇
其他	二	八九二
計	五五[illegible]	一七一、五八六

此外勞役、肥料、雜收入として八萬七千八百二十圓あり、合計二十五萬九千四百六圓のうち、支出合計二十四萬三千六百九圓を控除すれば差引一萬五千七百九十七圓の純益だが、之を

一戶當り に分割すると

收入	一、四四九、一九
支出	一、三六〇、九四
純益	八八、二五

であつて、吉野村の現狀に比して耕地面積三分、純益百五十七圓六十五錢少ない勘定だ。林田村の創設は大正三年二月、恰も花蓮港築港竣工の期間の鐵道開通と相前後し、元鹽水港製糖會社の豫約賣下地を返還せしめて充當したのであるが、之が設備に就いては略豐田村と同樣の評價が與へられた、所が移手以後の事故も亦相酷似し、防禦、三年七月より數回に亘る風水害、四五兩年度の

大旱魃等 苦い經驗を繰返したが、最も悲慘な歷史は大正四年度の赤痢病發生と、マラリヤ、消化器病及び惡疫病の流行とであつた、前者は男六十三人、女五十四人の罹病中死亡者十三名あり、後者は人口約六百三十八人のうち、日々患者三四十名乃至百名、之が爲に死亡する者五十四名に達し、悲嘆と恐怖とに襲はれた移民脫除申請者、無斷歸省者を續出せしめたが、その後開墾の進捗、衞生設備の改善によつて、漸次發展向上の曙光を認めつゝある、試みに昭和二年度の

經濟狀態 を瞥見すれば

產收入	一七四、七五九
勞役收入	一七、二〇〇
副業收入	三、四〇〇
雜收入	一三、八〇〇
計	二〇九、一五九

之より支出十九萬六千六百四十圓を差引き、純益一萬二千五百十九圓、一戶當り平均七十五圓四十一錢を收得して居る【寫眞は豐田村に於ける煙草整理】

童話

なみだ(下)

瀨野皓太

その紙の中には、今朝方の美しい珠は一つだつても入つてはゐなかつたのです。そしてほんの少しばかり紙は濡れてゐたのでした。溶けたのだなと思ひました。溶けたにしては餘りに少ないぬれ様です。けれども、見えなくなつてゐるからには、とけて了つたのでありませう。

私はそれから、いろ〱と考へたのです。一體あれは何であつたのだらうと。

私は實に、その時思ひ出したのですが、一つだけ思ひ當る事があるのです。

それは昨夜の事ですが、私は少し夜がおそくなつて、淋しい池のふちを通つて家に戻つて來たのです。その時、丁度、あのベンチに腰を下してうつむいてゐる少女お嬢さんがあるじゃありませんか。こんなにおそい頃、何をしてるんだらうと思つて近づいて見たのです。

「何をしてるんです?」

そのお嬢さんは一寸私を見上げましたが、すぐに又もとの様にうつむいて了ふのです。ほんとうに美しいお嬢さんでしたが、少しばかり涙に頬をぬらしてゐるのが月明りにも見えました。

「何を泣いてるんです?」

やつぱりお嬢さんは答へません

「ね、こんな所におそくまで居らず早くお歸りなさいね」

私が斯う言ひますと、お嬢さんは、素直にうなづいて立ち上りました。

お嬢さんとは道が違ふので、そのまゝ別れましたが、私は昨夜は何故あの綺麗なお嬢さんが、一人で、あのベンチの所で泣いてゐたのか心配でなりませんでした。

ところが、今朝は同じベンチであの美しい十粒ばかりの珠を拾つたのです。

ひよつとしたら。そんなことを言つても皆さんはほんとうにはならないかもしれませんが、ひよつとしたら、あの美しい珠はあのお嬢さんのものかも知れません。

若しさうだとすれば、一體あれは何の珠だつたかを思ふのです。

皆さん。これは私のほんの、考へだけですが、あれはあのお嬢さんの涙ではありますまいか。

でなければ、人の手で作られた何物でも、あんなに美しくはないと思ふのです。

乾度、あれは涙だつたんですよだから私が大切に藏つておいたのに溶けて了つたのですよ。

あのお嬢さんは、ちつともそんな事を知らないで、汚い地面の上に、それを捨てて行つたんですほんの暫くの間だけでも、涙はあんなに美しい、比べるものもない位ゐ立派な珠の姿で轉つてゐたのですほんとうに惜いじゃありませんかね、皆さんだつて乾度、さう思ふでせう。だから、もう決して無暗に、涙をこぼすもんじゃありませんよ。

なんて、今日は冷える晩でせう。もつとストーブに近づきなさい。

二ドメノ 大チヤンノタンケン (165)

ハルミチ作 ジラウ畫

クワイブツ ハ イマニモ ツカミカカリソウナ イキホヒデ 大チヤンノ ハウニ ジリジリト セマツテキマス。ブルハ ワン ワン ト ハゲシク ホエタテマシタ。

ウシロノ イワカゲニ カクレテヰル ダラスヤ オヒメサマハ ドウナルコトカト イキヲ コロシテ ヰマス。大チヤント クワイブツノ アヒダハ ダン ダン チカクナリマス。

ソノトキ 大チヤンハ「イマダ」ト バカリニ バクダンヲ ナゲツケマシタ。シカシ ドウシタ ワケカ バクダンハ ハレツシナイデ ウミノナカニ コロゲオチテシマヒマシタ。

鳥のやうに空をとぶ 飛行機の模型

このおぢいさんは有名なドイツの飛行機設計者ガスタブ氏です。ガスタブ氏は本年八十回目の誕生日を迎へました。手に持つてゐるのは鳥のやうに空を飛ぶ飛行機の模型です。

上り目下り目

中濤新一 (二)

◇

まいばんお話をして居るうちに、お話のたねがなくなつて困つてしまふことがあります。わたくしは、勝手に、とてもおもしろいお話をこしらへしてやります。でたらめのお話を一つ二つやつてみませう。

◇

赤ン坊(滿一年)に。

ババ ニ オイデ ウマウマチヤイ シテ、ワンワ、ワンワン ニヤーニヤ ニヤーオ、オソモ サムイ、オツパイママチヤイ シテネ、チコンキチヤンチヤンチヤン アンヨシテネ、ハイチヤイ ヰナイナイバア

◇

その上の男の子(三歳)

ムカシムカシネ、オヂイチヤント オバアチヤント アツタトサ、オヂイチヤンハ、ヤマ ニ キヲ コツツン コツツン オバアチヤン カハ ニ ヂヤブヂヤブ オセンタクシテルト ネ、カハノ ズーツト ムカウカラ ドンブリコドンブリコト ネ チイサナ クリ

ここまで話してくると、男の子はあはてて「チワウチワウ」といふ「チワウカネ、ナンダツケ」ときくと、得意さうに「オホキナ モモヨ」

ソウソウ、オホキナモモガ ナガレテキタカラ、ヨイショドツコイショト オバアサンハ オテテニモツテ オウチニカヘツタ、オウチデ オヂイチヤント フタリデ ホウテウデ チヤイシタラ、ナカカラ オホキナ ブタチヤンガブウブウナキナガラ、トビダシタ。

また「チワウチワウ カワイイアカチヤンガアワアワ」といふ

モモノナカカラ ウマレタカラ モモタロチヤン トナマエツケタ モモタロチヤンモ オホキクナツタカラ 日本一ノ キヤラメルヲ——

「パパ オダンゴヨ」といふ

ソウダツケネ、オダンゴヲ モラツテ オニガシマニ ヨイヨイヨイスルト ムカウカラ「ウマウマチヨウダイチヨウダイ ト ナニガキタツケ

「ワンワ」

ソレカラ

「オサルサン」

ソレカラ

「キジサン」

こゝからわたくしは桃太郎のうたをうたつてやりますと、ひきこまれて外の子もうたひ始めます。

「犬猿雉の三疋で、お供のはうびになにあげやう、日本一のきびだんご」

兒童の作品

年の暮

松林小學校四年 桂 武

月日の立つのは早いものでもう十二月の中ばを過ぎました。どこの店でも、大てい景品附大賣出し聯合大賣出しなどと書いた看板が出してあります。又混雑町には歳の市歳暮大賣出しなどと書いた飾松が並木のやうにずらりとならんでゐて、夜などは前より一そうにぎやかになりました。又連鎖商店がつい此の間から店を開きました。マネキンガールなどをやつて一そう年の暮をにぎやかにしてゐます。そうなるとほんとうに年の暮のやうな氣がします。ほんとうに年の暮の町は大へんにぎやかです。もうすぐ僕たち一番たのしいお正月がやつて來ます。

▷▷▷▷▷ 新刊兒童讀物批評 ◁◁◁◁◁

…大連讀物研究會發表…

旭はのぼる

安倍季雄著

今春滿鐵社會課の招聘で在滿の子供達に面白いお話を聞かせて行つたおとぎ話のおぢさん安倍季雄氏の童話集である。同氏は童話界のリアリストで話すのも書くのも常に好んで現實的な材料を選んでゐるが本篇も多分にさうした色彩を持つた材料が載せられてゐる。行文には同氏の話をきいて感ずると同じやうな冗漫さはあるが子供の讀み物としては上の部である。旭はのぼる、もぐらもちの先生、大空高く、松葉杖の飛行兵、飛出したライオン、喧嘩をしない小狐の話、幽靈退治、フランスだましひ、いなりや騷動などの話が載せられてゐる。程度四、五年以上製版二百十七頁、定價一圓三十錢、寳文館發行

米歐 ——ところどころ……(十) 古都ローマを さまよひて

阿左見稿馬

アペニン山脈の木の葉を揺つて流れ出たテヴエレ川、狼に育てられつゝこゝに辿り着いた二人の孤兒が造り出したローマの都。こうした傳說は遙かに見ゆる聖ペトロ寺や、近くの水面に影をうつせる寺廟など古き物語をのせて永遠に流れてゐる。さあれ橋上にゆきちて行き交ふ人々の姿を見出す時、それは又何と淋しい現實のうごめきであらう。

高松宮、御納采の御日取を御治定

初春一月十七日行はせらる　十九日宮内省公表

【東京十九日發電】十九日午後三時十五分宮内省公表＝高松宮殿下御納采日時御豫定として左の如く御治定あらせらる

昭和五年一月十七日午前十時

なほ告期の儀および御婚儀日時は追て發表される筈

御調度品の御準備

【東京十九日發電】高松宮殿下と徳川喜久子姫の御婚儀の御準備は萬端皇太后陛下の御心添へを以て山中皇太后宮御取扱の手で取進められて居るが、姫の宮家に御持參の御道具中、紳桐二ツ重ね箪笥、對同小箪笥二十五棹は既にこの月初め御調製濟にて、時に高松宮殿下から喜久子姫に賜はる御結婚當日の五位の衣は宮内省中田御用掛にて御準備申上げてゐるが、來月末完成の豫定で緋色地に白の小菊模樣の小袿其の他も近く出來あがる御豫定と拜す

安住大連法院長殺しに求刑

華耀堂には死刑を　判決言渡し廿八日

今春二月十四日獅子窩に於て現場檢證中の前大連地方法院長安住時太郎氏を射殺した兇賊の一味（華耀堂隋禦氏、隋德長、隋德臣、隋李氏隋孫氏（二三）、隋孫氏（二〇）、丁學彦、王恒久）に係る殺人、犯人隱匿、銃砲火藥取締規則違反事件の公判は十九日午後二時五分より大連地方法院一號法廷に於て、森本裁判長係り本間小田兩判官陪席高井檢察官干與のもとに開廷、檢察官の

論告に　先立ち裁判長より被告王恒久に就いて同人の拳銃及び彈丸實買の經緯につき一應取調べを行ひ、終つて高井檢察官より今更ら犯罪事實は述べるまでもなく法廷に於ける取調等にて明白となつてゐるから詳しくは述べぬが被告華耀堂に就いて一言すると前提し

被告華耀堂は公判にて殺人を否認するが同人は安住院長が射殺される際に同院長を

捉へて　ゐた事は事實で共犯として充分に殺人罪が成立する、隋劉氏は女として多少酌量の餘地はあり、以後改悛の狀も明らかであるが、自宅に馬賊の居るを知つて院長一行を連れて來たのは實に憎むべきものがある、當然殺人幇助と犯人隱匿との併合罪として罰せらるべきである

と說き更に犯人隱匿罪に問はれる被告に論告を進め最後に王には火藥取締規則の

重刑に　處すべきものとして左の如く求刑した

死刑　華耀堂（殺人罪）、懲役五年　隋劉氏（殺人幇助罪、犯人隱匿罪）、同二年　隋德臣（犯人隱匿罪）、同一年半　隋德長（同）、同一年　隋李氏（同）同隋孫氏（同）、同　隋孫氏（同）、同丁學彦（同）、同六ケ月　王恒久

（銃砲火藥取締規則違反）

檢察官の求刑終つて、立川官選辯護人は先づ被告華のために

辯護し　て宗教問題より論を起し「被害者の冥福のために死一等を減じてほしい」と說き、更に隋劉氏のために「女の中でも支那の女は時に男から强制されがちであるから」と情狀酌量を希望して着席し、松谷辯護人は隋孫氏（二〇）のために無罪論を主張し河内山辯護人は王のために辯護して本人は專ら馬賊逮捕の賞狀ももらつてゐるし既に未決で永い事苦しんだから罰金刑かせめては執行猶豫に御願ひしたいと結んで着席、かくて森本裁判長は來る廿八日判決の言渡しを行ふ旨を告げて同四時十分閉廷した

大阪、福岡間の空輸水上機で

明年一月十五日から開始する　愈よ設備完成して

【東京十九日發電】日本航空輸送會社では本年度について定期航路中の大阪、福岡間を陸上機により一週六往復、水上機により三往復經營豫定のところ、水上機輸送は飛行場設備整はぬため止むなく全部陸上機を使用して居たが、一切の設備完成したので愈々明年一月十五日から水上機による空輸も開始に決定し料金は三百五十五圓である

小橋前文相不起訴理由

午後歸宅を許さる

【東京十九日發電】小橋前文相に係る瀆職嫌疑は十八、九兩日取調の結果につき十九日午前司法首腦部にて協議の結果不起訴と內定した、即ち竹三吾氏の陳述に依り二萬圓收受瀆職の嫌疑あつたが、小橋氏は直ちに不德を恥ぢ職を辭したるにつきこの點も考慮し不起訴の內定を爲したわけである

【東京十九日發】小橋前文相は午後三時半歸宅を許された

滿鐵特別賞與

滿鐵の本年下半期特別賞與は既報の如く廿日それぞれ各關係箇所庶務係から封筒に入れ職員及び一部囑託等に渡されたが、給額は例年の通り本俸八十圓に滿は十割八十圓以上十五割見當であつた

東京市疑獄關係者が獄中で看守を買收

小川平吉氏らの間も疑はる　大々的に證據湮滅

【東京二十日發電】東京市大疑獄は今や決算期に近附いたが、突如奇怪なる看守買收と大規模の證據湮滅が發覺し疑獄の

大立物の　三木武吉の愛妾でかつて待合松ケ枝料亭ぽんたの經營者洲藤タケは十九日檢事局に召喚、批杷田檢事の取調を受けた上司夜證據湮滅罪として起訴大塚豫審判事の訊問を受け市ケ谷刑務所に收容された、これがため最に同刑務所看手たりし市外板橋町金森久助（四二）も既に十七日夜瀆職罪で起訴前の强制處分に依り收容された、今後も續々關係者の召喚を見る形勢で右事件は市疑獄に

連坐した　市會議員連が收容當時看手たりし前記金森が關係者から買收され刑務所と外部との聯絡を圖り證據湮滅のため働いた事實の發覺と云はれ其の發覺は十七日金森の自白に依るもので其の供述に依れば驚くべき大規模の證據湮滅事件で相當知名の士も關係ある模樣で意外の方面に展開すべく金森は私鐵疑獄の小川平吉氏とも其の取り卷き連とも關係ありと云はれ當時收容中の春日俊文氏とも聯絡を執つたが、其の背後には前警視廳高官及び

政界著名　の士の策動さへありと云はれ其の成行次第では非常な問題となるであらうと見られてゐる

曲藝團に投じた少年漸く歸る

上海から奉天丸にて

此夏無斷で叔父の家を飛出し當時電氣遊園下で開演中であつた天野曲藝團に身を投じ流れ流れて上海に行つてゐた市內惠美須町東市平方古城榮介（一五）は叔父東の懇命の搜査の結果、漸く上海に居住してゐる事が判明したので上海總領事館に保護送還依賴中のところ十九日入港の奉天丸にて久しぶりで歸つて來た

梅蘭芳の來演日取り決る

來る廿九日から協和會館で　永善舞臺にも出演

豫て中日文化協會主催で大連で公演すべく交涉中であつた梅蘭芳一行卅名は愈々廿八日北京より陸路來連し翌廿九日より明春元旦まで四日間滿鐵協和會館（特等七圓、一等五圓）次いで三日間與町永善大舞臺にて都合一週間の興行を行ふことゝなつた

福昌華工募集の苦力

五百名の中僅か四十名着連

凶作に次ぐに凶作、荒天に次ぐに荒天、かてゝ加へて埠頭は今苦力不足の惱みに打ちのめされ、直接その衝に當つてゐる福昌華工では船會社側からの矢の樣な催促と故任出來ない狀態から、さきに苦力頭を山東各地に派し苦力募集に懸命であつたが、十九日入港の奉天丸で青島に募集に行つてゐた苦力頭王殿山が四十六名を引率して歸つて來た、聞く所によると福昌が新しく募集しゐる苦力數は約五百名だと

不景氣に頓着なく巾利きの子供のお友達

おもちや屋の裝飾窓を賑はす

師走を行く　(19)

緊縮節約の春の家庭は「子供正月」で過すにふさはしいと、善良なるパパちやんが多からうことを見越した市中玩具店では、驕陶しい他店の不景氣風に頓着せず、師走の仕入には例より却つて威勢のよい注文ぶりを示してゐる——惠まれたる子供達よ……。

◇

だが、門松のかげに振袖姿ゆかしい娘たちの追羽子や鞠つきも思ふほど出來ず、初春の空高くタコのうなりも聞かれぬ滿洲の正月は戶外遊びよりは自然室內遊戲がさかんに行はれるところから、正月につきものゝ羽子板、手鞠、タコ獨樂の如き玩具は他の玩具に比して、どの玩具店でも至つて少數しか仕入れない。

◇

その羽子板も、買手は子供ある家庭への贈り物とするものが多く値段は燒繪の一圓內外から押繪の三十圓ぐらゐまで、三圓位のものが最もよく賣れる、大阪製は總じて安いが押繪物となると何と云つても東京製でないと納まらない。

◇

羽根はムクロ五個串一本十錢、セルロイドのピンポン球に羽根つけたやうな新工夫もの三個串二十五錢、然し昔の羽子板に響く音からして、羽根は矢張りムクロを球としたものでないと、傳統的な正月氣分が現はれないさうだ。

◇

紙タコも武者繪もの、とんびダコ、唸りダコ、奴ダコの數々が陳てついたショーウインドーの隙間から師走の街を通る坊ちやん方を覗いてゐる、値は二錢から九十錢くらゐまで、糸は十間もの五錢まで、二十間もの十錢。

◇

男の子は五六歲まで木細工の自動車、電車を好み、七歲以上になると螺旋仕かけのこみ入つた玩具でないと納まらぬが、女の子は十歲以下は臺所道具に於てお臺所道具を欲しがる通り相場をもつてゐるさうで、おまゝごと道具の次ぎには矢張り人形が一番嬢ちやん方に喜ばれるさうだ。

◇

かるた類は百人一首といろは歌留多を兩端とし次から次へと新らしく工夫されるものが迚も多くその他積木、寄せ繪類の教育向々と銘打つた類のものだけでも數十種が店頭に並んでゐる、この頃の子供は平凡な玩具では滿足せず、何んでも新奇なものを狙ふ傾向なので、製造元も新案特許物をそつのけにしてひたすらお子供衆の玩具に對する趣好嗜好に異常の注意を拂ふ時代になつたさうである。（は山口玩具店の正月玩具）

緊縮標語の當選者

年內に發表

滿洲公私經濟緊縮委員會が募集した標語は、應募者五百十二名標語句數約一萬に達し、中には頗る優秀なるものもあるが最近漸く整理がついたので委員會では廿五日まで幹事を審査委員とし審査し年內に發表入賞者にはそれぞれ規定の賞金を贈呈する由

學校紛擾の對策研究

主事會議開催

【東京十九日發電】最近頻々として起る學校騷動に就き文部省は非常に頭を惱まし何等かの適法を講じ之れを防止したいと目下具體案を考究中であるが、之れに關して各學校の思想的傾向の實際並にそれ等の意見をも聽取するため十九日午前より三日間全國直轄學校學生生徒主事會議を開き對策を講究する事となつた

小笠原丸が活動開始

海底線を修理

佐世保、青島間海底電信は今朝七時障碍のため不通となつたので當地遞信局では大連、芝罘間海底線を青島に延長し內地、青島間着電報を大連局で臨時中繼することゝなつた

又佐世保、大連間海底線改修のため派遣されたケーブル船小笠原丸は十三日以來天候不良のため港外に避難中のところ昨日入港新炭補充の上今朝現場に向つたが今日中には工事を終了する豫定である

岸上博士遺骸

十九日上海着

【上海十九日發電】我が對支文化事業の傷々しき犧牲となり四川の成都で客死した岸上老博士の遺骸は一月餘を經て漸く本日日清汽船大吉丸で當地着、當地文化事業支部に安置し明日重光總領事主催の告別式をなしたのち茶毘に附し博士の二遺族が之を携へ二十二日のパリー丸で日本に向ふ筈である

岸田劉生氏

德山で客死す

岸田劉生畫伯は過般滿鐵の招待により來滿各地を行脚し去月廿七日大連發歸京の途に就いたが途中にて發病德山に下車して靜養中のところ十九日遂に逝去した旨滿鐵に通知があつた

小崗子署武道納

小崗子署では廿日午後一時より同署振武館において本年度武道納會を開き柔劍道の紅白試合を行つた

けふのラヂオ

昭和四年十二月廿一日（土曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後七時

一、ニュース

二、ハーモニカ

三、義太夫（合邦）太夫山口勇、三味線榮近松、鶴澤叶次郎

四、八雲琴合奏（黑髮をりて行く）唄、三味線田中しげ、八雲琴港コマ

五、箏曲（紅葉）箏地渡邊富溪、箏本手伊集院夫人、同渡邊夫人、尺八矢和榮一郎

六、支那唱（拆西廂）唱王桂寶

七、附付徐月亭料理獻立

八、天氣豫報

愛慾の窓 (194)

戸川貞雄 作
浅枝次朗 畫

審判 (四)

神戸行急行列車の二等車輛の坐席の一隅に、髮をぐるぐると束ね髮にした、白粉氣の全くない、にもかゝはらずくつきりと透きとほるやうに色の青白い、一見病み上りかと見える婦人が、ぢつと坐つてゐた。黒い天鵞絨のコートを着てゐる。そしてその傍らには、まるで生物でゞもあるかのやうに、黒貂の毛皮のショールがうずくまつてゐるのである。——いふまでもなく、倭文子であつた。

彼女はぢつと差しうつむいたまゝ、折々ほつと溜息を洩らすよりほかには、長いこと身動ぎもしなかつた。長旅の汽車で、その車輛もさうすいてはゐなかつたので、却つて彼女の屈託ありげな樣子も、人々の怪訝の視線を惹かないやうであつた。

箱根へ汽車がかゝつた頃、車内の誰からともなく、雪になつたと

いふ聲が傳はつて來た。そつと曇硝子のやうに曇つてゐる窓硝子を透してみると、夜目にも白く雪に埋れてゐる山の豁のたゝずまひである。なほその上に風も加はつてさつくくと刷毛でこするやうな音を立てゝ、雪は車窓を掠めてゐる氣配。

「有難いもんでごはすな、こんな吹雪の夜にあんた、箱根の險を寢てゐて越せるのでごはすからな……」

「さやうで……ほう、大分ひどいやうですが、かうしてをりますとまるでわかりませんな、スティームは通つてをりまするし」

そんな雜話に半ぼんやり耳を藉してゐると、倭文子にはふと初めて久彌と呼つたのが、この箱根の大涌谷を湖畔へ拔ける道だつたことが思ひ出されてきた。

——夢のやうだ、何もかも夢のやうだわ！ 人の運命ほどわからないものはない、測らずお會ひしたあの方が、兄さんを殺した犯人の嫌疑で苦しんでゐらッしやる、さうしてわたしはわたしで、心ならずも結婚した仇敵に、譲りとほしてきた貞操を奪かれて滿されたに果てが、かうした兄の後を追ふた……。また暗い車窓へ戻る……。

苦い魘夢が溢れでくる。たゞせめてもの慰めは、久彌の嫌疑もやがて晴れるであらうといふ見透しのついたことだ。さうして美知子さんはあの方と一緒になつて、これから後の人生を明るく樂しく送つてゆくにちがひない……さう倭文子は祈るやうな氣持で考へる。

——美知子さんは、確に草野さんを戀してゐらつしやるんだわ！ さう、いつかお互にそんなことを訊ね合つてお互に否定し合つたことがある……しかし美知子さんはほんとうは草野さんを戀つてゐるにちがひないんだわ……さうしてわたしは？

倭文子はそこまで考へてくると底知れぬ穴の底へ、すーつと引込まれてゆくやうな寂しさを感じてぞつとした。今更のやうに、彼女は孤獨の悲しみにひしひしと胸を打たれた。

——兄さん！ あなたは何故死

んでしまつたの！ 可哀さうな兄さん！ でも可哀さうなのは兄さんよりむしろわたしよ！

何處かでそれに答へてくれる兄の聲が聞えたやうな氣がした。

——待つてゐる、早くおいで！

俯首いてぢつと伏せてゐる倭文子の眼に、涙が湧いた。泣いても泣いても涙は涸れないものと見える。

その時、荒々しく車輛の扉を引明けて、赤い羅紗の腕章を腕に巻いた車掌を先頭に、三四人の移動警察官らしい連中がはひつて來たが、物々しい空氣を起すと、足早に次の車輛へと急いで移つていつた。

「……何かあつたのでせうか？」

「……さあ、誰か飛降り自殺でもやつたのかな」

そんな囁きが隨所に交されたが、やがて判明したところによると、車内に盗難があつたのだといふ。

「……物騒ですな、全く！」

「まあさうですな……まさかこの列車は幽靈列車と云はれてる譯ぢやありますまいね、どうも氣味が悪い……」

「お互に用心いたしませう……」

列車はやがて靜かに驛の近くを進つてゐた。箱根を越えると吹雪はおさまつた樣子であるが、しかし雪は珍しくも降り積つて、車窓の外は白皚々たる夜景を塗してゐた

滿日俳壇募集規定

次回課題「多の月」「毛衣」「千鳥」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十二月末日▲投句封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

滿日文藝

滿日柳壇

『落』 高橋月南選

落付かぬお仮粧校誘はれる　遼陽 登美坊
落涙を拭くは拳の型になり　春川 篇 樓
落籍をさせて仲裁酒にする
落札へ妙な噂がつき纏ひ
落魄、身にしみじみと知る情　旅順 柳 月
鼻紙も落してある尋常科

飛行士は落ちて我名を世にひろげ　大連 入道庵
博士の子矢張り今年も落第し
落選の事務所に暗ひ灯がともり　大連 木の葉
俠雨竿竹落したまゝ抱へ
カーテンの風夏帽落ちた昔
就職が出來て國への初便り　ヒシカ 松 風
落胤の秀才陽にほうむられ

佳吟

落葉して小鳥ねぐらの定らず　旅順 柳 月
拾得の白銅巡査ほめて呉れ　昌圖 斗 牛
落瞬へ母は氣強い笑を見せ　朝陽鎮 杢 堂
小春日の雀もつれて屋根を落ち　旅順 阿喜良
ばたの円で落日のあせり氣味　萬家嶺 一柳坊
羽織ごろ髭はやして見落して見　旅順 辰 雄
凋落の秋へ小島の派手な聲　春川 篇 樓
ポツタリと落ちたインキへ行を明け　自 句

新刊紹介

雄辯(新年號)青年男女當面の問題座談會、安部磯雄氏、誌上雄辯選手權大會、滸瀬一郎氏の政談演說の仕方、才田博士の露國成功の…代作人、新年模範挨拶演說例、其他小說戲曲多數ある外昭和名演說集と云ふ三百頁近き附錄があり附錄共に定價五十錢(東京市本郷區駒込坂下町四八大日本雄辯會講談社發行)